

令和2年度
佐世保市の環境問題に関するアンケート
集計結果（詳細版）

令和3年4月

佐世保市環境部環境政策課

目次

第1章 アンケート調査の概要	1
第2章 調査結果(市民)	2
回答者の属性	2
「関心が高い環境問題」	【問1】 3
「周辺環境の満足度および重要度」	【問2】 8
「日常の環境保全の取り組み」	【問3】 30
「環境保全の取り組みで障害と感じていること」	【問4】 42
「省エネ関連機器の設置利用について」	【問5】 46
「食品ロス」について	【問6~9】 47
「古紙類の資源化」について	【問10~13】 49
第3章 調査結果(事業者)	51
回答者の属性	51
「関心が高い環境問題」	【問1】 52
「環境に関する経営方針等の導入について」	【問2】 54
「日常の取り組みの状況」	【問3】 56
「日常の取り組みで障害と感じていること」	【問4】 58
「導入している省エネ設備について」	【問5】 59
「エコ資金について」	【問6】 59
「3010運動について」	【問7~8】 60
第4章 資料(アンケート調査票)	62
アンケート調査票(市民)	62
アンケート調査票(事業者)	68

第1章 アンケート調査の概要

1 アンケート調査の目的

環境行政を効果的に推進するにあたり、市民や事業者の問題意識や取組状況、環境行政へのニーズを把握し、今後の環境行政の展開に活用する。

また、行政評価や佐世保市環境基本計画の成果指標となっている項目の達成度を当該アンケートにより把握するもの。

2 アンケート調査の対象

(1) 市民

佐世保市内に居住する20歳以上の男女（令和3年1月1日現在）のうち、支所及び行政センター管轄別の人口割合に応じて無作為に抽出した3,000名（男性1,500名、女性1,500名）

(2) 事業所

佐世保市内の事業所から無作為に抽出した250事業所

3 調査方法等

郵送による配布・回収（督促なし）

4 調査期間

令和3年2月5日（金）～3月5日（金）

5 回収結果

(1) 市民：1,295名（回収率：43.2%）

(2) 事業所：113事業所（回収率：45.2%）

6 その他

回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

また、図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

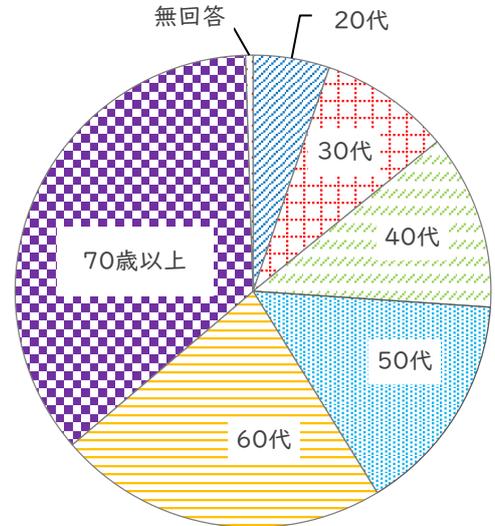
第2章 調査結果（市民）

■ 回答者の属性

あなたご自身についてお聞きします。該当する番号に○をつけてください。

① 年代

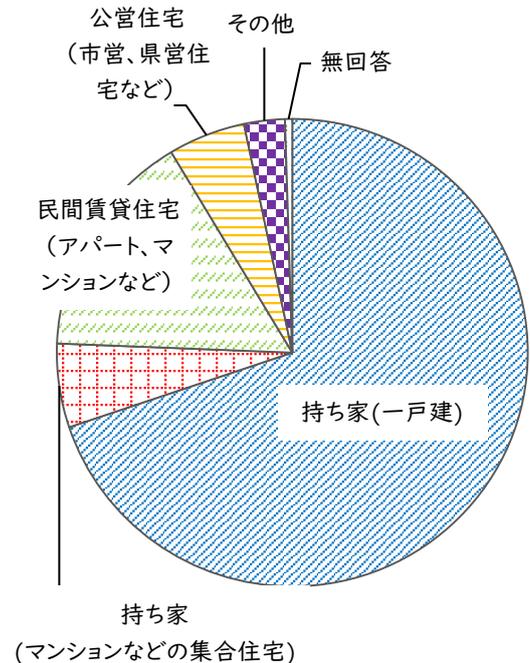
年代	回答数	割合
20代	67	5.2%
30代	115	8.9%
40代	156	12.0%
50代	197	15.2%
60代	291	22.5%
70歳以上	463	35.8%
無回答	6	0.5%
合計	1,295	100.1%



N=1,295

② お住まいの形態

業種	回答数	割合
持ち家(一戸建)	905	69.9%
持ち家 (マンションなどの集合住宅)	75	5.8%
民間賃貸住宅 (アパート、マンションなど)	204	15.8%
公営住宅 (市営、県営住宅など)	68	5.3%
その他	36	2.8%
無回答	7	0.5%
合計	1,295	100.0%



N=1,295

■ 環境に対する考え方について

問1 あなたが関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(関心が高い順)

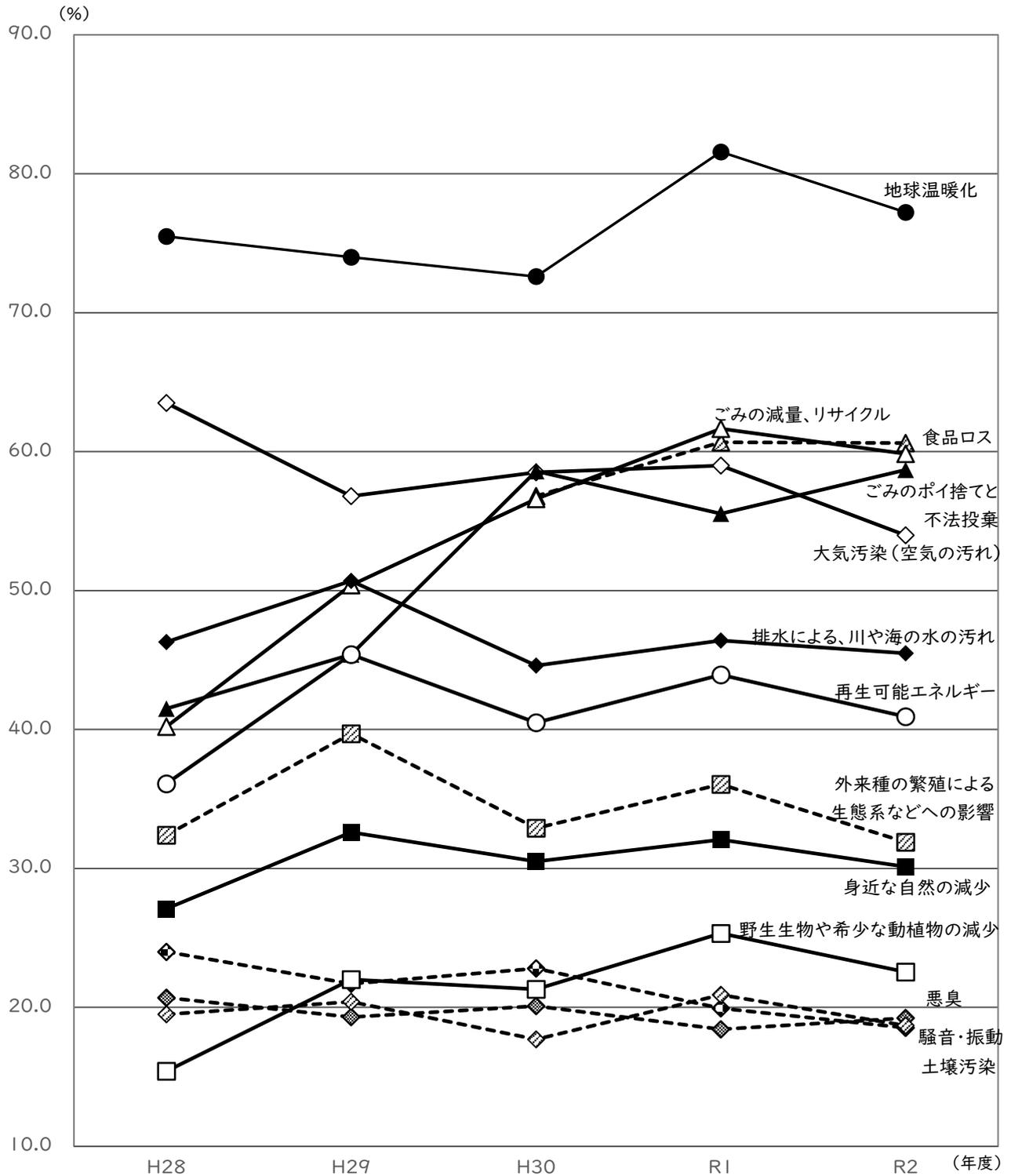
項目	回答数	割合	前年度比	前年度
地球温暖化	1,000	77.2%	△4.4	81.6%
食品ロス	785	60.6%	△0.1	60.7%
ごみの減量、リサイクル	775	59.8%	△1.8	61.6%
ごみのポイ捨てと不法投棄	760	58.7%	3.2	55.5%
大気汚染(空気の汚れ)	699	54.0%	△5.0	59.0%
排水による、川や海の水の汚れ	589	45.5%	△0.9	46.4%
再生可能エネルギー	530	40.9%	△3.0	43.9%
外来種の繁殖による生態系などへの影響	413	31.9%	△4.1	36.0%
身近な自然の減少	390	30.1%	△2.0	32.1%
野生生物や希少な動植物の減少	292	22.5%	△2.8	25.3%
悪臭	249	19.2%	0.8	18.4%
土壌汚染	242	18.7%	△2.2	20.9%
騒音、振動	240	18.5%	△1.4	19.9%
その他	42	3.2%	△1.3	4.5%
無回答	42	3.2%	△1.3	4.5%
合計	7,048			

※ 有効回答者数(N):1,295人

● 最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」であったが、前年より4.4ポイント減少している。

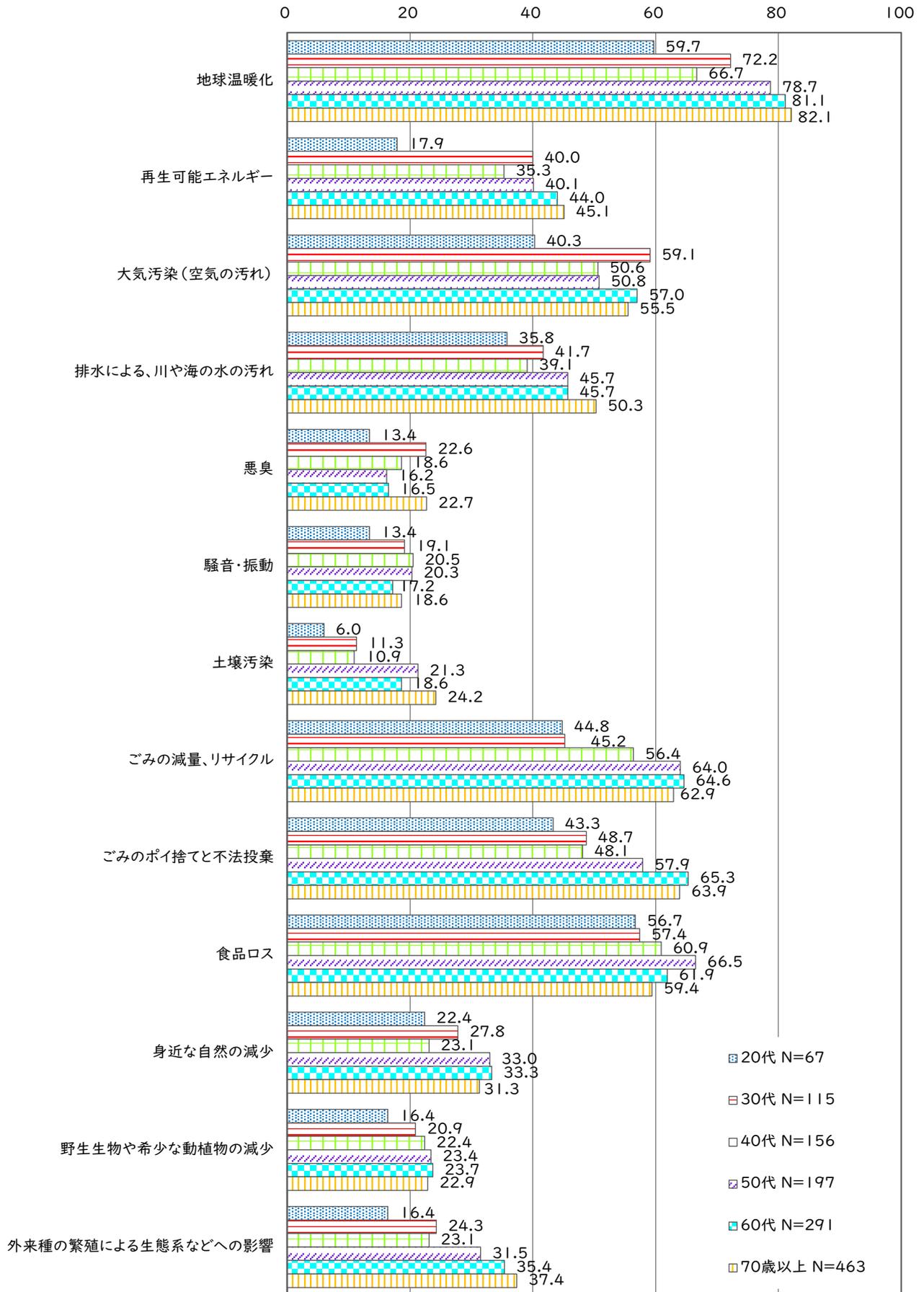
● 「ごみのポイ捨てと不法投棄」は前年度から3.2ポイント増加し、4番目に関心の高い項目となっている。

《過去の調査結果との経年比較》



- 地球温暖化
- ▲ ごみのポイ捨てと不法投棄
- ▲ ごみの減量、リサイクル
- 再生可能エネルギー
- 身近な自然の減少
- 野生生物や希少な動植物の減少
- ◇ 土壌汚染
- ◇ 大気汚染(空気の汚れ)
- ▲ 食品ロス
- ◆ 排水による、川や海の水の汚れ
- 外来種の繁殖による生態系などへの影響
- ◆ 騒音・振動
- ◆ 悪臭

《年齢階層別クロス集計結果》



《問Ⅰ 自由記入欄 ～その他、関心のある環境問題～》

※主な意見を抜粋

- 野生の獣の市街地への出没
- 台風等自然災害・里山の維持・自然林の維持
- 猫の糞尿被害
- 自動車の排ガスを早くゼロに
- 海洋生物の危惧（廃プラ問題）
- 近所の人ゴミを燃やす
- 近所に空き家、空地が多く外来雑草が繁茂しその種が飛び散り町内清掃等に苦勞する
- ごみ袋の代金が高い
- バス道路の舗装

見開きページ
調整用の余白です



佐世保市環境部のキャラクター
「ダストンくん」

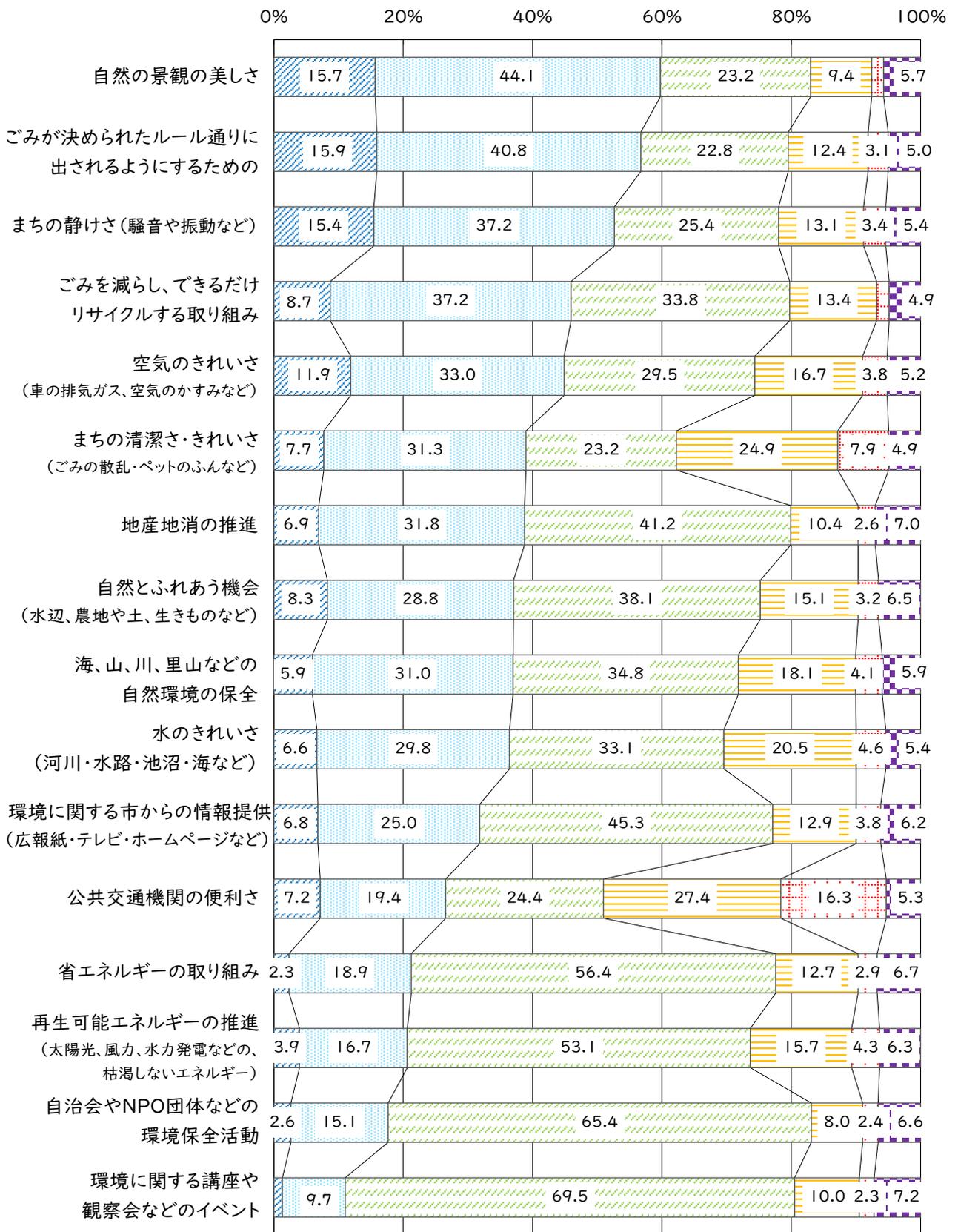
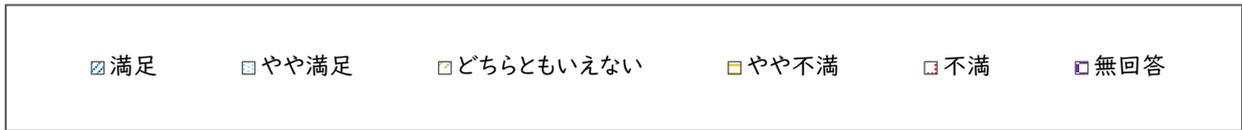
■ 住まいの周辺環境の満足度

問2 お住まいの周辺環境について、あなたの満足度をお聞きします。次の1～16のそれぞれの環境の状態について、あなたの考えや意見に近いものの番号に○をつけてください。

(「満足」又は「やや満足」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「満足」又は「やや満足」と 回答した人の割合の合計	満足	やや 満足	どちら とも いえない	やや 不満	不満	無回答	合計
自然の景観の美しさ (59.8%)	203 15.7%	571 44.1%	301 23.2%	122 9.4%	24 1.9%	74 5.7%	1,295 100%
ごみが決められたルールどおりに出されるように するための取り組み (56.8%)	206 15.9%	529 40.8%	295 22.8%	160 12.4%	40 3.1%	65 5.0%	1,295 100%
まちの静けさ (騒音や振動など) (52.7%)	200 15.4%	482 37.2%	329 25.4%	170 13.1%	44 3.4%	70 5.4%	1,295 100%
ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (45.9%)	113 8.7%	482 37.2%	438 33.8%	174 13.4%	25 1.9%	63 4.9%	1,295 100%
空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど) (44.9%)	154 11.9%	427 33.0%	382 29.5%	216 16.7%	49 3.8%	67 5.2%	1,295 100%
まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど) (39.0%)	100 7.7%	405 31.3%	301 23.2%	323 24.9%	102 7.9%	64 4.9%	1,295 100%
地産地消の推進 (38.8%)	90 6.9%	412 31.8%	533 41.2%	135 10.4%	34 2.6%	91 7.0%	1,295 100%
自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど) (37.1%)	107 8.3%	373 28.8%	494 38.1%	196 15.1%	41 3.2%	84 6.5%	1,295 100%
海、山、川、里山などの自然環境の保全 (37.0%)	77 5.9%	402 31.0%	451 34.8%	235 18.1%	53 4.1%	77 5.9%	1,295 100%
水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など) (36.4%)	86 6.6%	386 29.8%	429 33.1%	265 20.5%	59 4.6%	70 5.4%	1,295 100%
環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど) (31.8%)	88 6.8%	324 25.0%	587 45.3%	167 12.9%	49 3.8%	80 6.2%	1,295 100%
公共交通機関の便利さ (26.6%)	93 7.2%	251 19.4%	316 24.4%	355 27.4%	211 16.3%	69 5.3%	1,295 100%
省エネルギーの取り組み (21.2%)	30 2.3%	245 18.9%	730 56.4%	165 12.7%	38 2.9%	87 6.7%	1,295 100%
再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力 発電などの、枯渇しないエネルギー) (20.6%)	51 3.9%	216 16.7%	687 53.1%	203 15.7%	56 4.3%	82 6.3%	1,295 100%
自治会やNPO団体などの環境保全活動 (17.7%)	34 2.6%	195 15.1%	847 65.4%	103 8.0%	31 2.4%	85 6.6%	1,295 100%
環境に関する講座や観察会などのイベント (11.0%)	17 1.3%	126 9.7%	900 69.5%	129 10.0%	30 2.3%	93 7.2%	1,295 100%

※有効回答者数(N):1,295人



■ 住まいの周辺環境の重要度

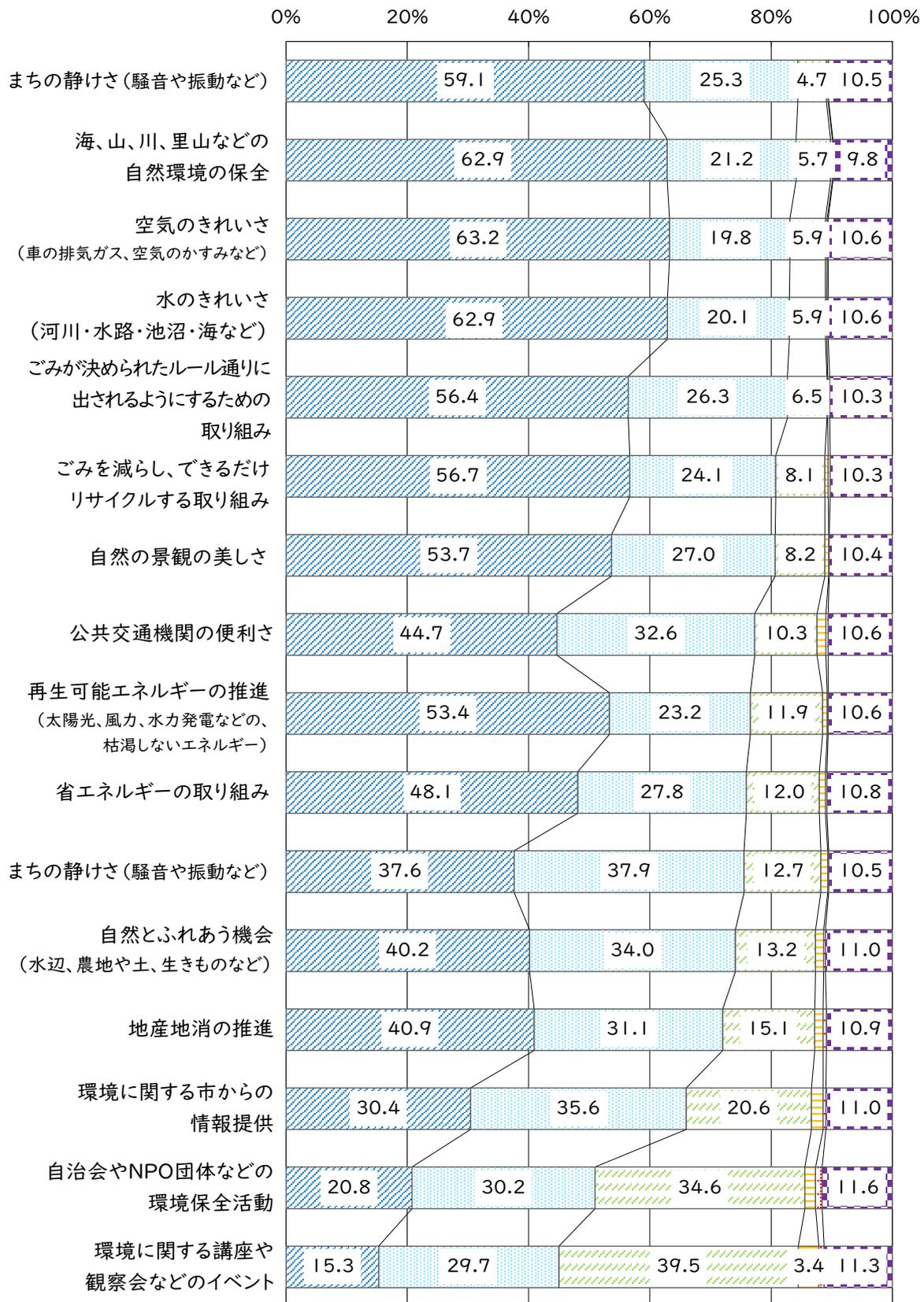
問2 お住まいの周辺環境について、あなたの重要度をお聞きます。次の1～17のそれぞれの環境の状態について、あなたの考えや意見に近いものの番号に○をつけてください。

(「重要」「やや重要」と回答した人の割合が高い順)

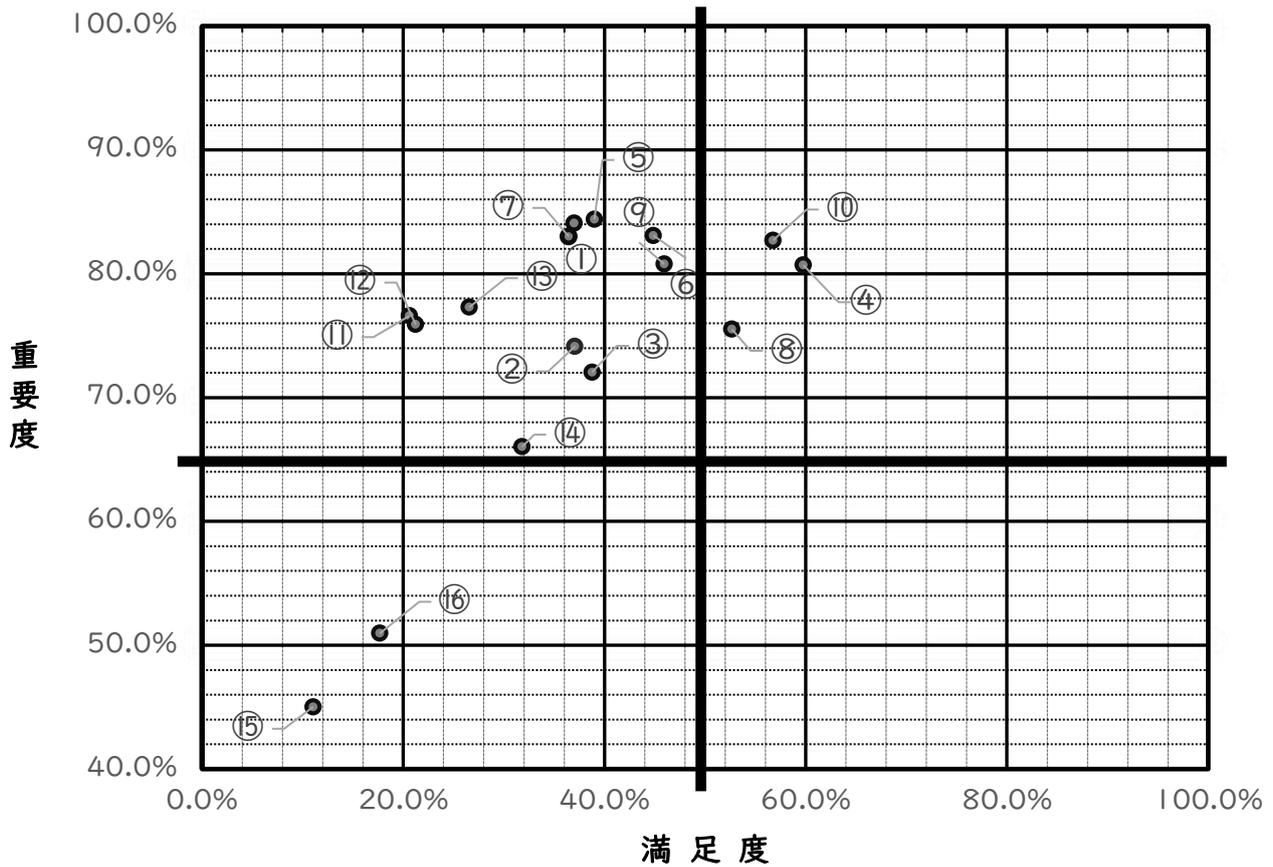
質問事項 ()内の数値は「重要」「やや重要」と回答した人の割合の合計	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど) (84.4%)	765 59.1%	328 25.3%	61 4.7%	4 0.3%	1 0.1%	136 10.5%	1,295 100%
海、山、川、里山などの自然環境の保全 (84.1%)	814 62.9%	275 21.2%	74 5.7%	4 0.3%	1 0.1%	127 9.8%	1,295 100%
空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど) (83%)	819 63.2%	257 19.8%	76 5.9%	4 0.3%	2 0.2%	137 10.6%	1,295 100%
水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など) (83%)	815 62.9%	260 20.1%	77 5.9%	3 0.2%	3 0.2%	137 10.6%	1,295 100%
ごみが決められたルールどおりに出されるようにするための取り組み (82.7%)	731 56.4%	340 26.3%	84 6.5%	2 0.2%	4 0.3%	134 10.3%	1,295 100%
ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (80.8%)	734 56.7%	312 24.1%	105 8.1%	7 0.5%	4 0.3%	133 10.3%	1,295 100%
自然の景観の美しさ (80.7%)	695 53.7%	350 27.0%	106 8.2%	8 0.6%	1 0.1%	135 10.4%	1,295 100%
公共交通機関の便利さ (77.3%)	579 44.7%	422 32.6%	133 10.3%	19 1.5%	5 0.4%	137 10.6%	1,295 100%
再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力発電などの、枯渇しないエネルギー) (76.6%)	691 53.4%	301 23.2%	154 11.9%	10 0.8%	2 0.2%	137 10.6%	1,295 100%
省エネルギーの取り組み (75.9%)	623 48.1%	360 27.8%	156 12.0%	13 1.0%	3 0.2%	140 10.8%	1,295 100%
まちの静けさ (騒音や振動など) (75.5%)	487 37.6%	491 37.9%	164 12.7%	15 1.2%	2 0.2%	136 10.5%	1,295 100%
自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど) (74.2%)	520 40.2%	440 34.0%	171 13.2%	17 1.3%	4 0.3%	143 11.0%	1,295 100%
地産地消の推進 (72%)	530 40.9%	403 31.1%	196 15.1%	18 1.4%	7 0.5%	141 10.9%	1,295 100%
環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど) (66%)	394 30.4%	461 35.6%	267 20.6%	25 1.9%	6 0.5%	142 11.0%	1,295 100%
自治会やNPO団体などの環境保全活動 (51%)	269 20.8%	391 30.2%	448 34.6%	23 1.8%	14 1.1%	150 11.6%	1,295 100%
環境に関する講座や観察会などのイベント (45%)	198 15.3%	385 29.7%	511 39.5%	44 3.4%	11 0.8%	146 11.3%	1,295 100%

※有効回答者数(N):1,295人

重要
 やや重要
 どちらともいえない
 あまり重要でない
 重要でない
 無回答



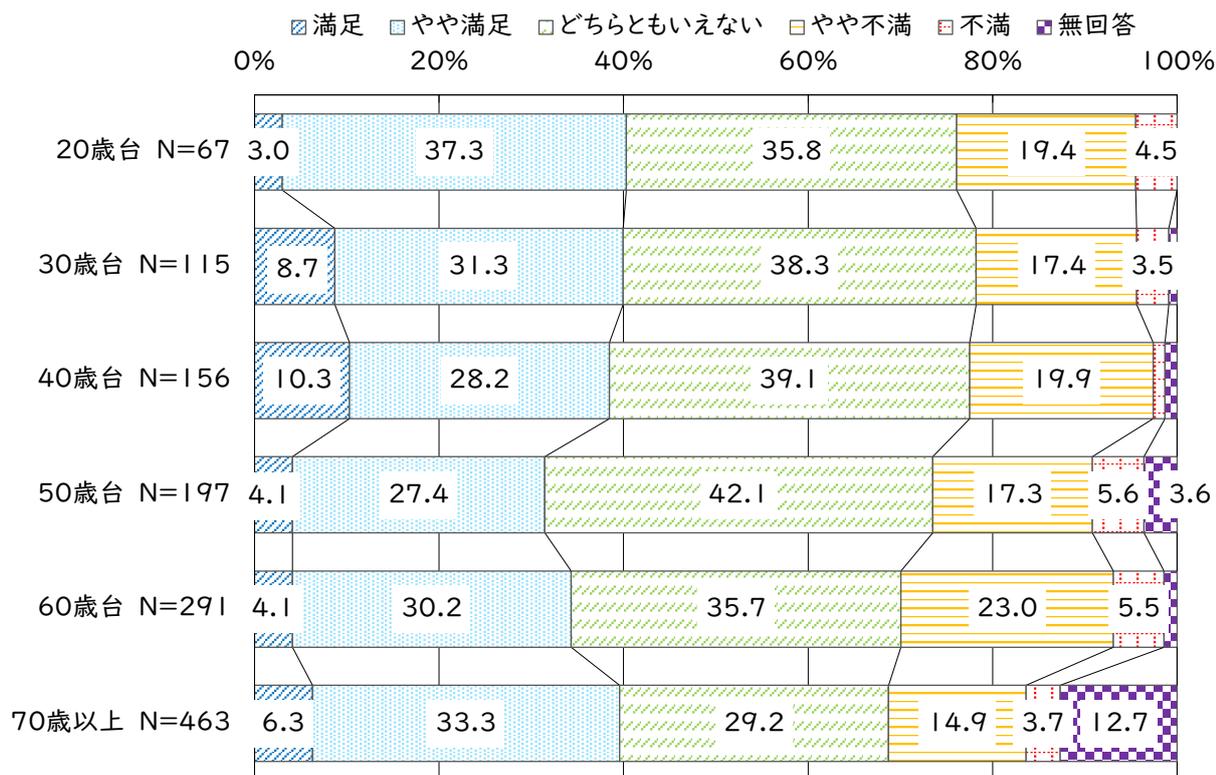
《満足度と重要度の関係》



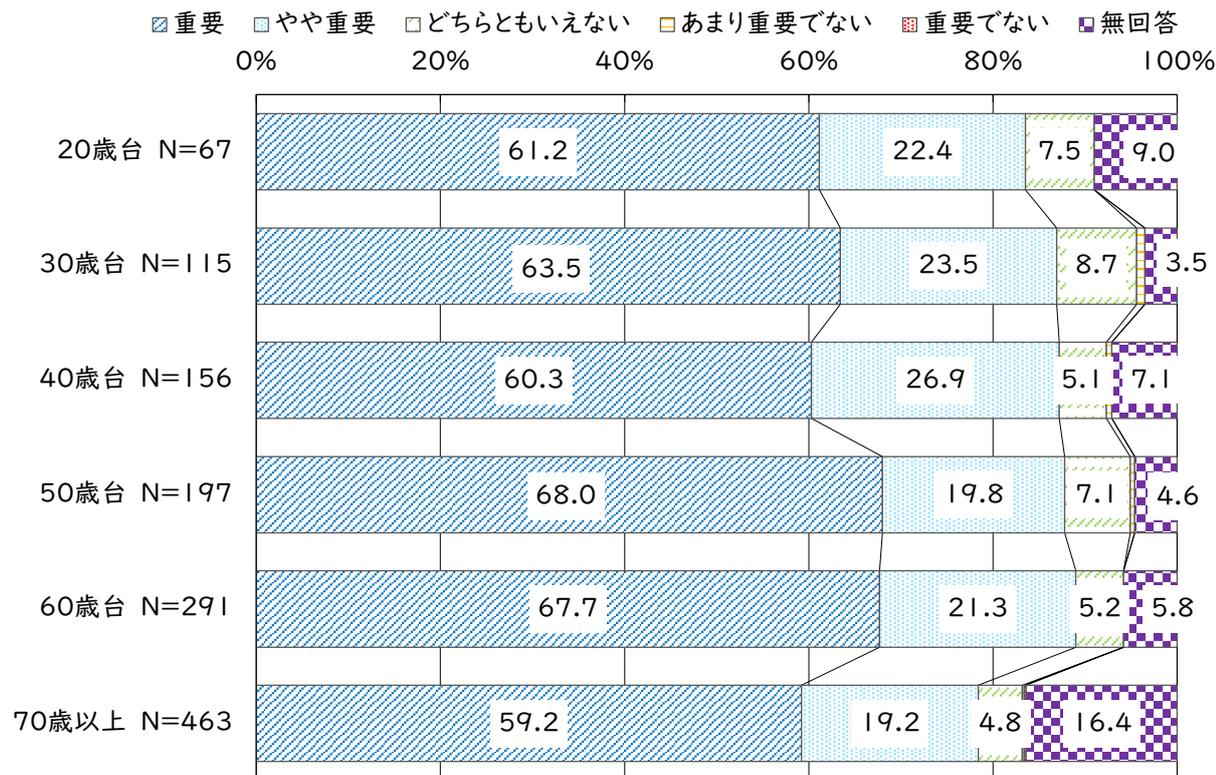
		「満足」「やや満足」と答えた人の割合	「重要」「やや重要」と答えた人の割合
①	海、山、川、里山などの自然環境の保全	37.0%	84.1%
②	自然とふれあう機会(水辺、農地や土、生きものなど)	37.1%	74.1%
③	地産地消の推進	38.8%	72.0%
④	自然の景観の美しさ	59.8%	80.7%
⑤	まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱・ペットのふんなど)	39.0%	84.4%
⑥	空気のきれいさ(車の排気ガス、空気のかすみなど)	44.9%	83.1%
⑦	水のきれいさ(河川・水路・池沼・海など)	36.4%	83.0%
⑧	まちの静けさ(騒音や振動など)	52.7%	75.5%
⑨	ごみを減らし、できるだけサイクルする取り組み	45.9%	80.8%
⑩	ごみが決められたルール通りに出されるようにするための取り組み	56.8%	82.7%
⑪	再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力発電などの、枯渇しないエネルギー)	20.6%	76.6%
⑫	省エネルギーの取組	21.2%	75.9%
⑬	公共交通機関の便利さ	26.6%	77.3%
⑭	環境に関する市からの情報提供(広報誌・テレビ・ホームページなど)	31.8%	66.0%
⑮	環境に関する講座や観察会などのイベント	11.0%	45.0%
⑯	自治会やNPO団体などの環境保全活動	17.7%	51.0%

《海、山、川、里山などの自然環境の保全》

《満足度》

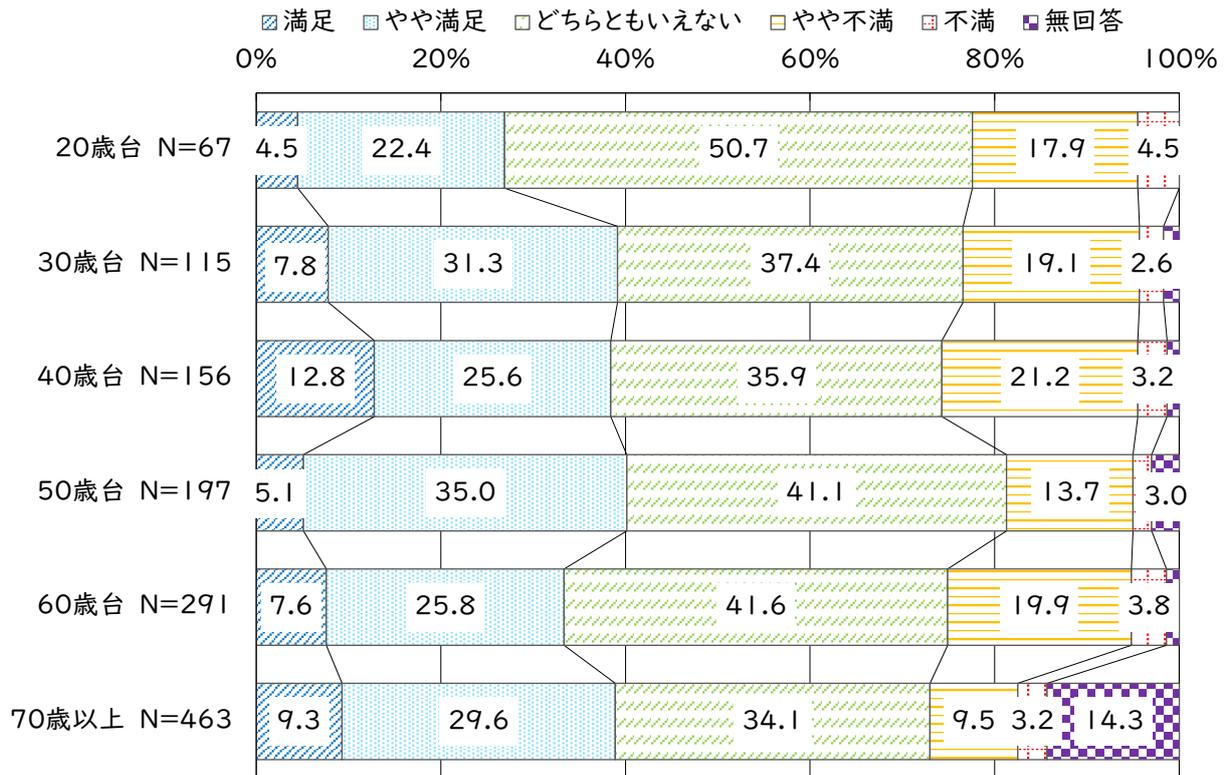


《重要度》

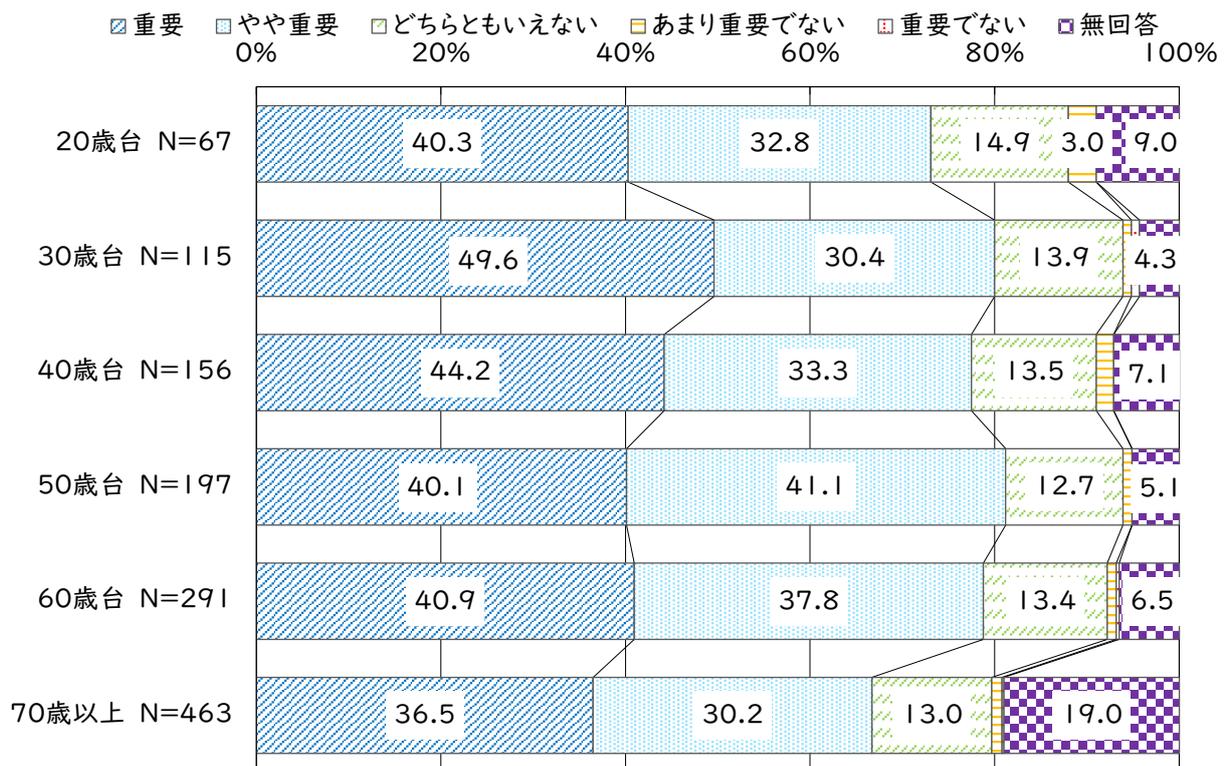


《自然とふれあう機会(水辺、農地や土、生き物など)》

《満足度》

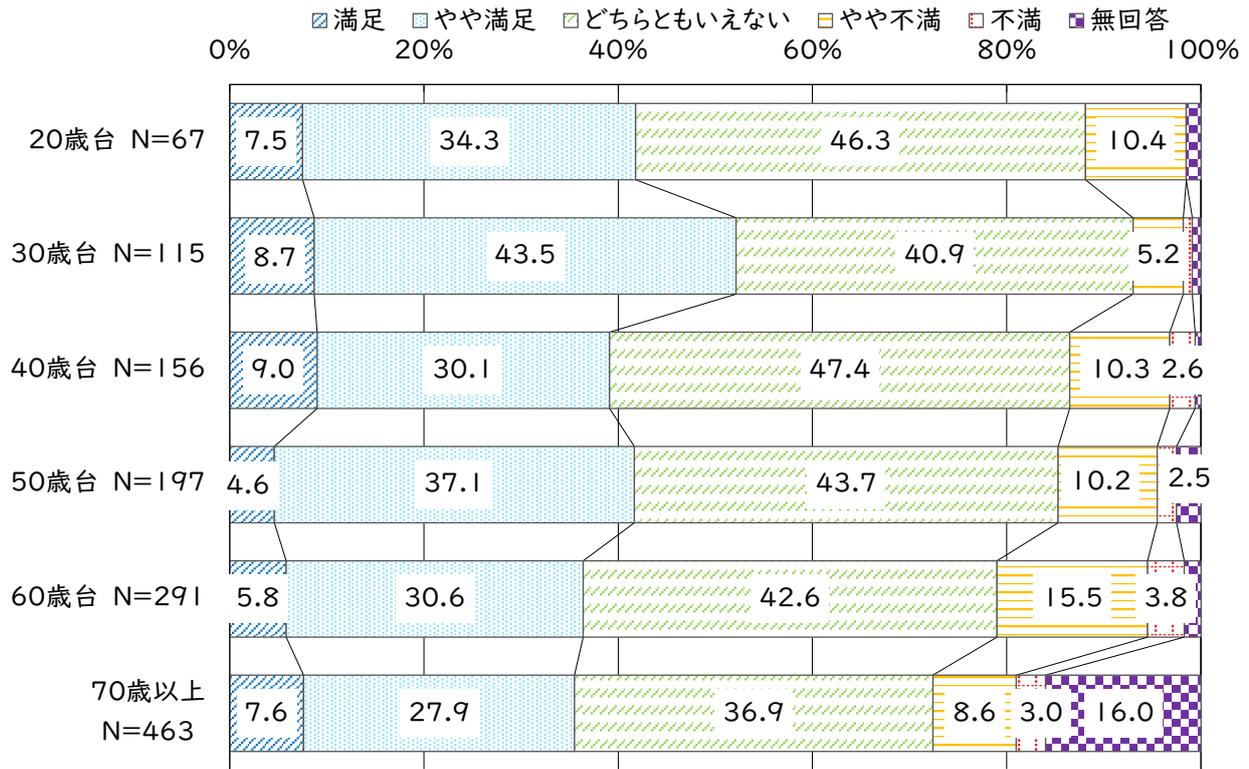


《重要度》

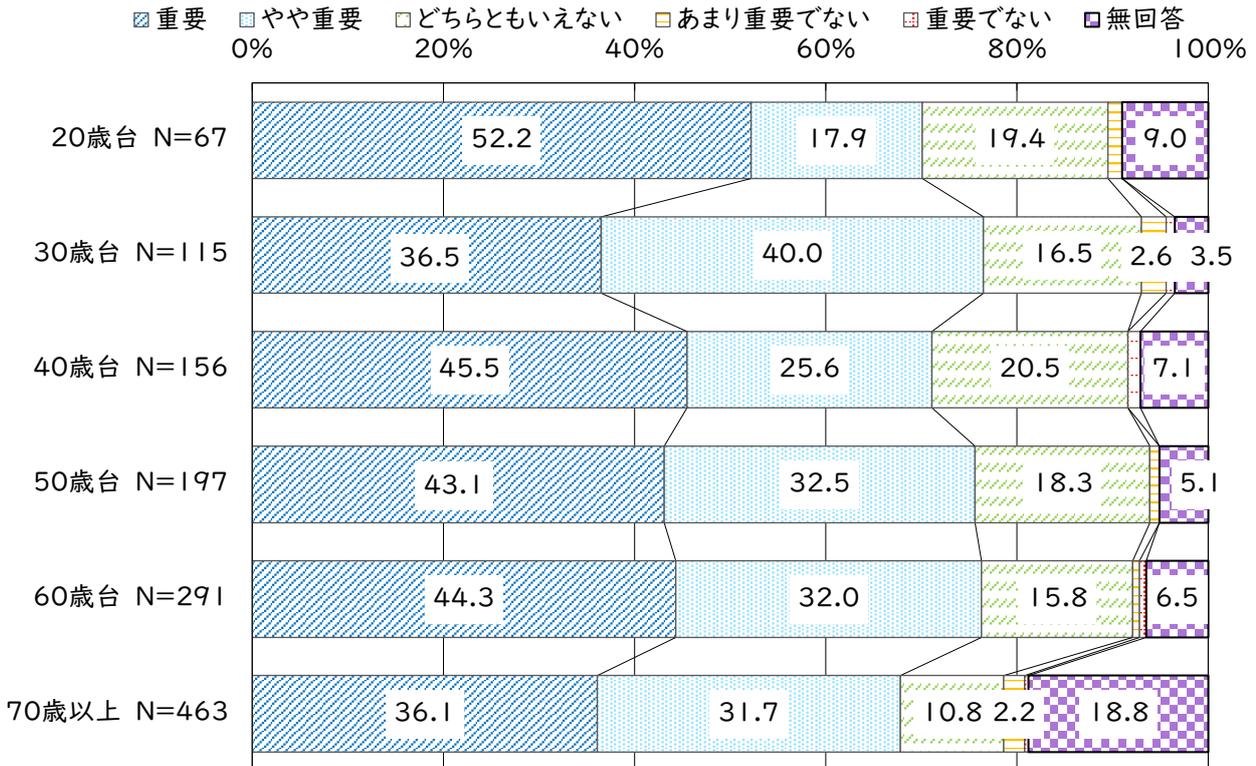


《地産地消の推進》

《満足度》

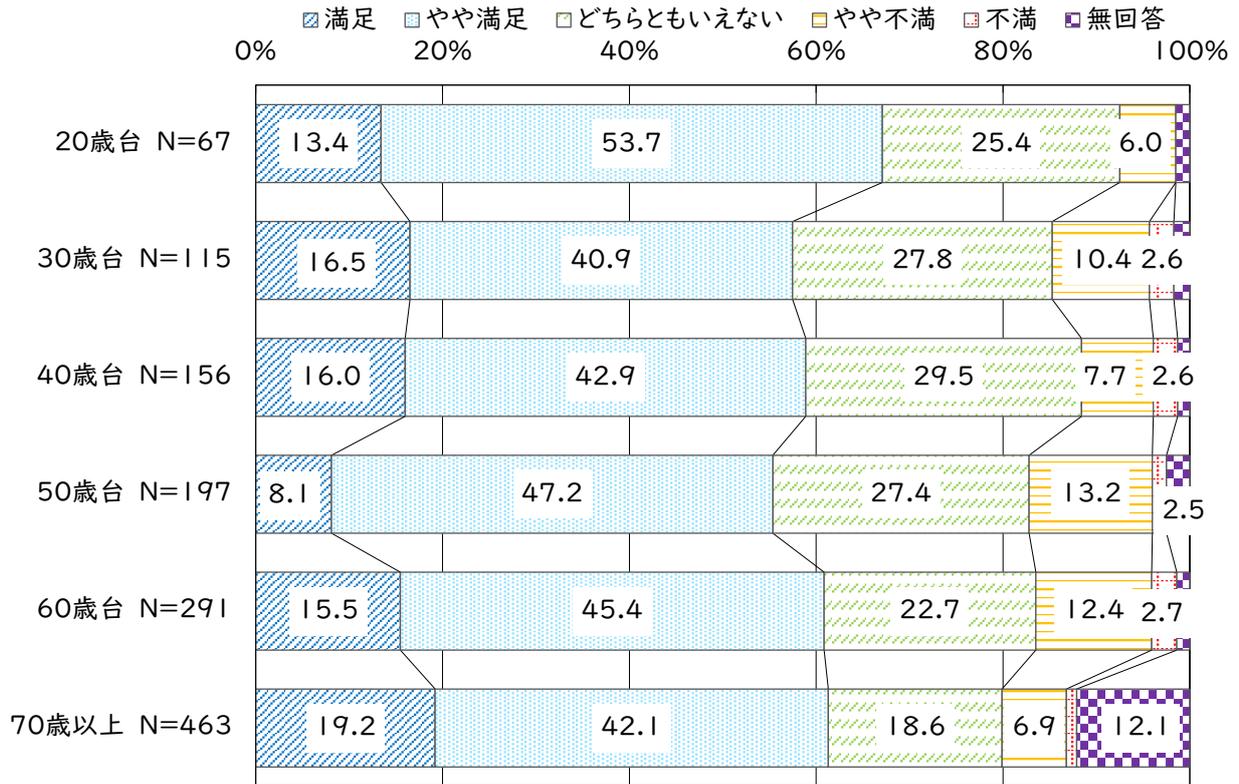


《重要度》

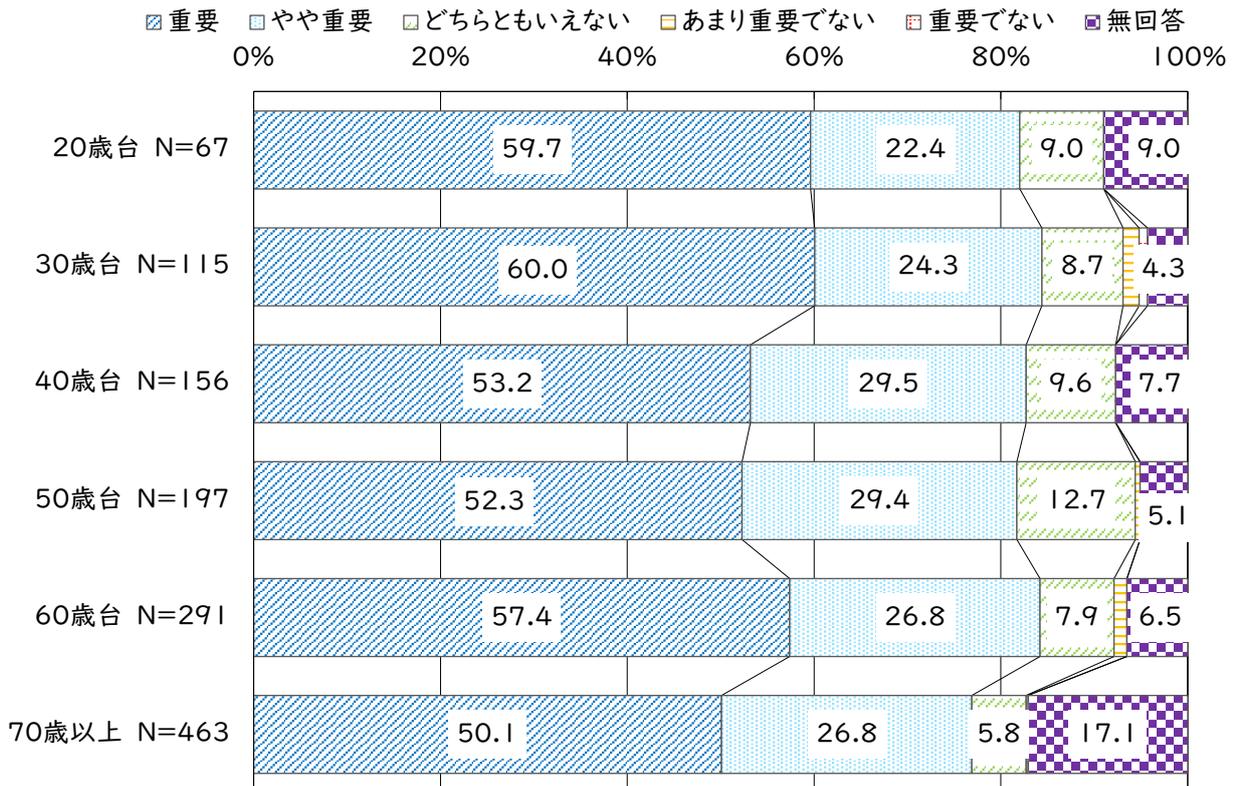


《自然の景観の美しさ》

《満足度》

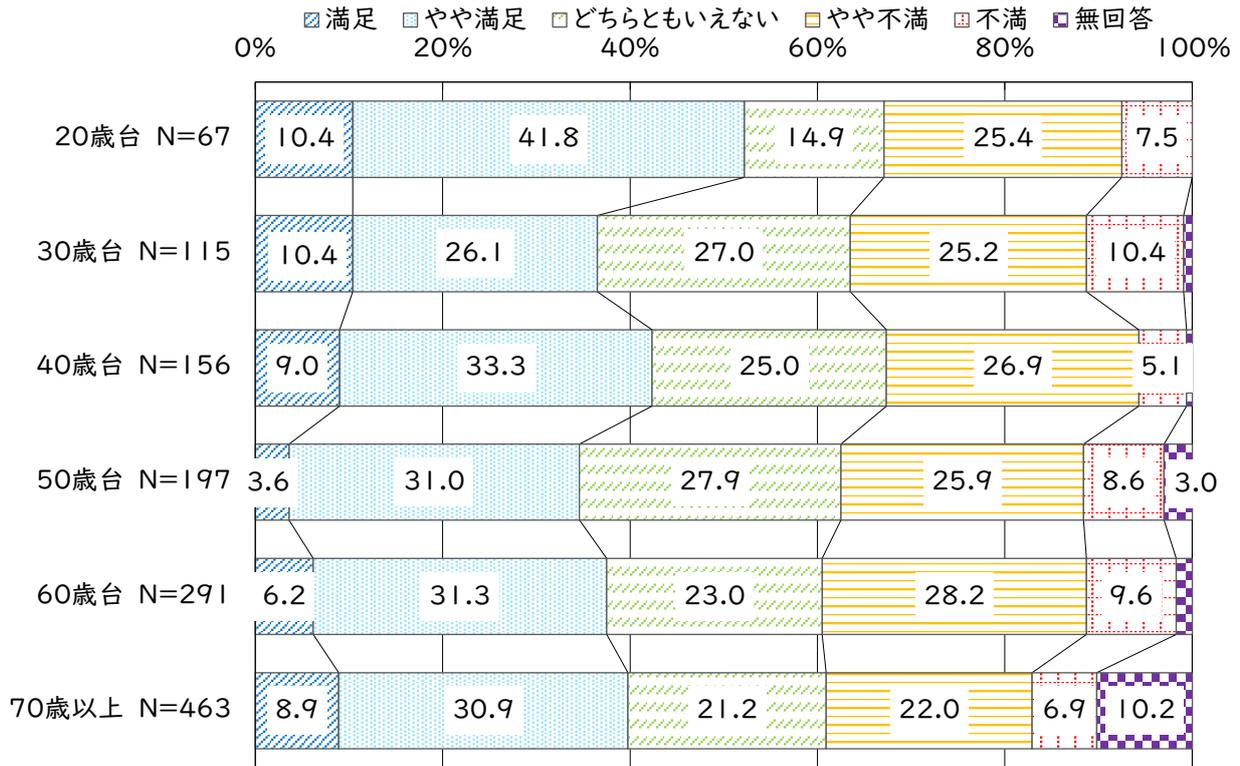


《重要度》

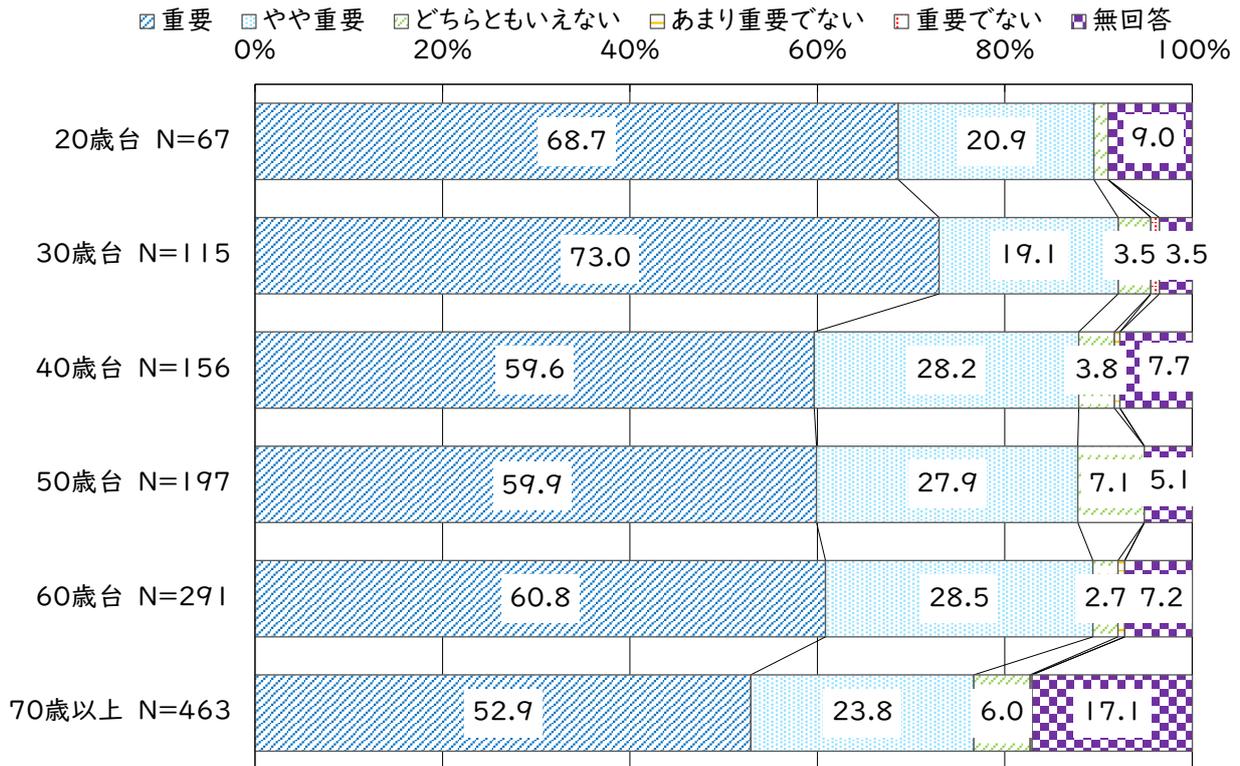


《まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱・ペットのふんなど)》

《満足度》

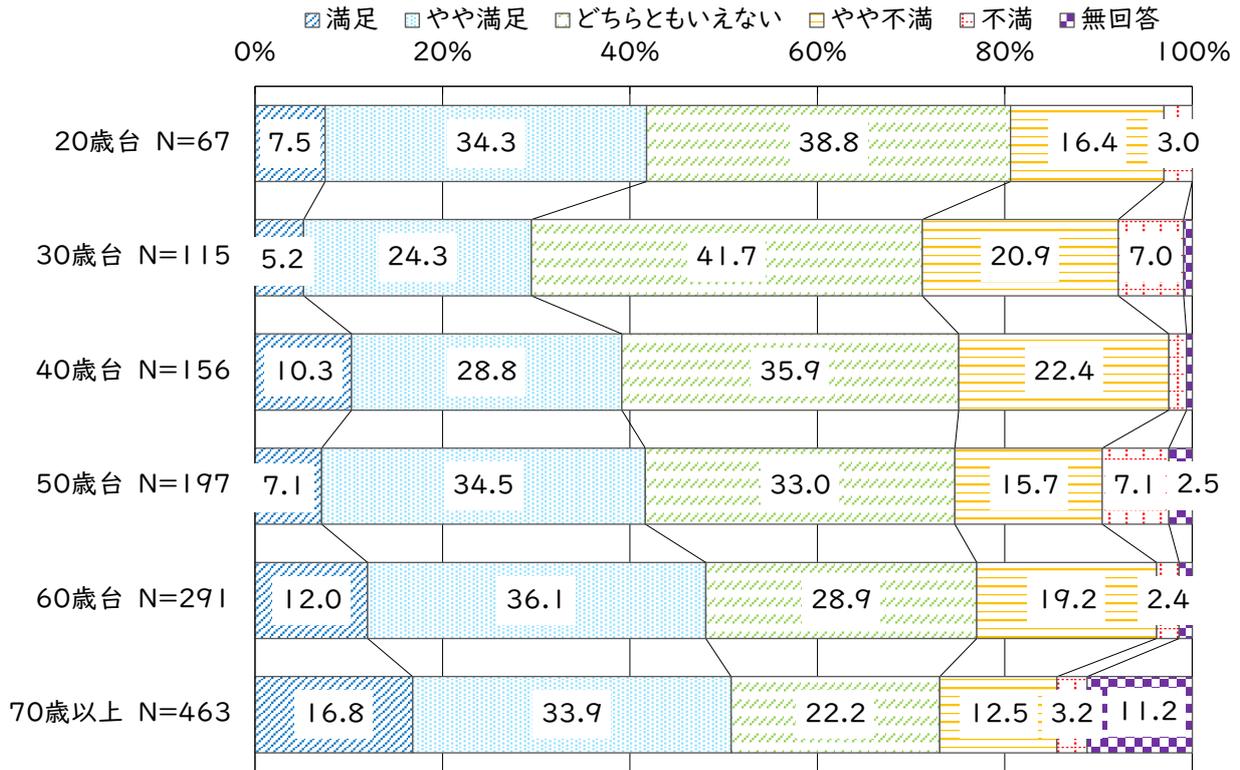


《重要度》

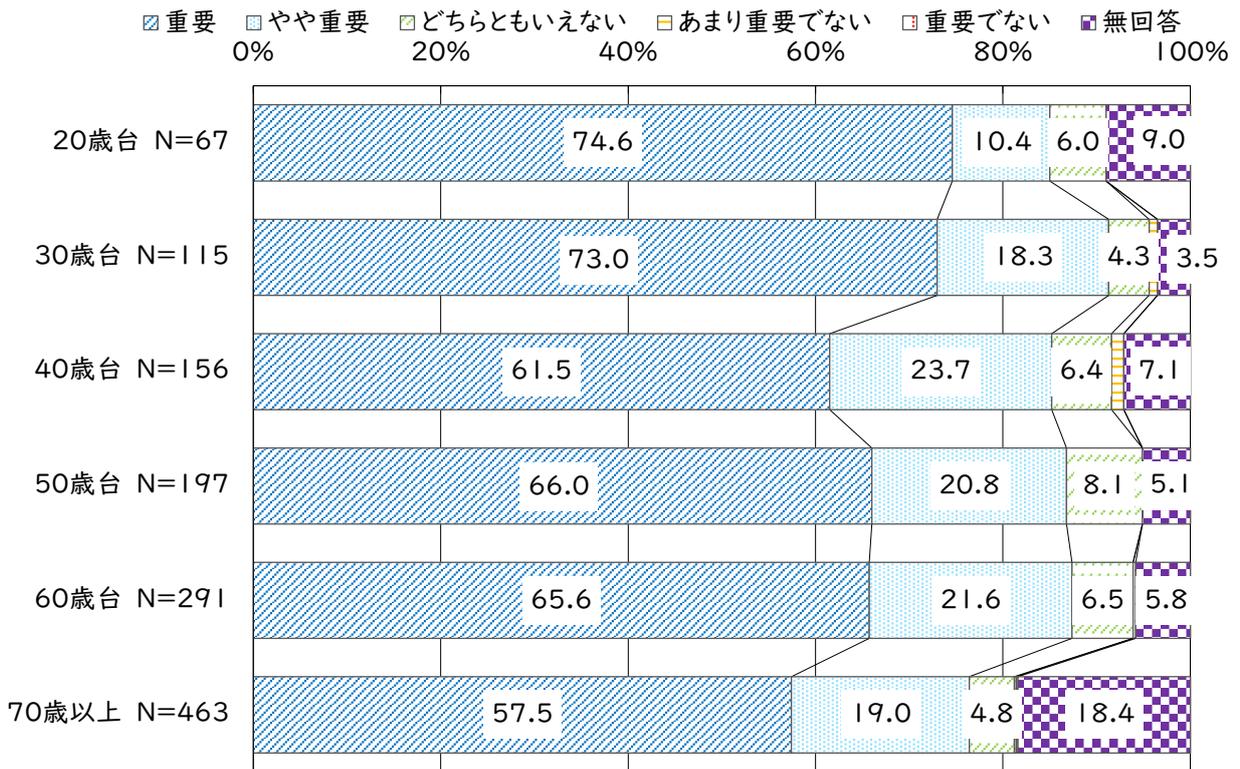


《空気のきれいさ(車の排気ガス・空気のかすみなど)》

《満足度》

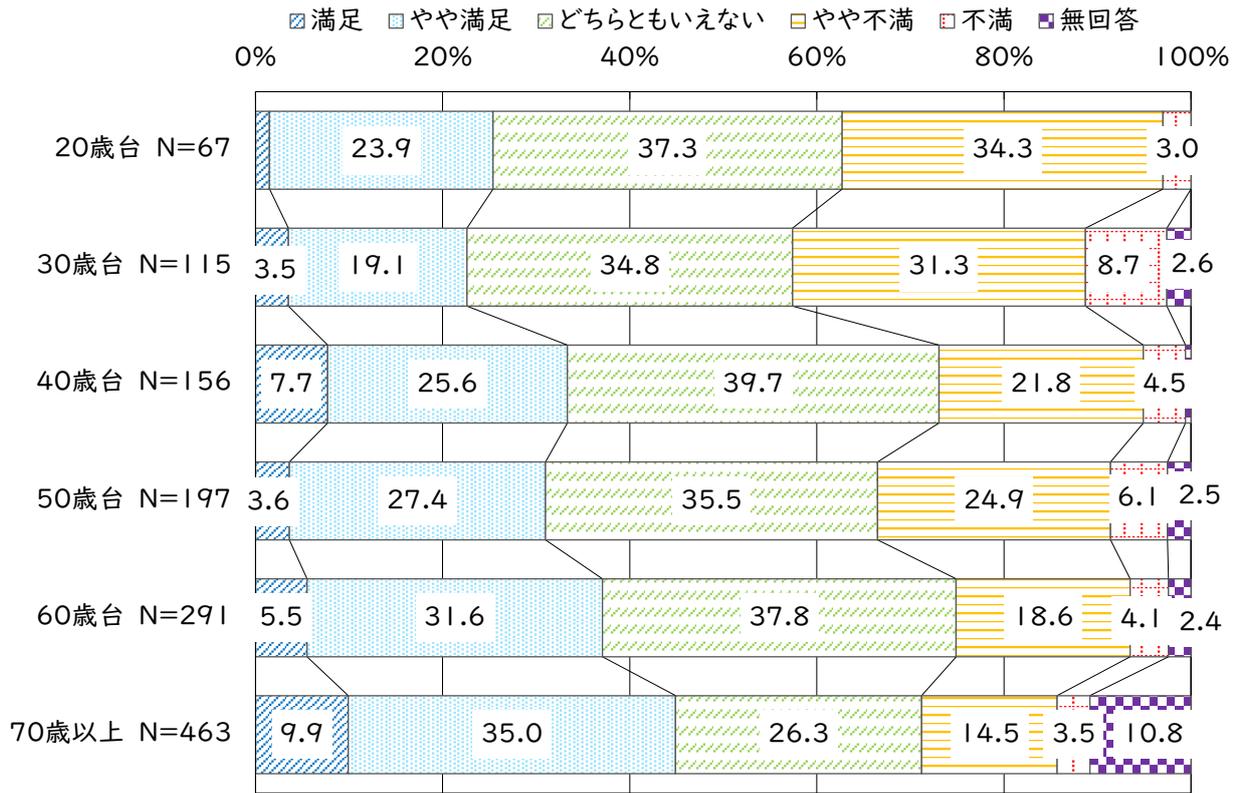


《重要度》

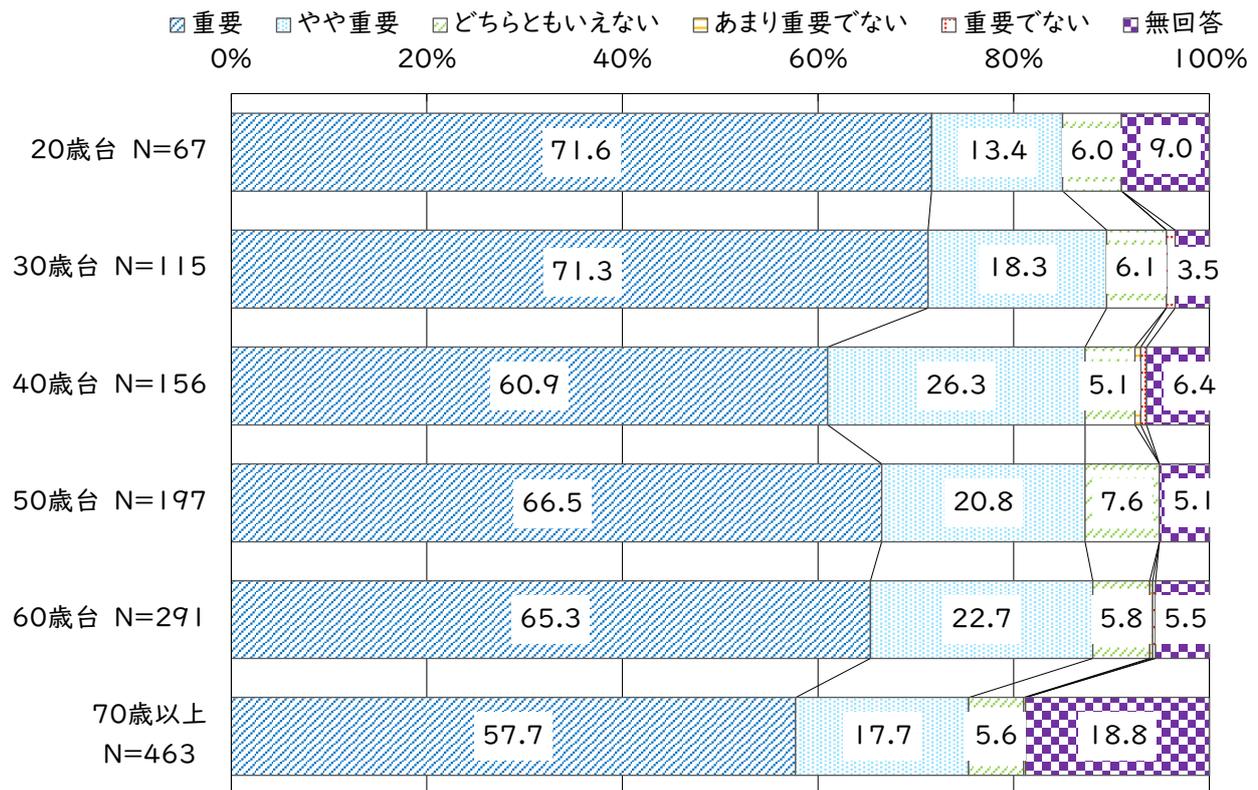


《水のきれいさ(河川・水路・池沼・海など)》

《満足度》

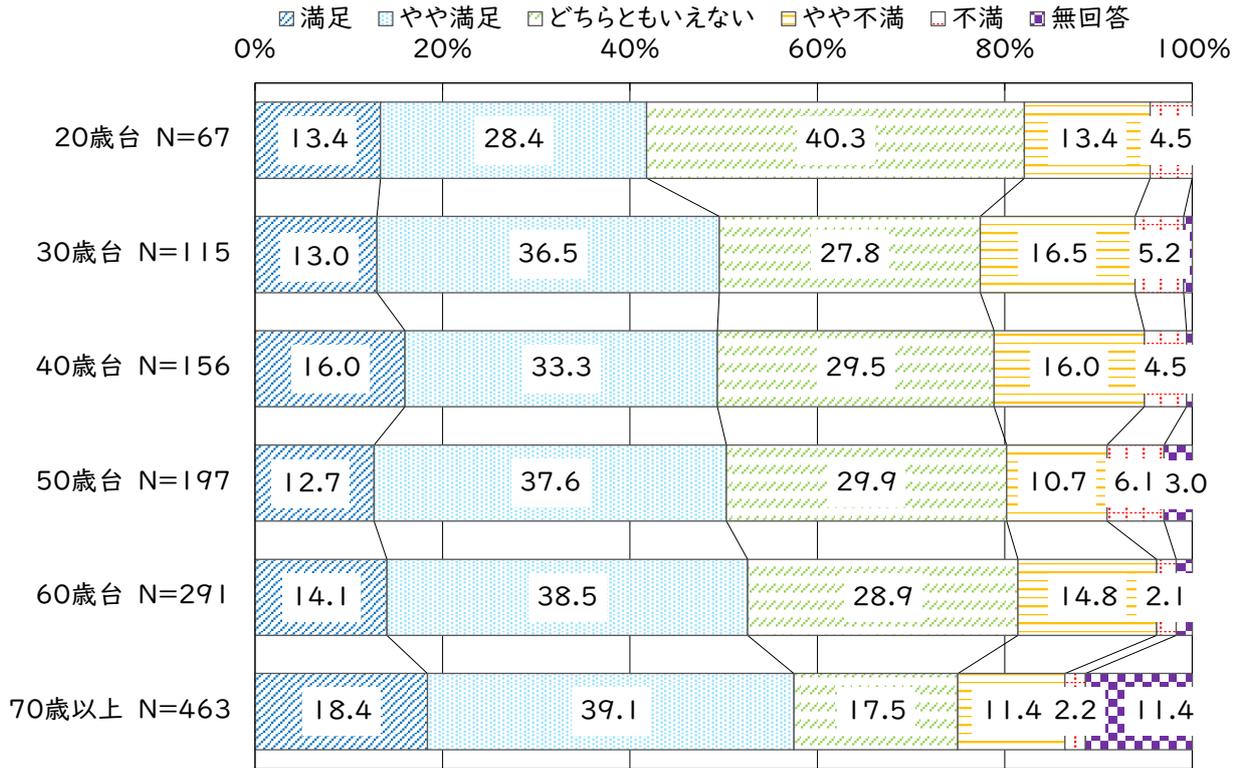


《重要度》

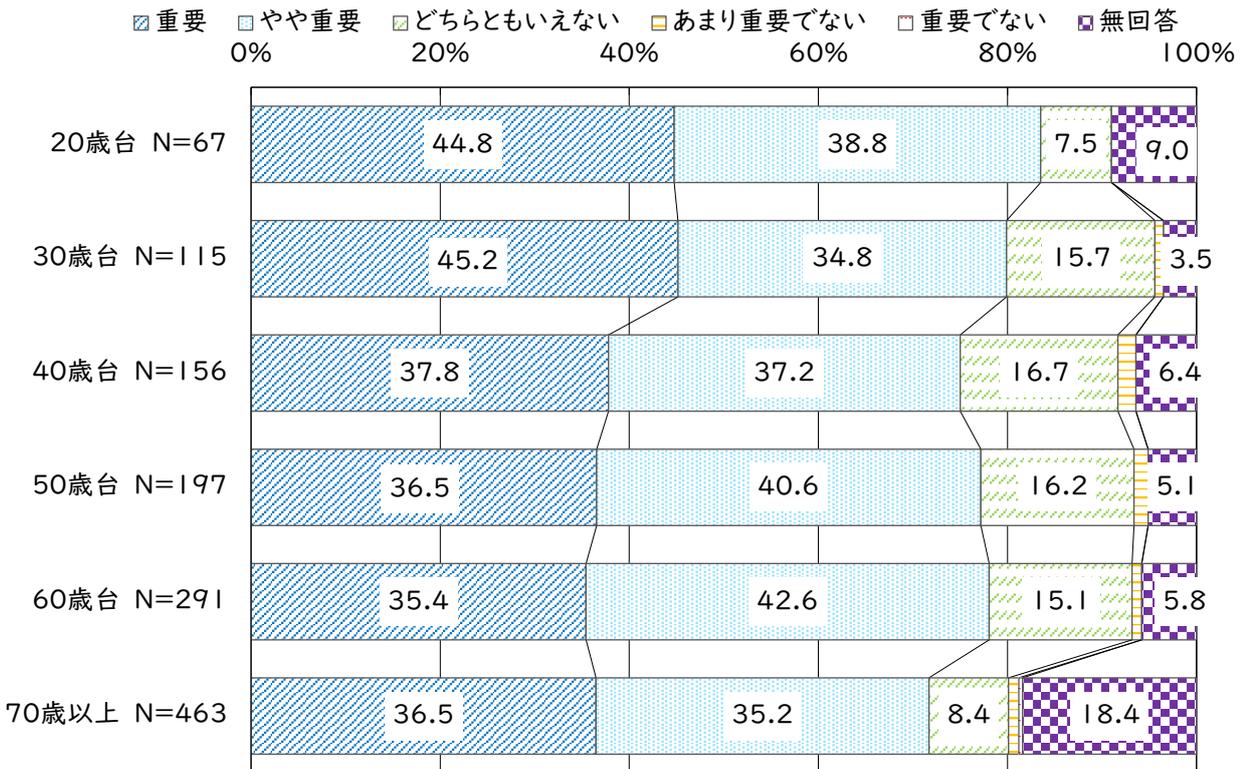


《まちの静けさ(騒音や振動など)》

《満足度》

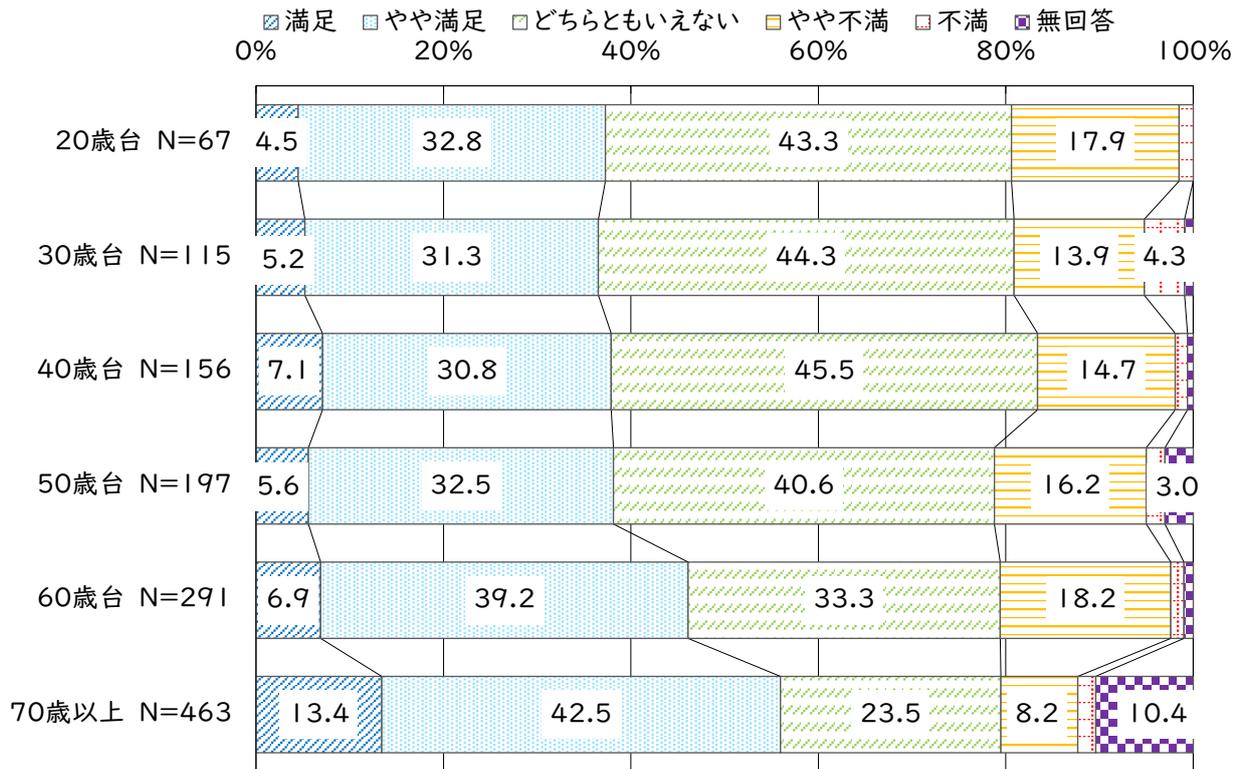


《重要度》

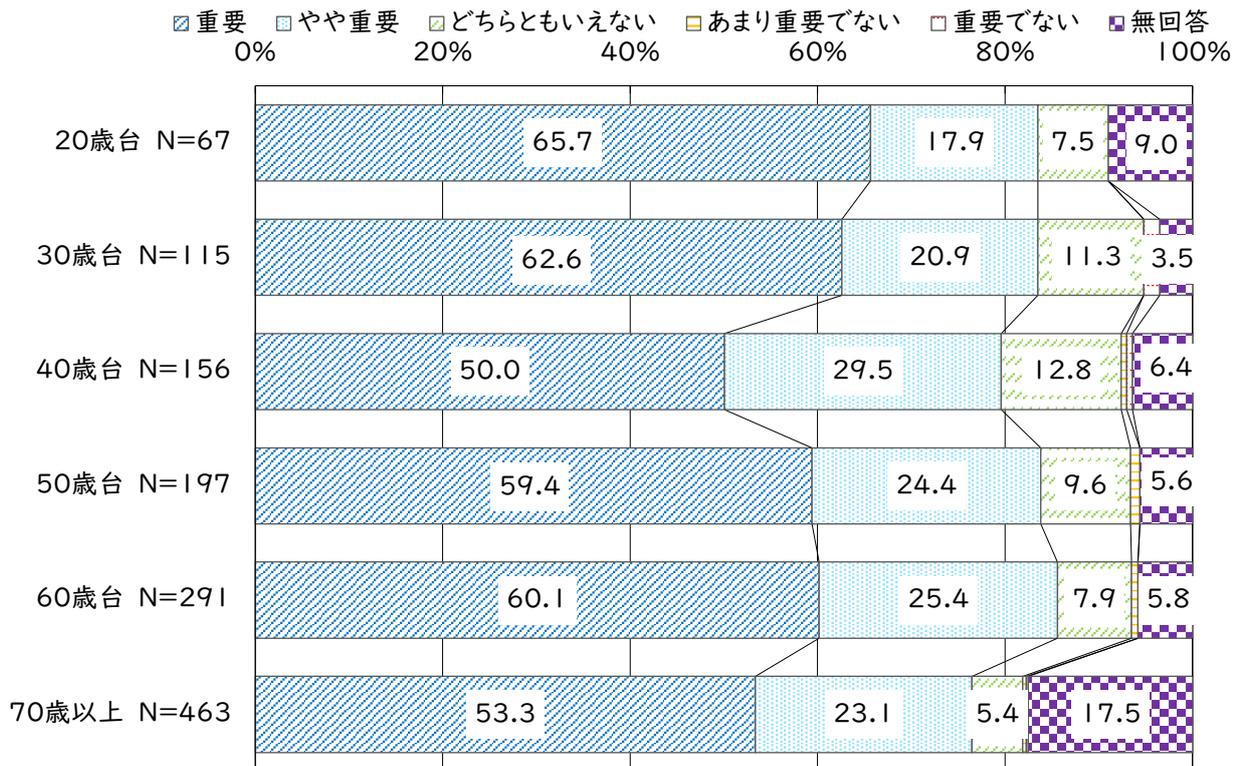


《ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み》

《満足度》

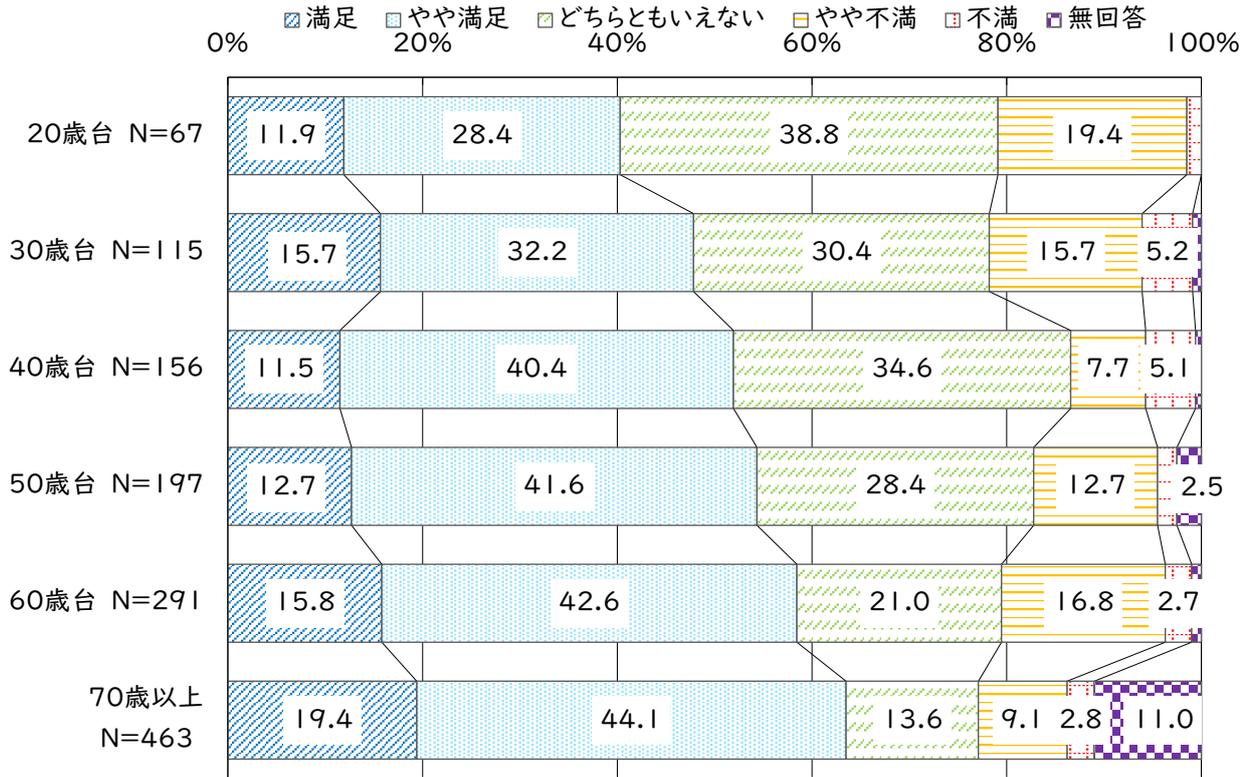


《重要度》

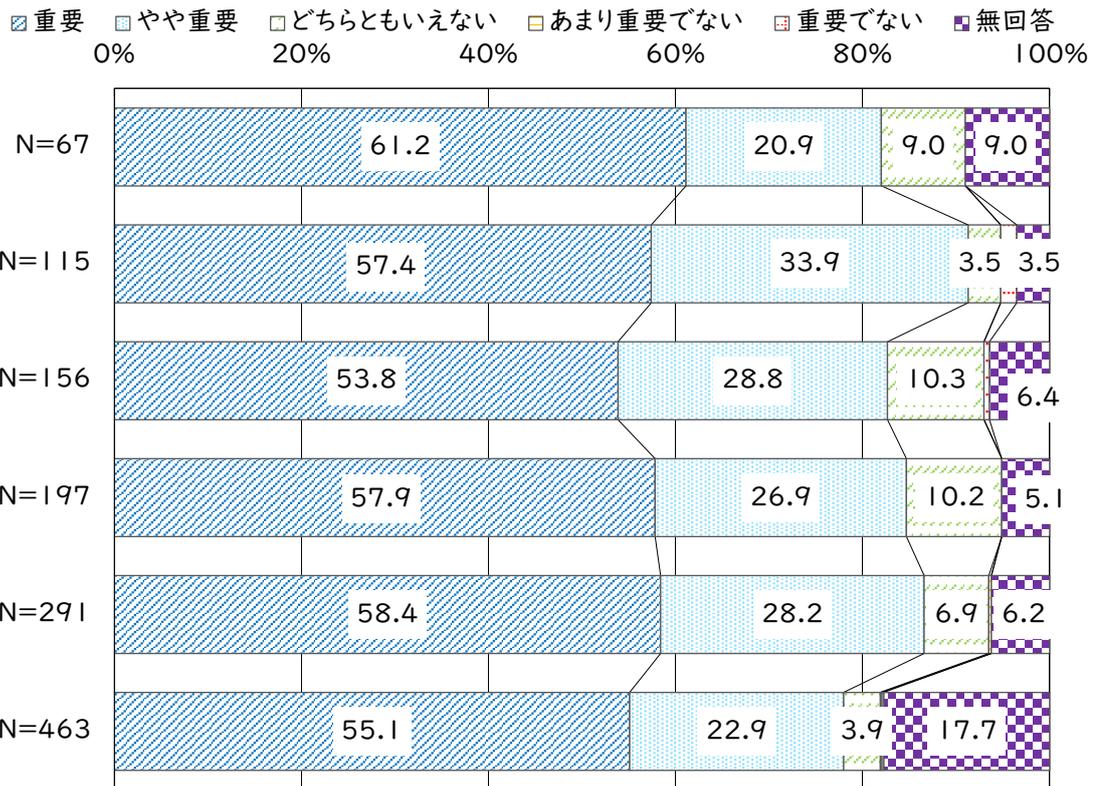


《ごみが決められたルールどおりに出されるようにするための取り組み》

《満足度》

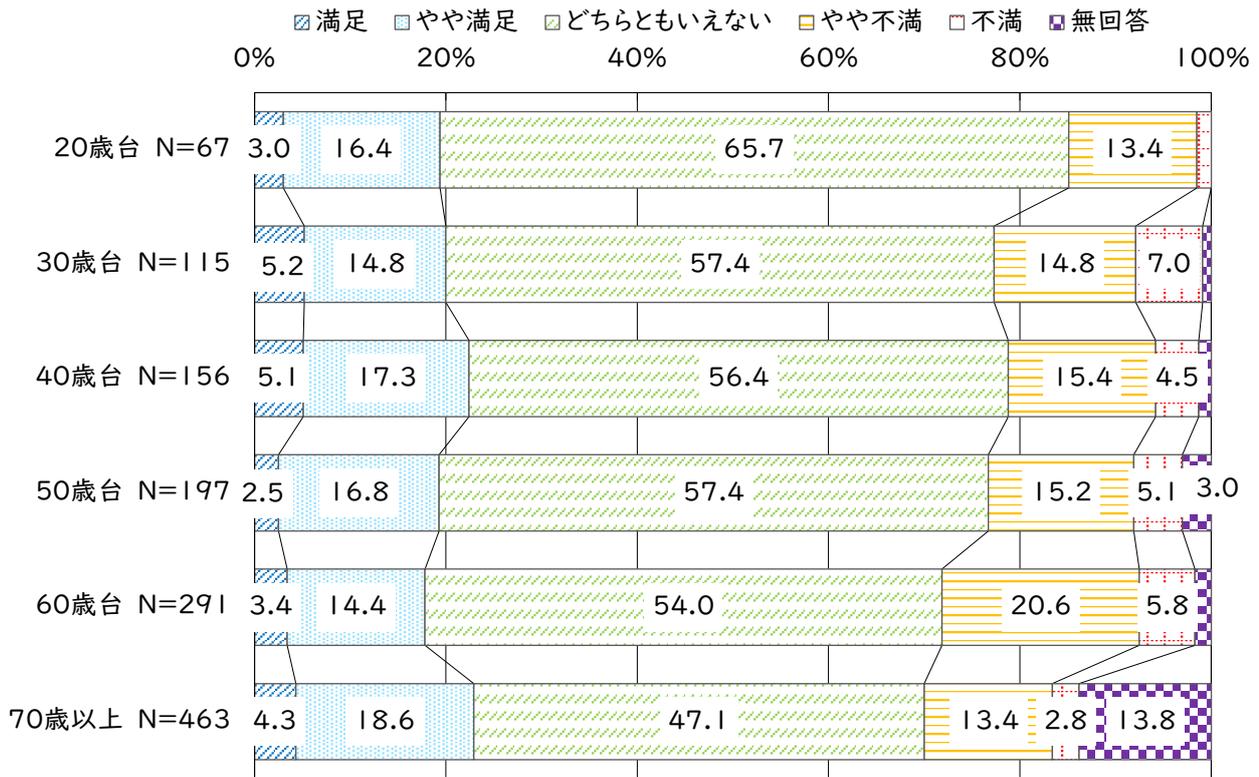


《重要度》

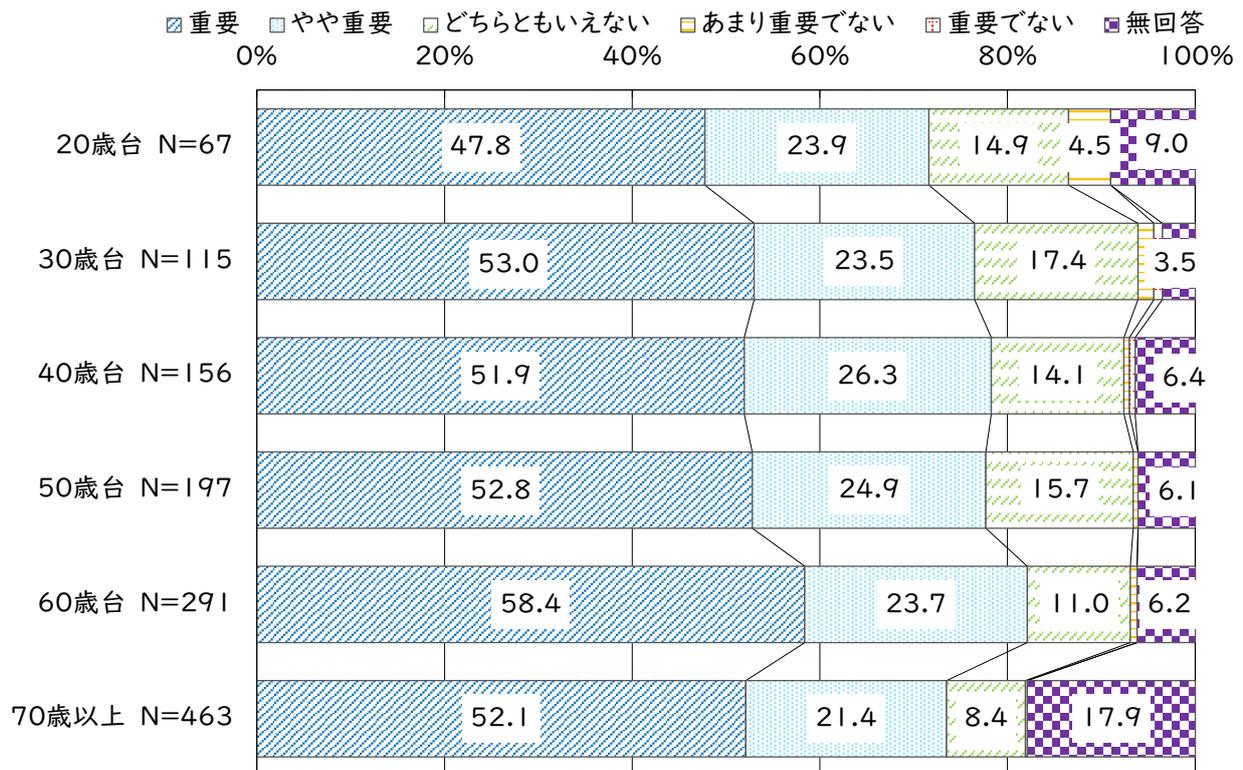


《再生可能エネルギーの推進》※太陽光、風力、水力発電などの枯渇しないエネルギー

《満足度》

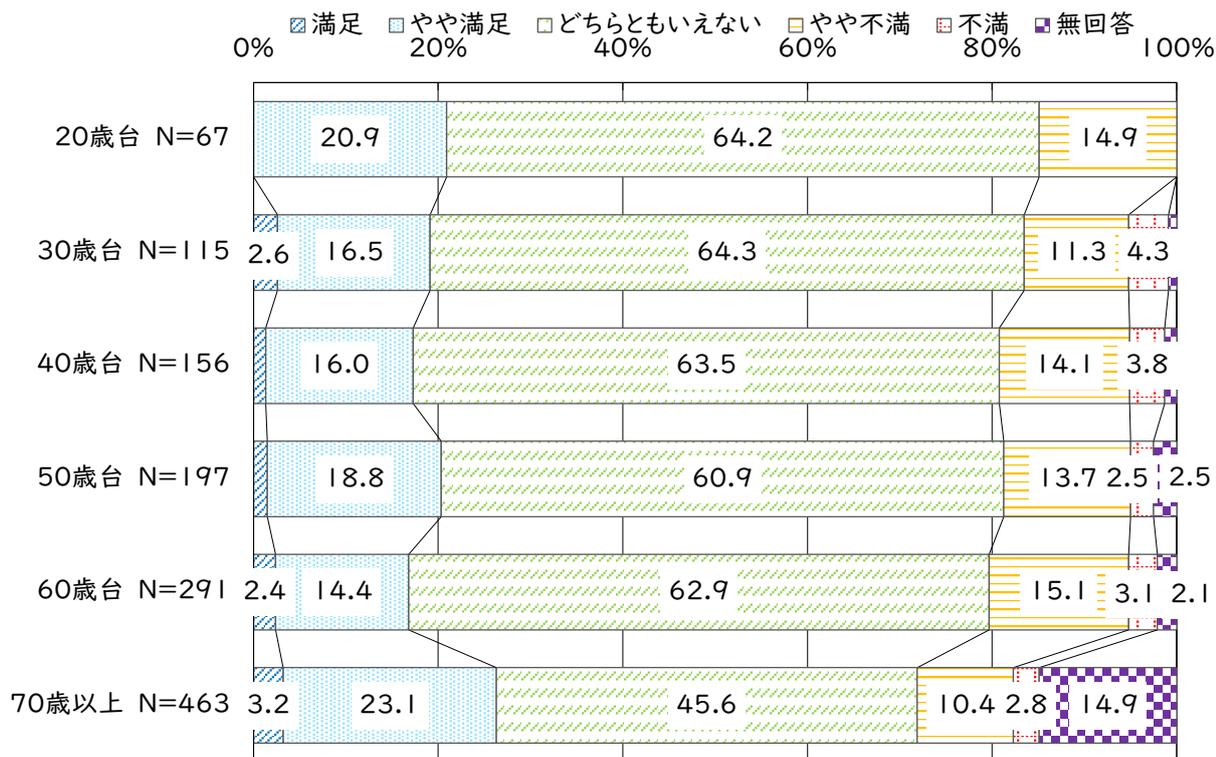


《重要度》

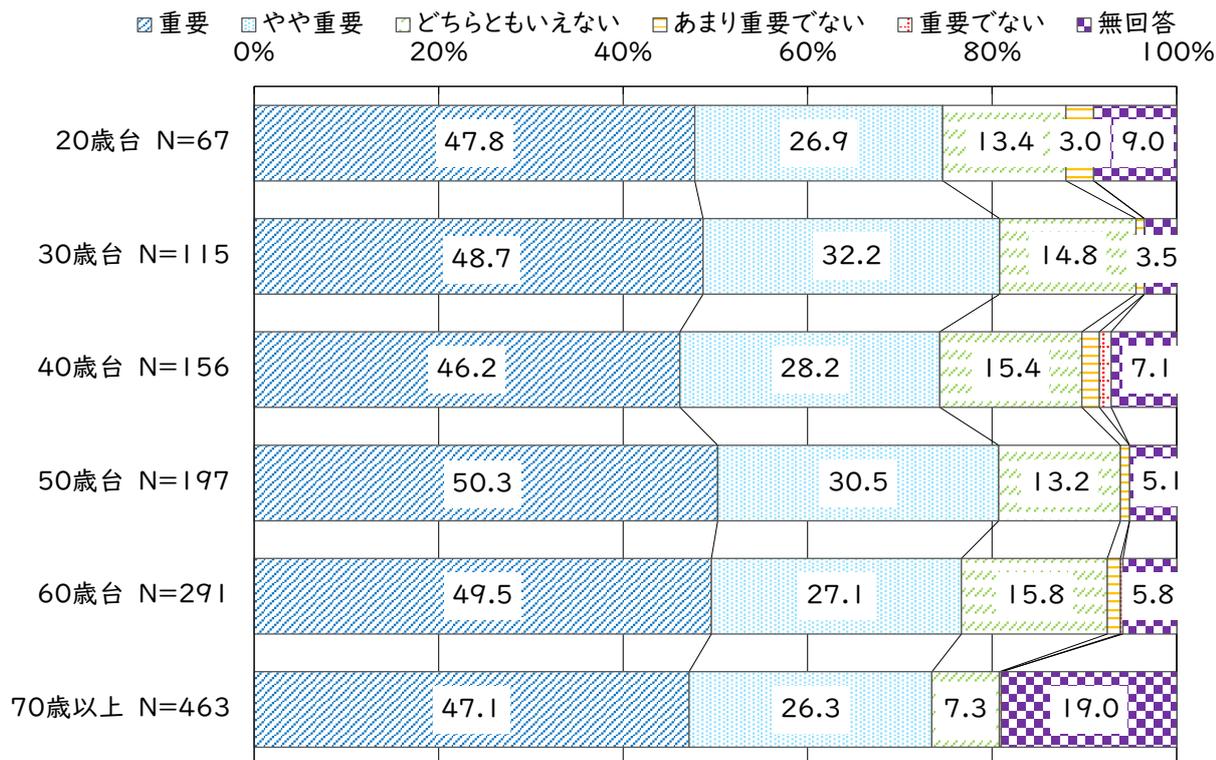


《省エネルギーの取組》

《満足度》

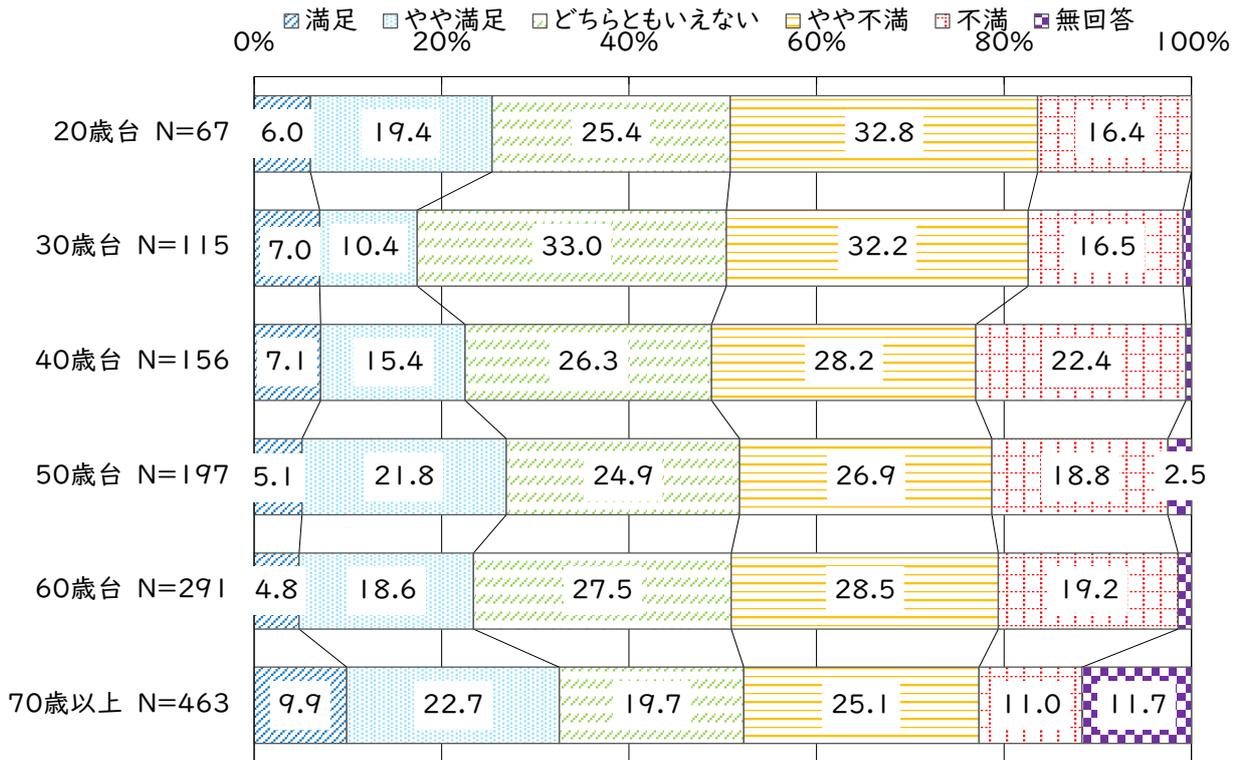


《重要度》

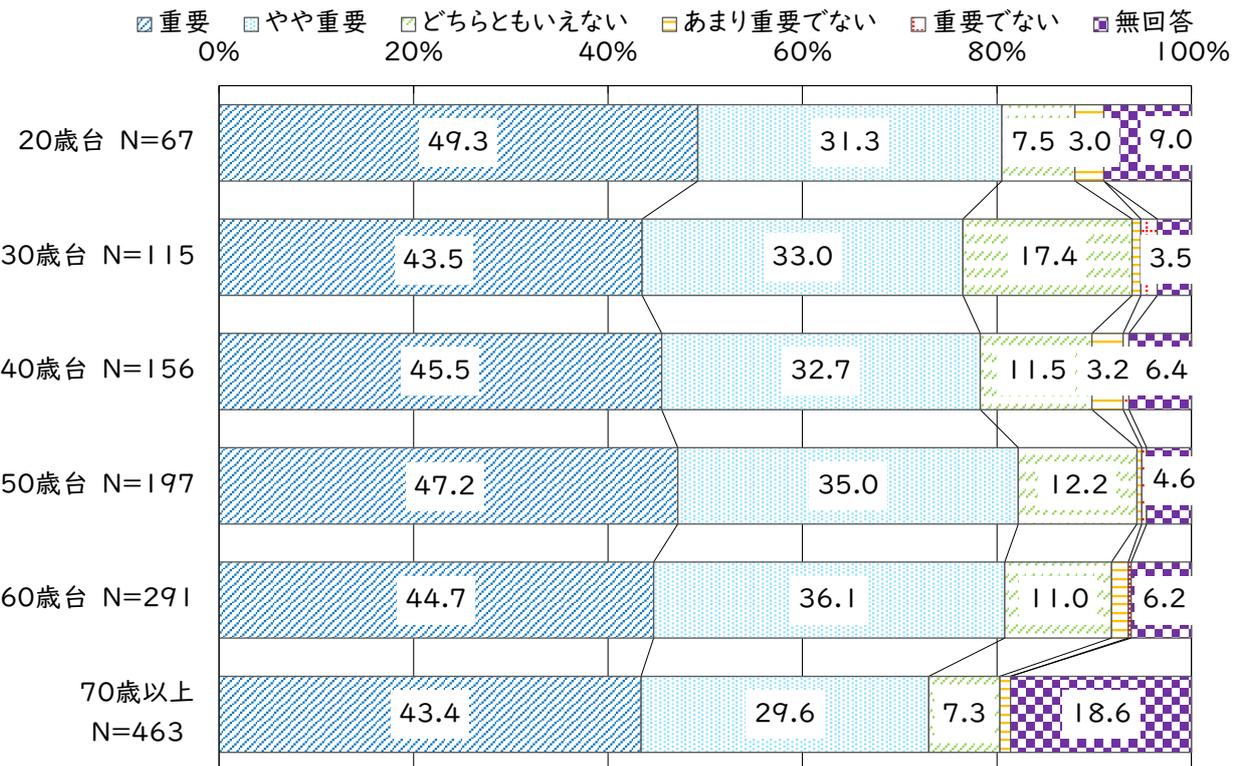


《公共交通機関の便利さ》

《満足度》

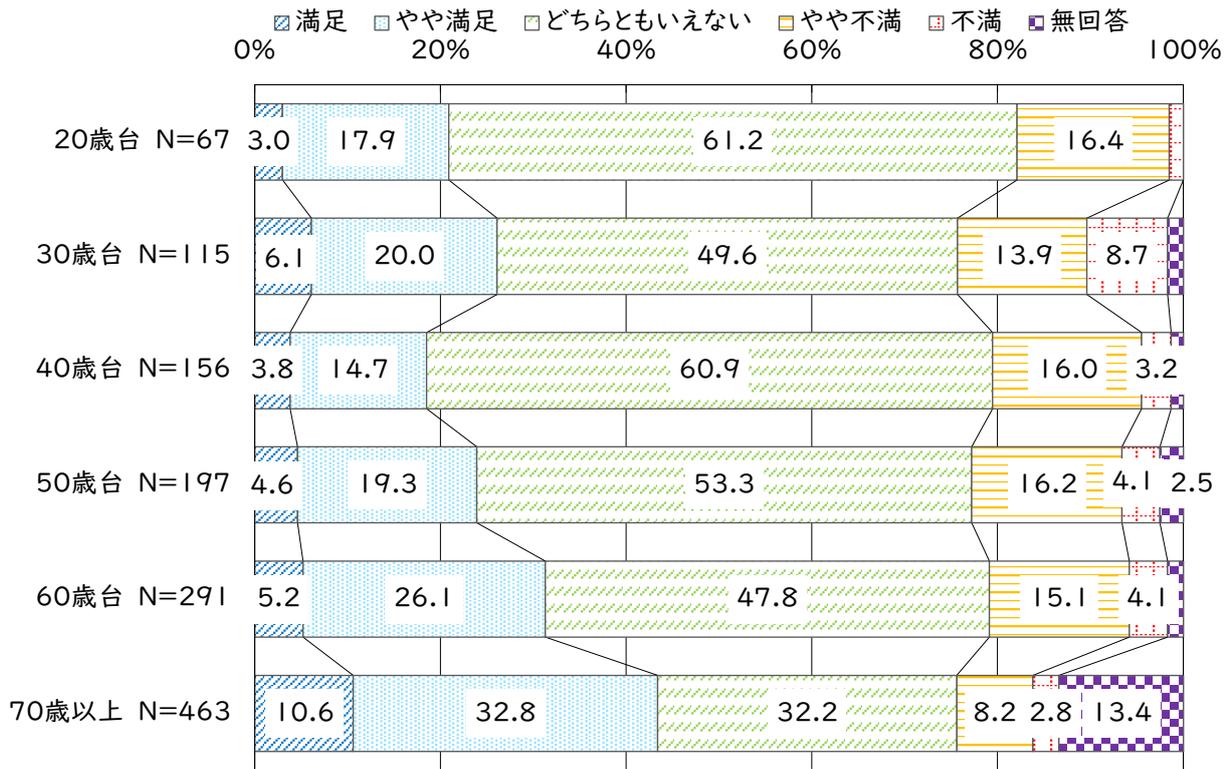


《重要度》

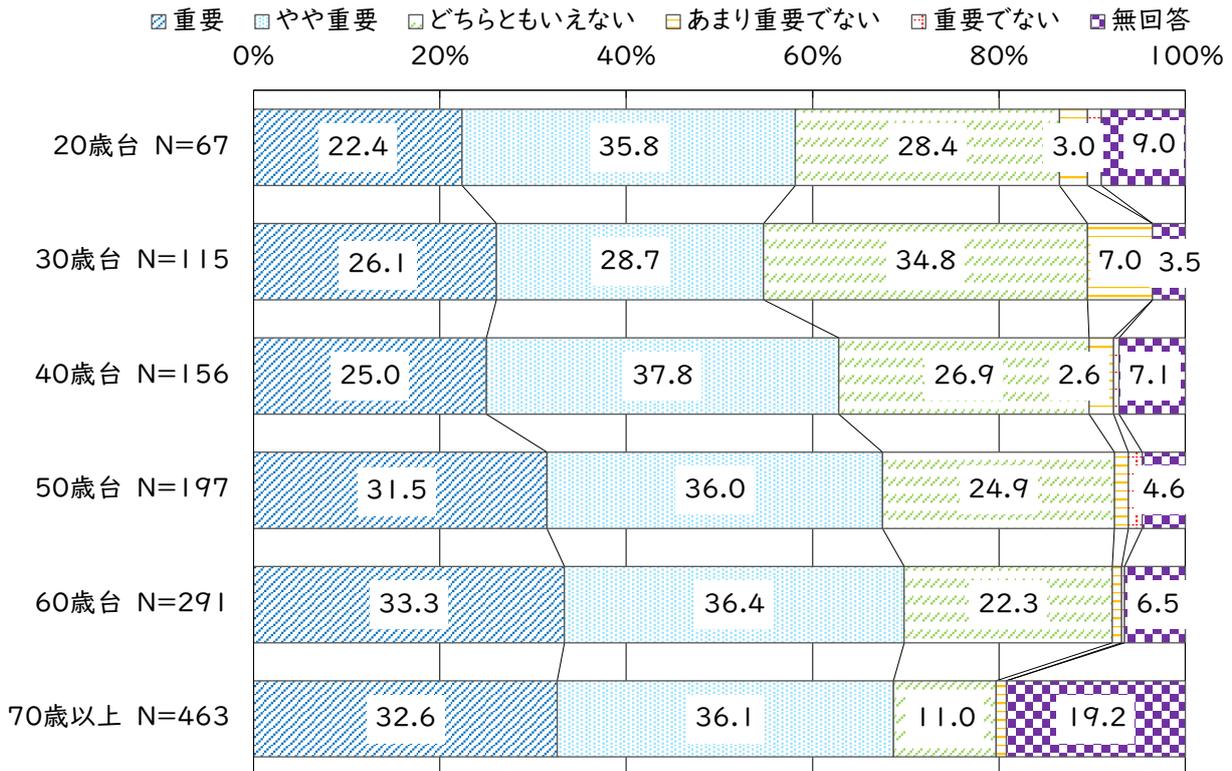


《環境に関する市からの情報提供（広報誌、テレビ、ホームページなど）》

《満足度》

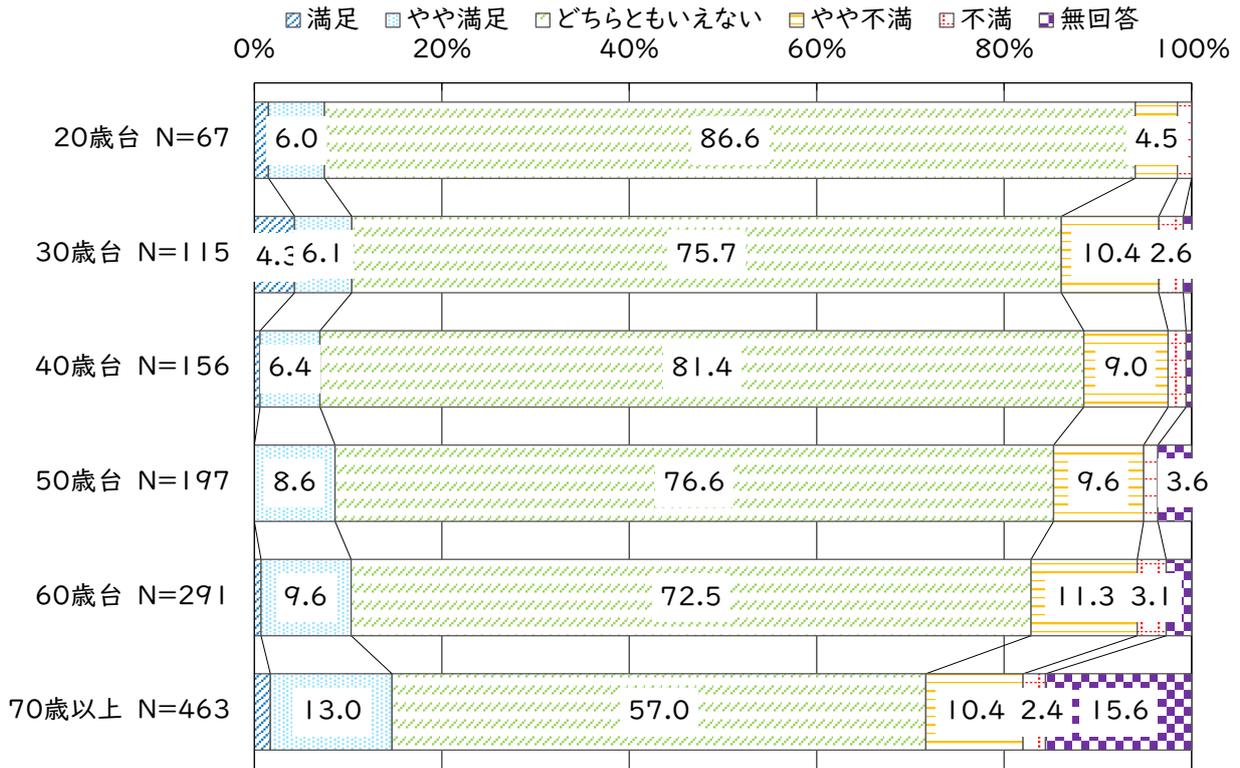


《重要度》

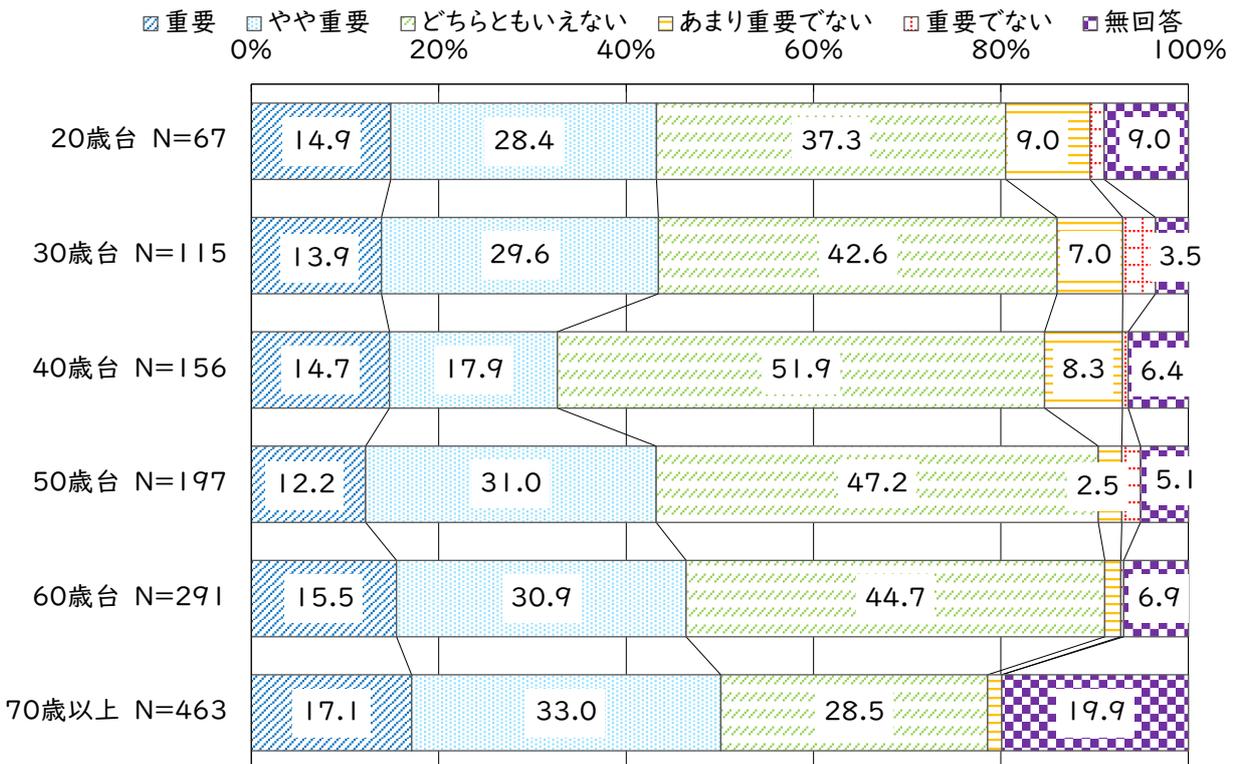


《環境に関する講座や観察会などのイベント》

《満足度》

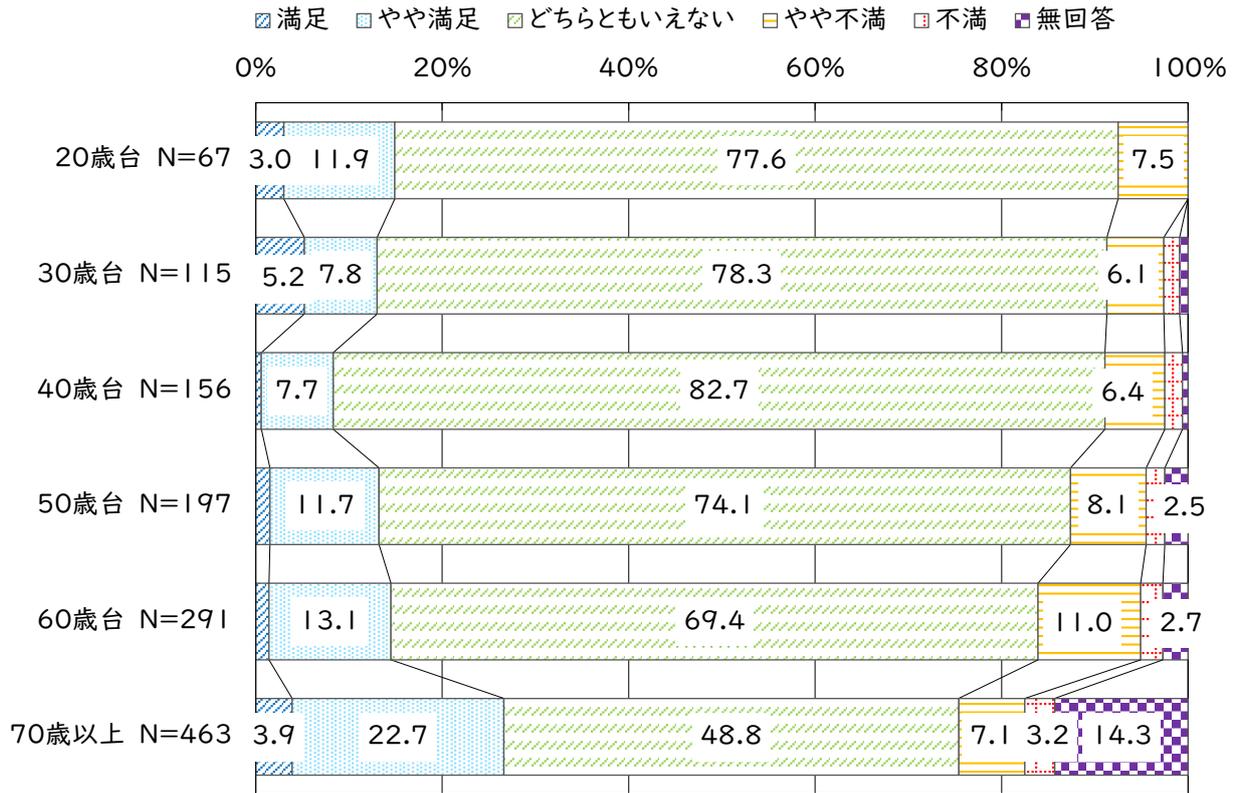


《重要度》

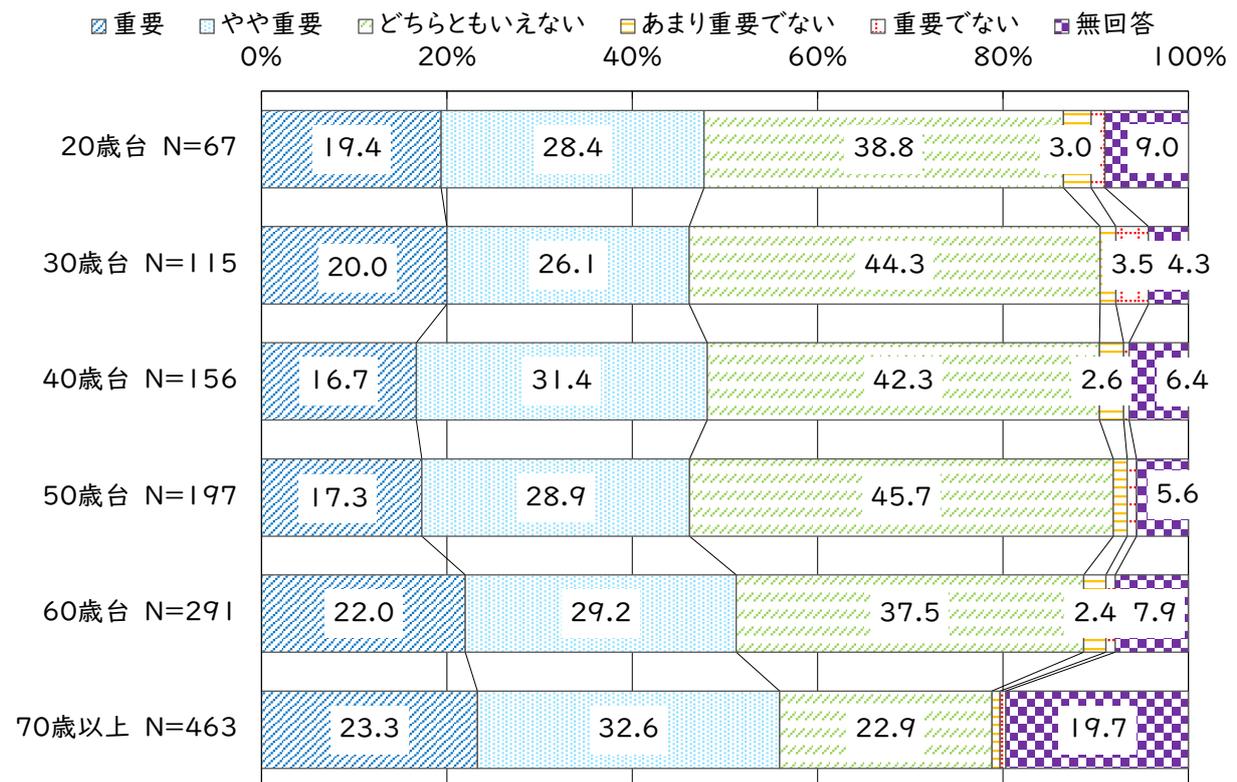


《自治会やNPO団体などの環境保全活動》

《満足度》



《重要度》



見開きページ
調整用の余白です



佐世保市環境部のキャラクター
「ダストンくん」

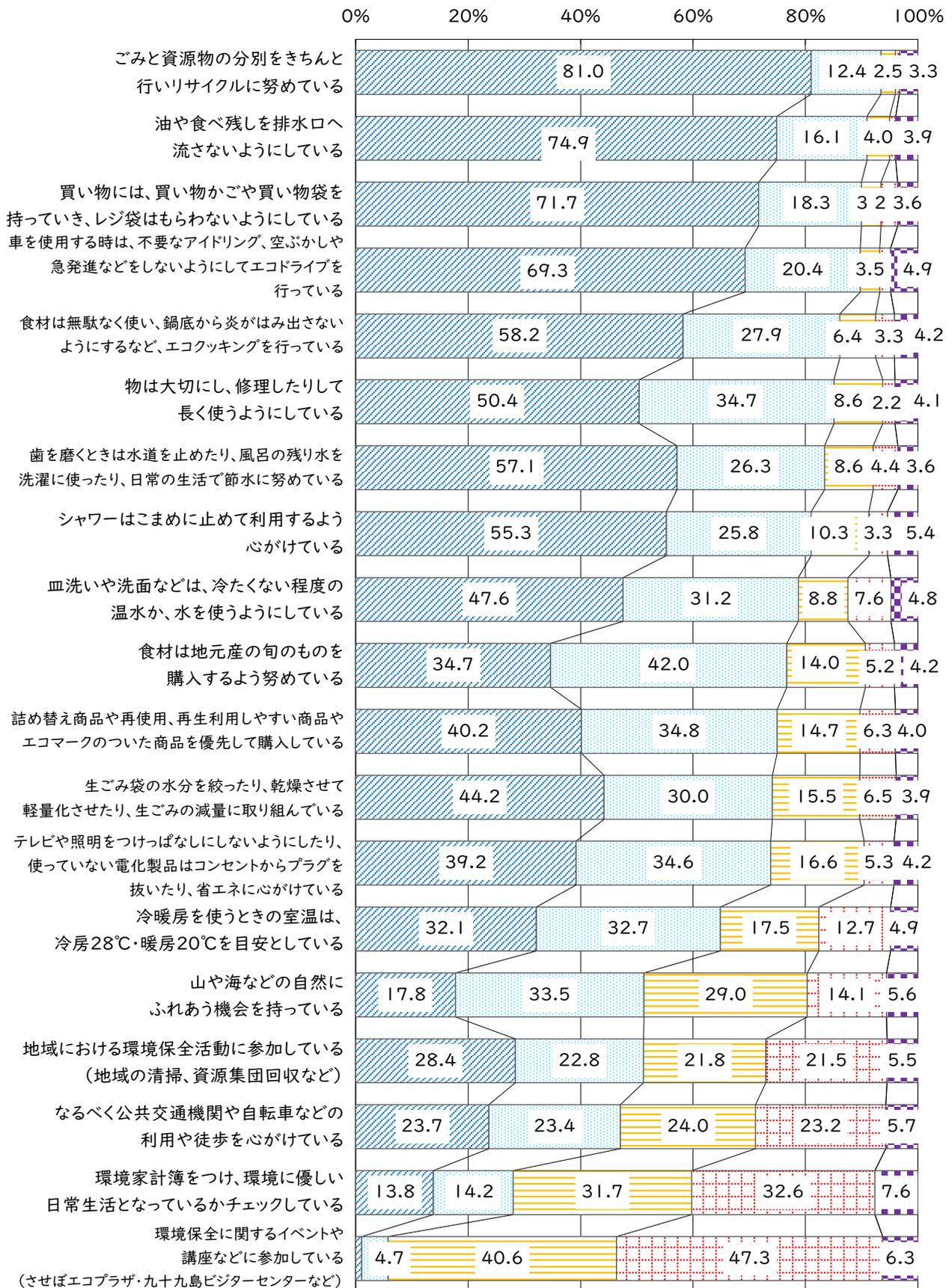
問3 あなたが(または、あなたのご家庭で)日頃行っている環境保全の取り組みについてお聞きします。次の1~20の取り組みについて、あてはまる番号一つに○をつけてください。

(「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

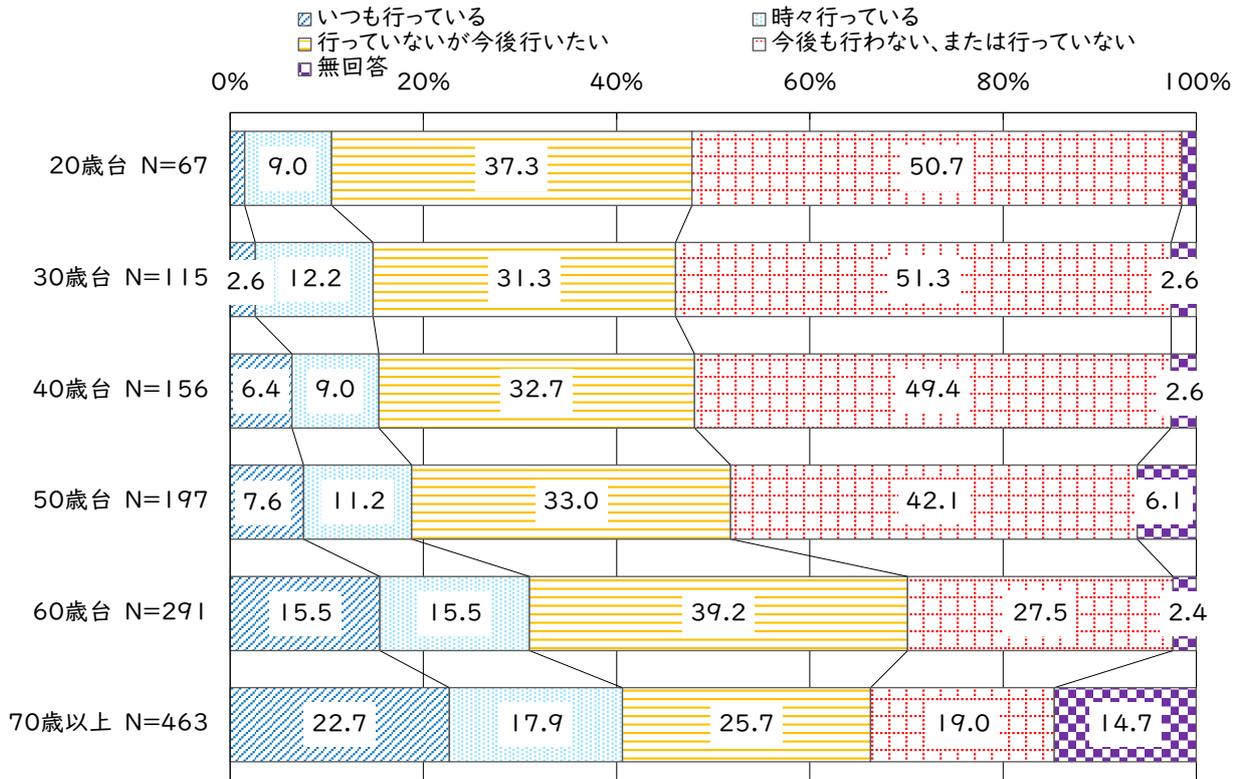
質問事項 ()内の数値は「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合の合計、[]内は昨年の割合(※)	いつも行っている	時々行っている	行っていないが今後行いたい	今後も行わない、又は行っていない	該当しない	無回答	合計
ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている (93.4%[91.9%])	1,049 81.0%	161 12.4%	33 2.5%	9 0.7%	-	43 3.3%	1,295 100%
油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている (91.0%[91.4%])	970 74.9%	208 16.1%	52 4.0%	14 1.1%	-	51 3.9%	1,295 100%
買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている (90.0%[79.0%])	928 71.7%	237 18.3%	45 3.5%	38 2.9%	-	47 3.6%	1,295 100%
車を使用する時は、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしないようにしてエコドライブを行っている (89.7%[89.6%])	756 69.3%	223 20.4%	38 3.5%	21 1.9%	204	53 4.9%	1,091 100%
食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないするなど、エコクッキングを行っている(86.1%[83.1%])	754 58.2%	361 27.9%	83 6.4%	43 3.3%	-	54 4.2%	1,295 100%
物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている (85.1%[85.3%])	653 50.4%	449 34.7%	112 8.6%	28 2.2%	-	53 4.1%	1,295 100%
歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている (83.4%[83.6%])	740 57.1%	340 26.3%	112 8.6%	57 4.4%	-	46 3.6%	1,295 100%
シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている (81.1%[81.4%])	571 55.3%	266 25.8%	106 10.3%	34 3.3%	262	56 5.4%	1,033 100%
皿洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている (78.8%[79.0%])	616 47.6%	404 31.2%	114 8.8%	99 7.6%	-	62 4.8%	1,295 100%
食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている (76.7%[73.7%])	449 34.7%	544 42.0%	181 14.0%	67 5.2%	-	54 4.2%	1,295 100%
詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している (75.0%[72.5%])	520 40.2%	451 34.8%	191 14.7%	81 6.3%	-	52 4.0%	1,295 100%
生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり生ごみの減量に取り組んでいる (74.2%[72.3%])	572 44.2%	388 30.0%	201 15.5%	84 6.5%	-	50 3.9%	1,295 100%
テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている (73.8%[78.9%])	508 39.2%	448 34.6%	215 16.6%	69 5.3%	-	55 4.2%	1,295 100%
冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安としている (64.8%[64.5%])	416 32.1%	424 32.7%	227 17.5%	165 12.7%	-	63 4.9%	1,295 100%
山や海などの自然にふれあう機会を持っている (51.3%[50.5%])	230 17.8%	434 33.5%	376 29.0%	183 14.1%	-	72 5.6%	1,295 100%
地域における環境保全活動に参加している (地域の清掃、資源集団回収など) (51.2%[52.9%])	368 28.4%	295 22.8%	282 21.8%	279 21.5%	-	71 5.5%	1,295 100%
なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている (47.1%[47.6%])	307 23.7%	303 23.4%	311 24.0%	300 23.2%	-	74 5.7%	1,295 100%
環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっているかチェックしている (28.0%[26.1%])	179 13.8%	184 14.2%	411 31.7%	422 32.6%	-	99 7.6%	1,295 100%
環境保全に関するイベントや講座などに参加している(させぼエコプラザ・九十九島ビジターセンターなど) (5.8%[8.6%])	14 1.1%	61 4.7%	526 40.6%	613 47.3%	-	81 6.3%	1,295 100%

※有効回答者数(N):1,295人、「該当しない」を除いた割合で計算している。

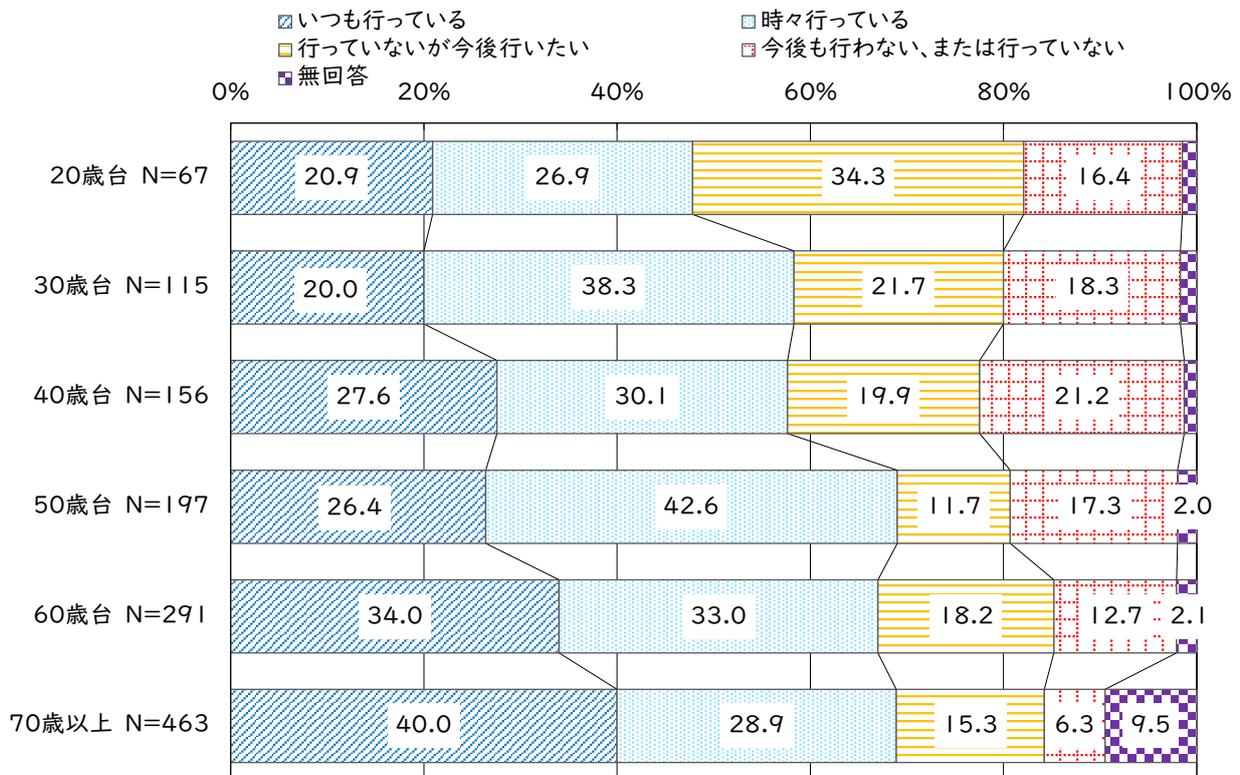
● 令和2年7月1日からのレジ袋有料化が始まって以来、初の調査であったが、「買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている」の項目は前年度から11ポイント増加した。



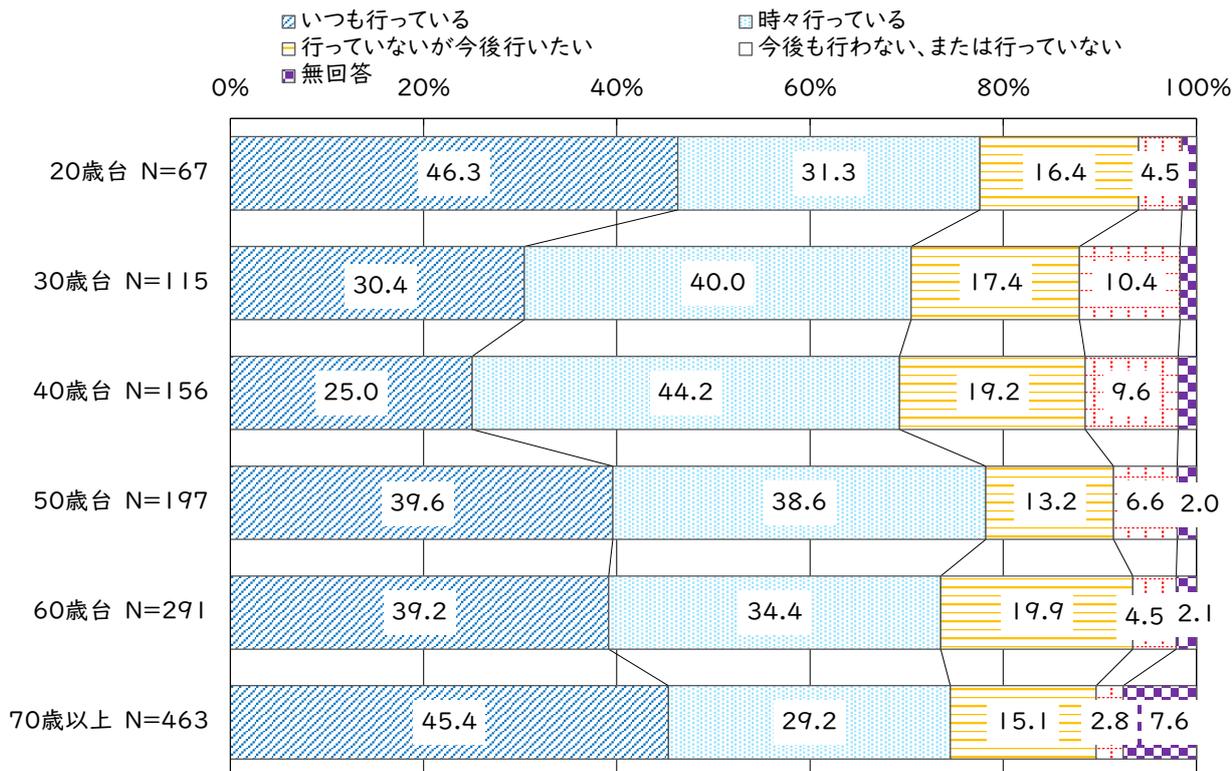
《環境家計簿をつけ、環境にやさしい日常生活になっているかチェックしている》



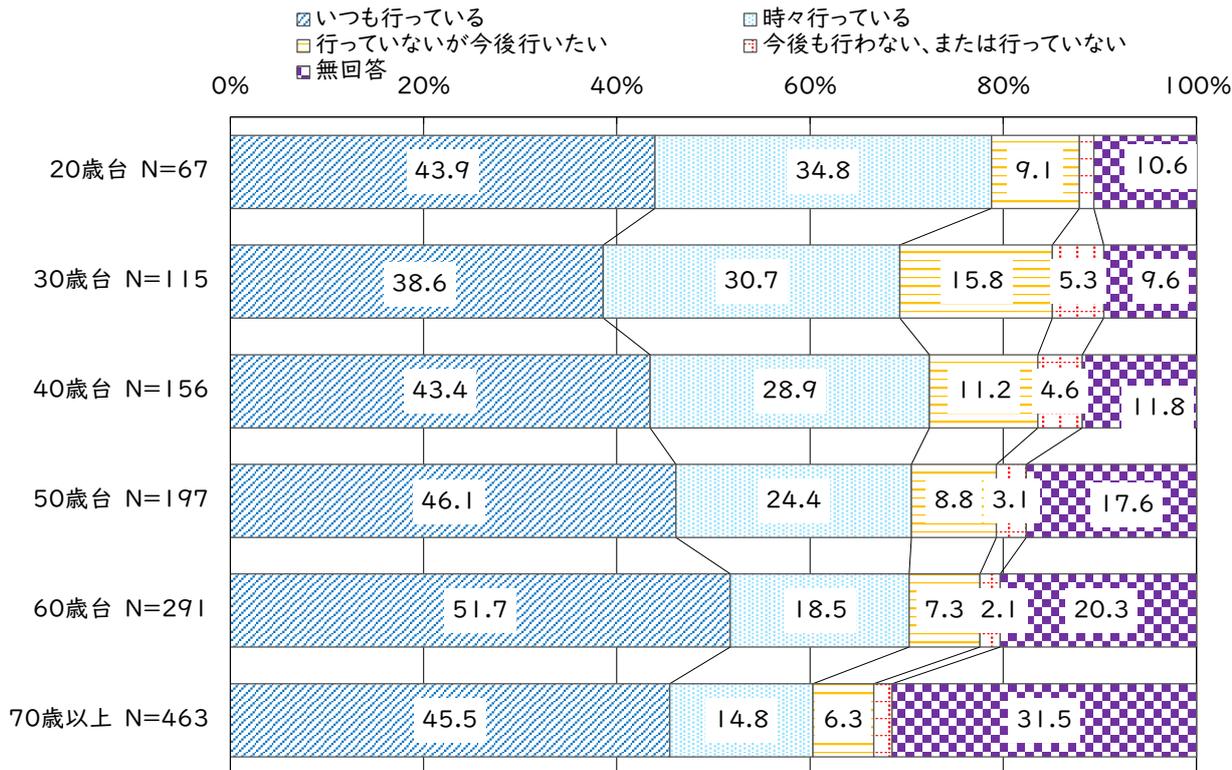
《冷房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安としている》



《テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている》

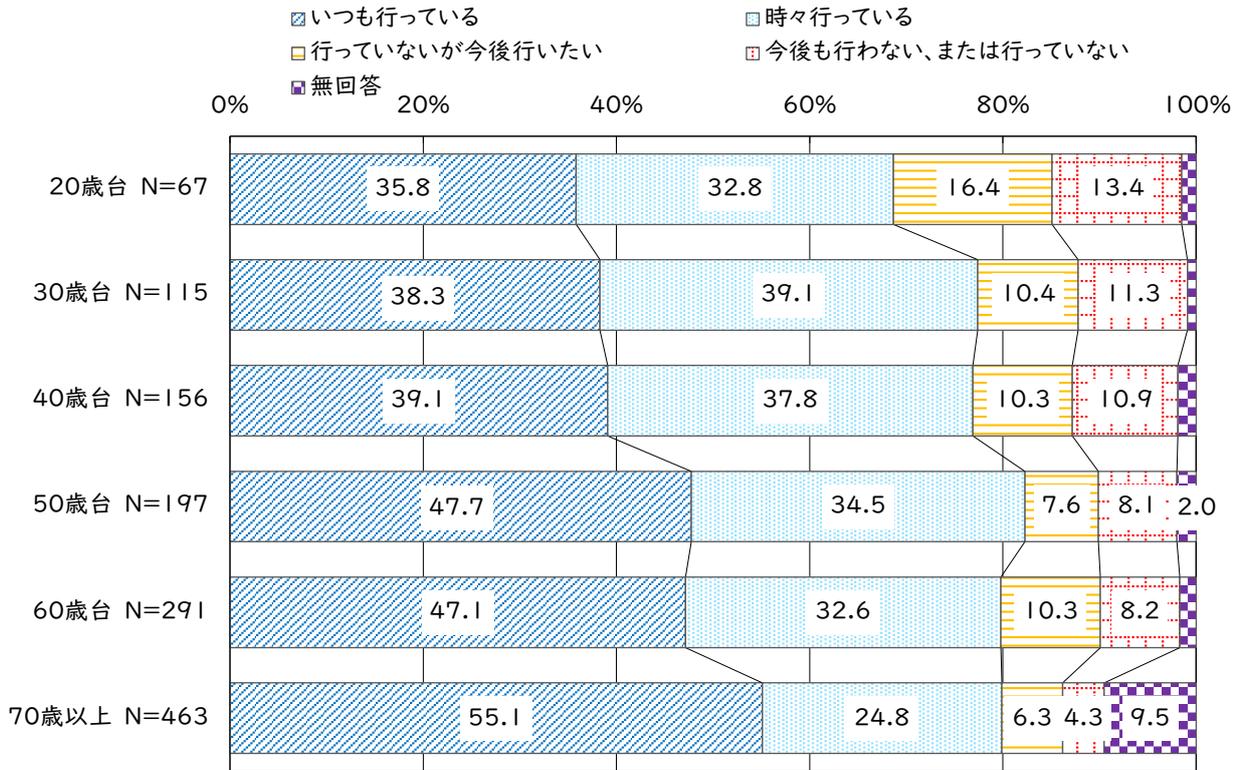


《シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている》

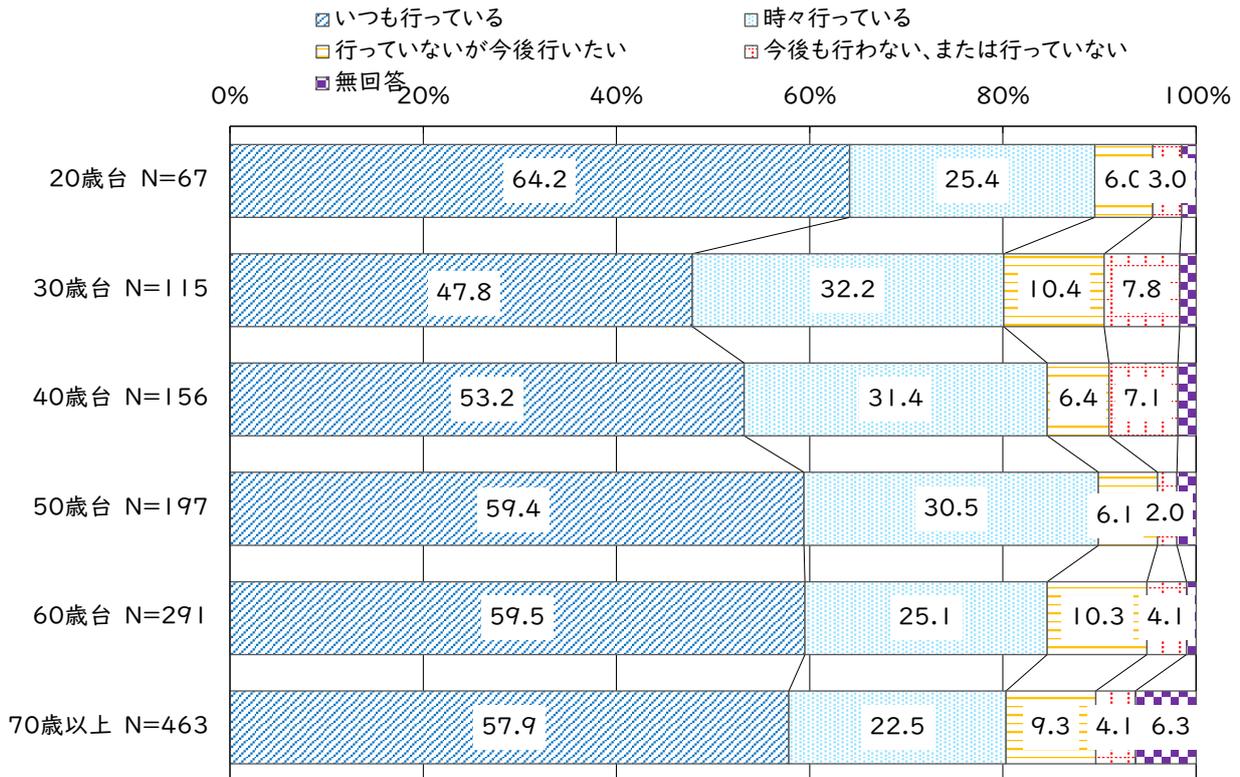


※「該当しない」を除外している

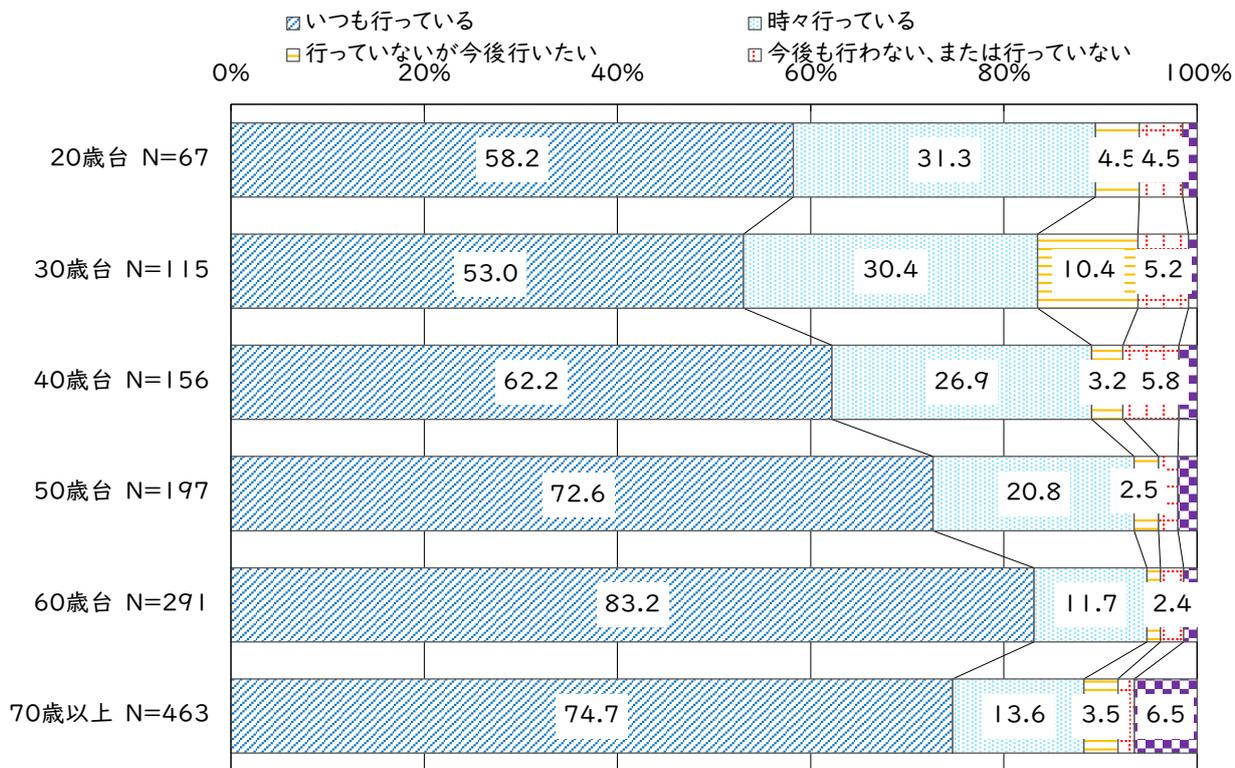
《血洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている》



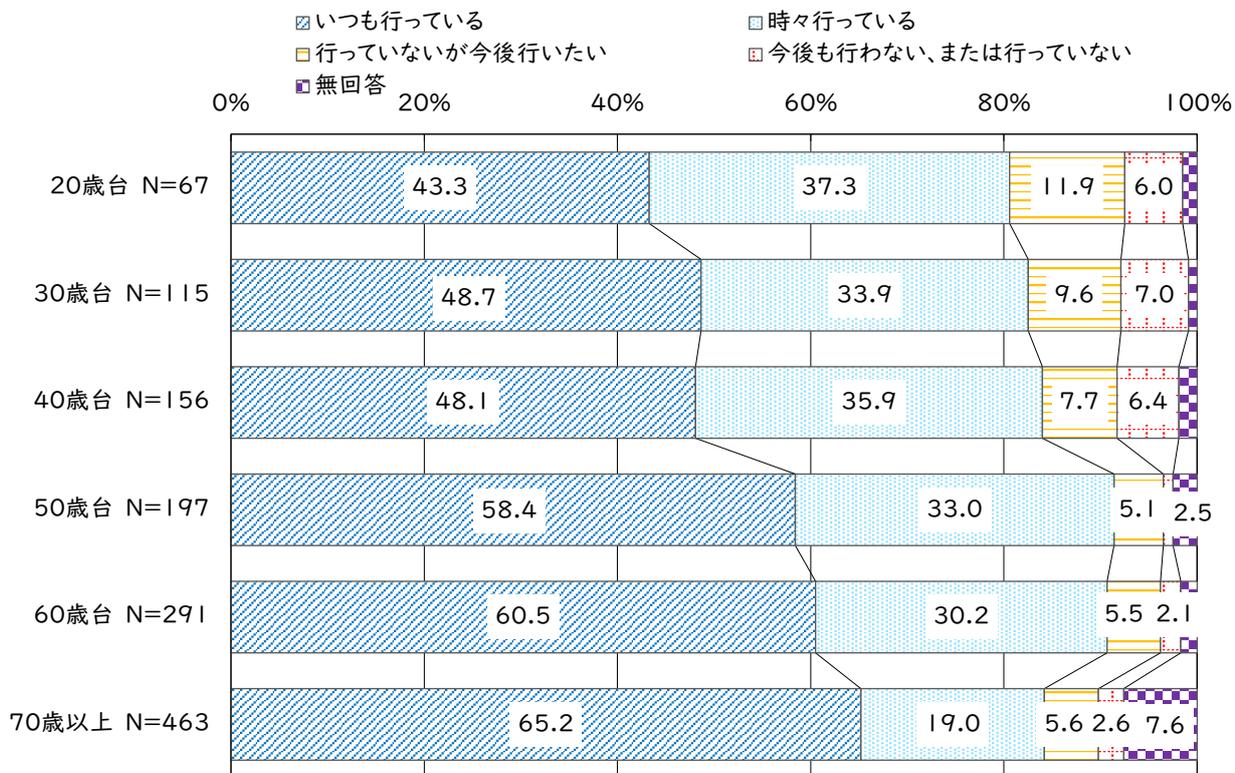
《歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている》



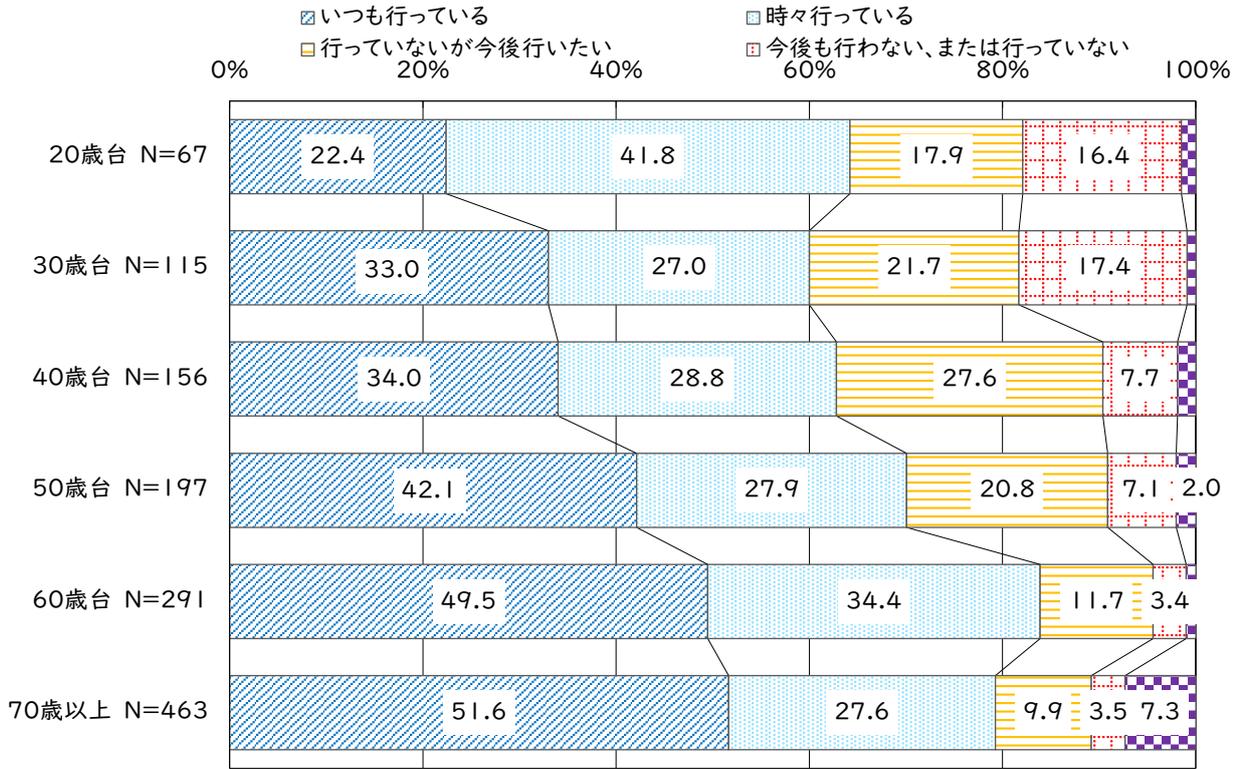
《買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている》



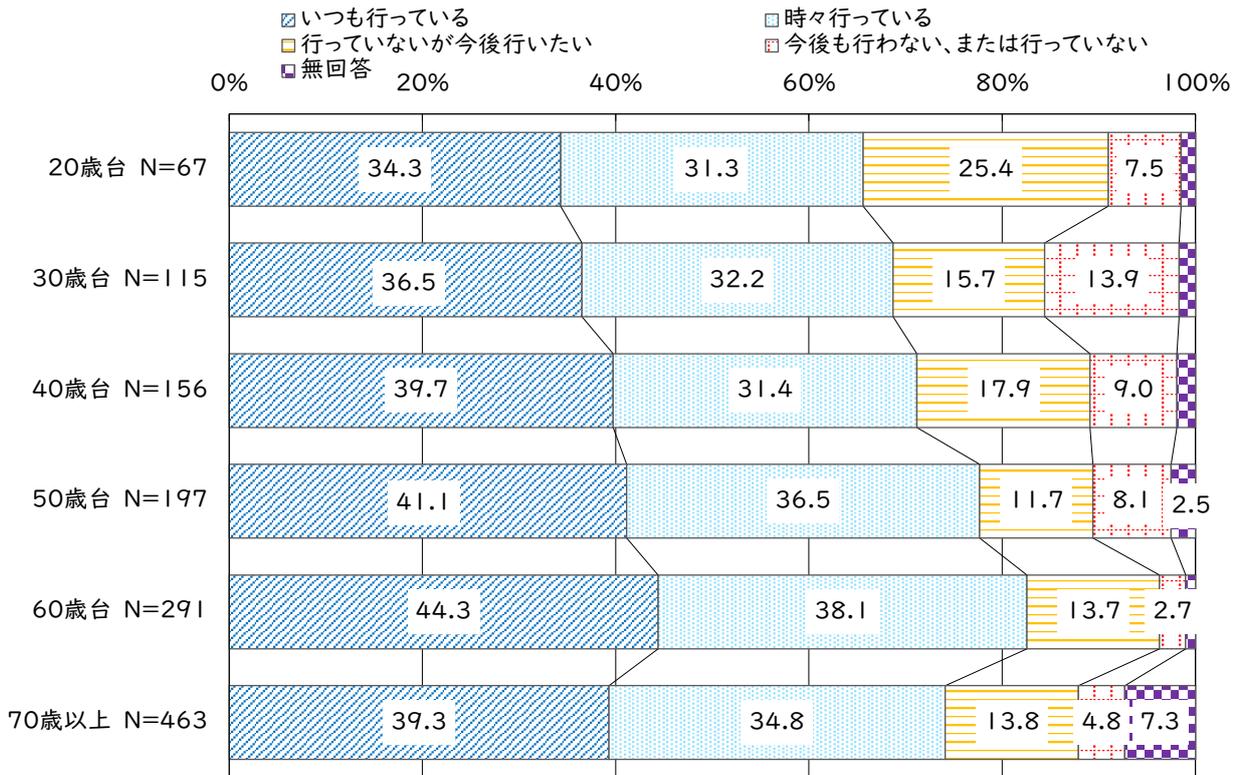
《食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている》



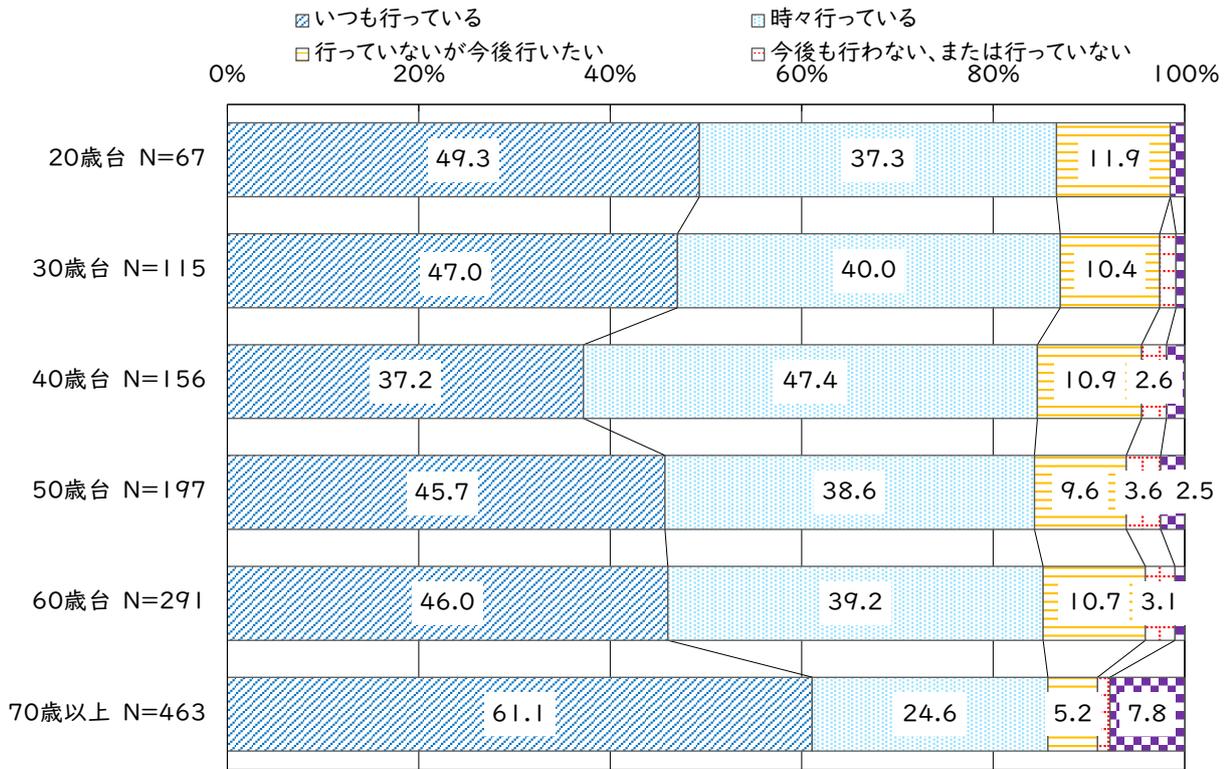
《生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり、生ごみの減量に取り組んでいる》



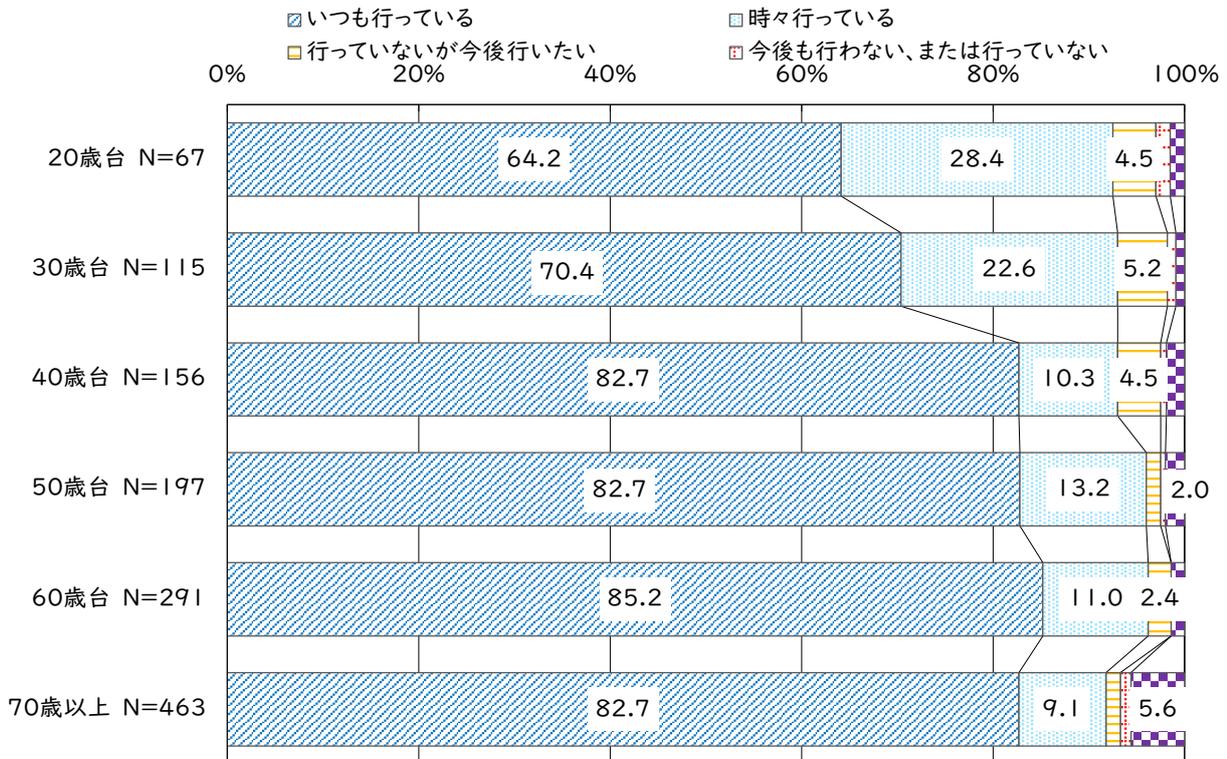
《詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している》



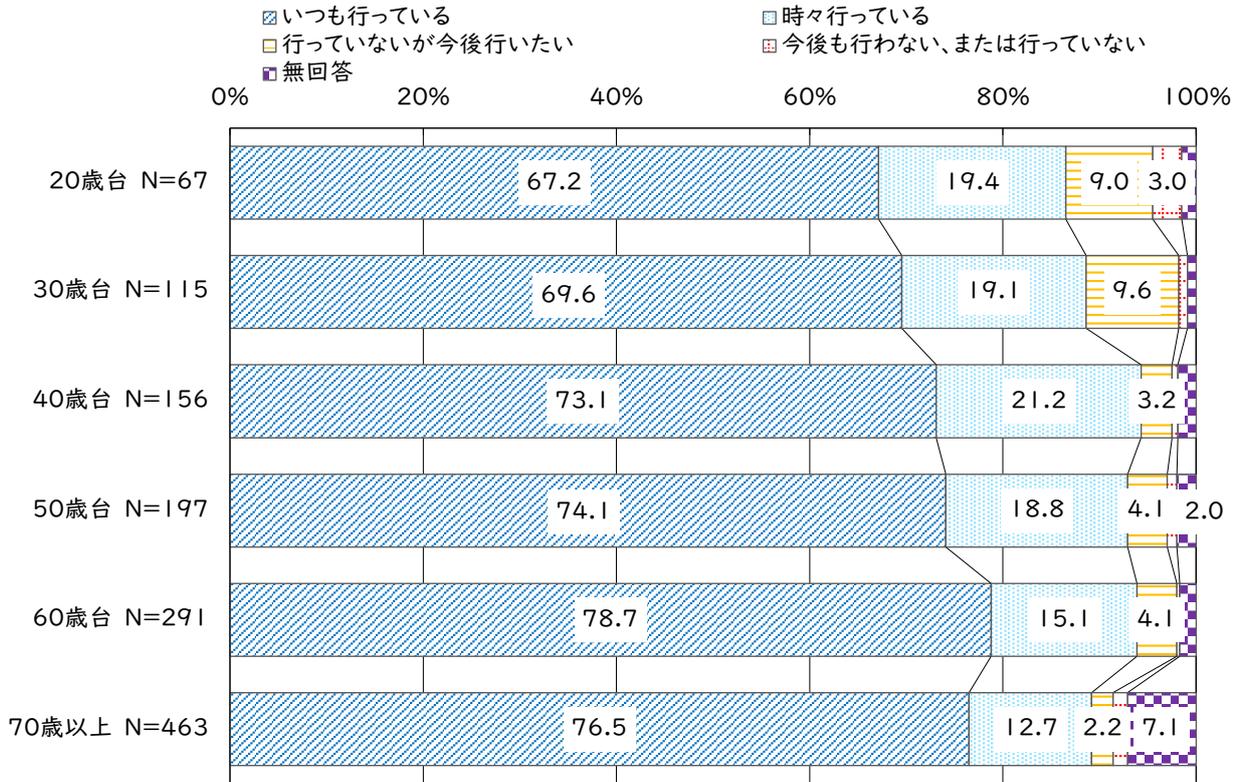
《物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている》



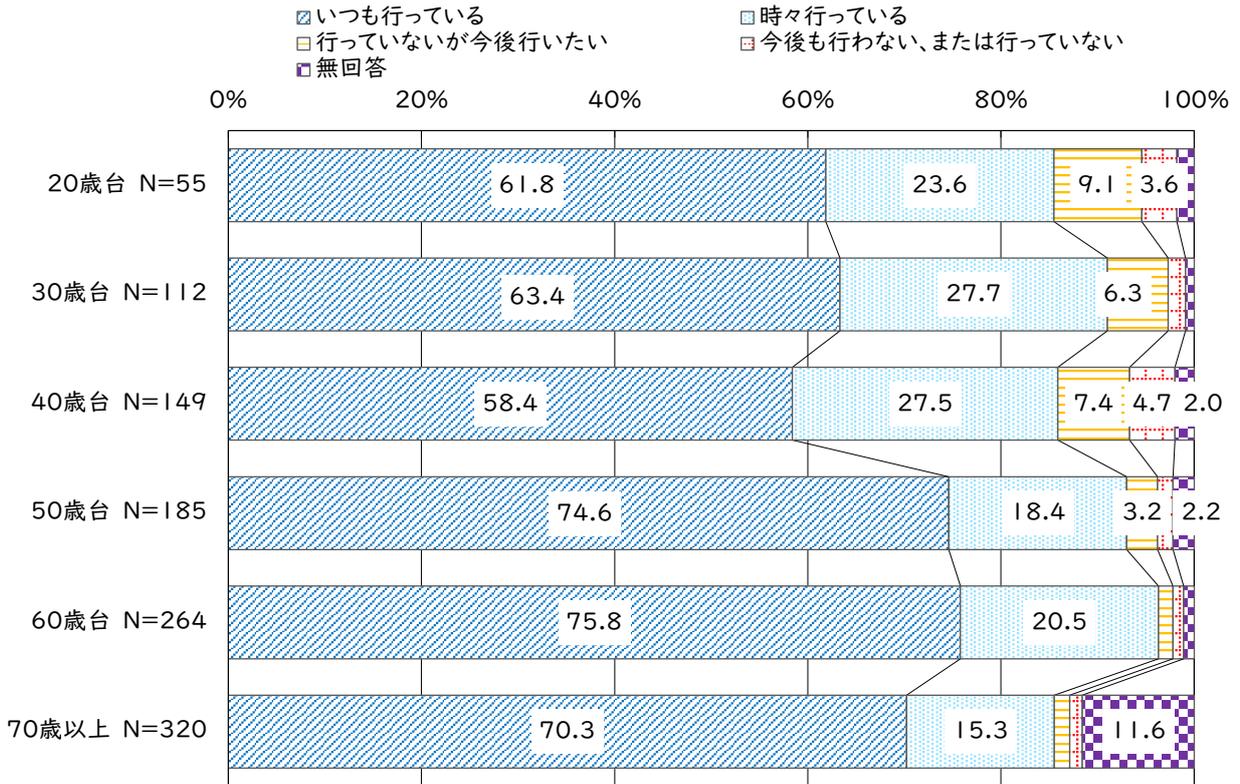
《ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている》



《油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている》

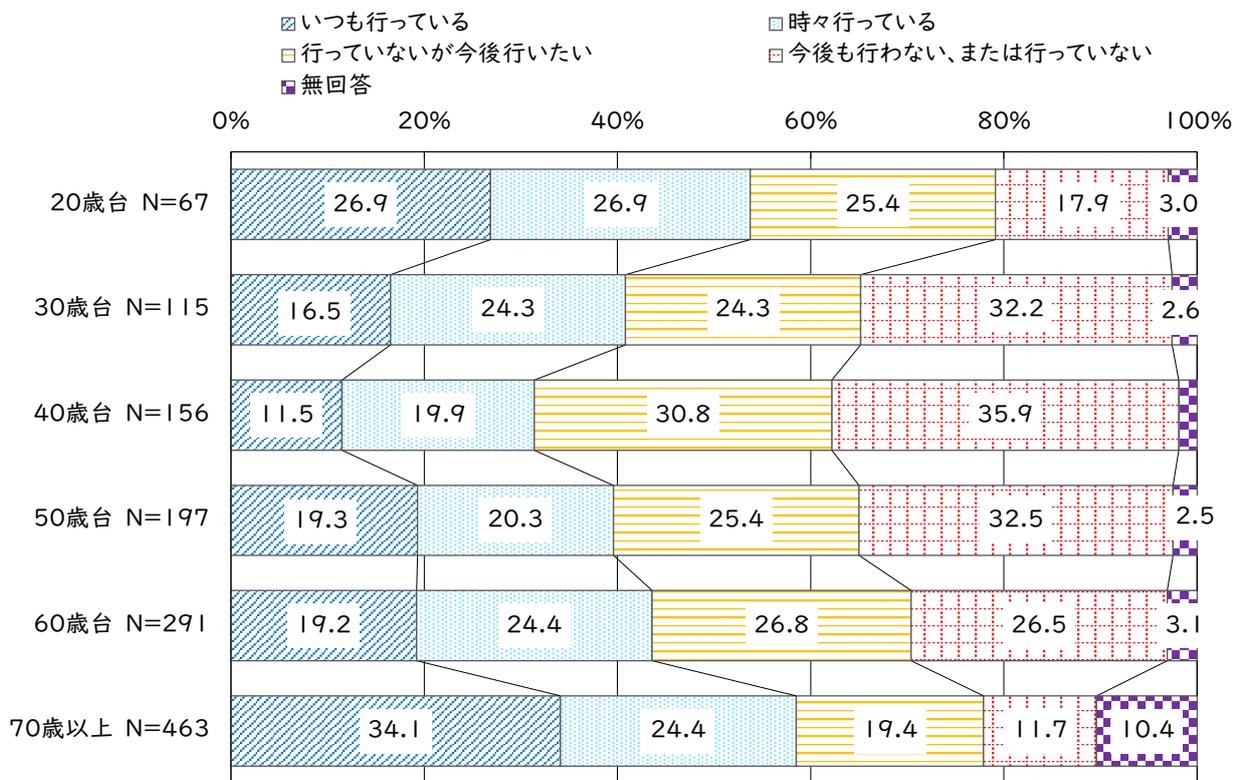


《車を使用するときは、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしないようにしてエコドライブを行っている》

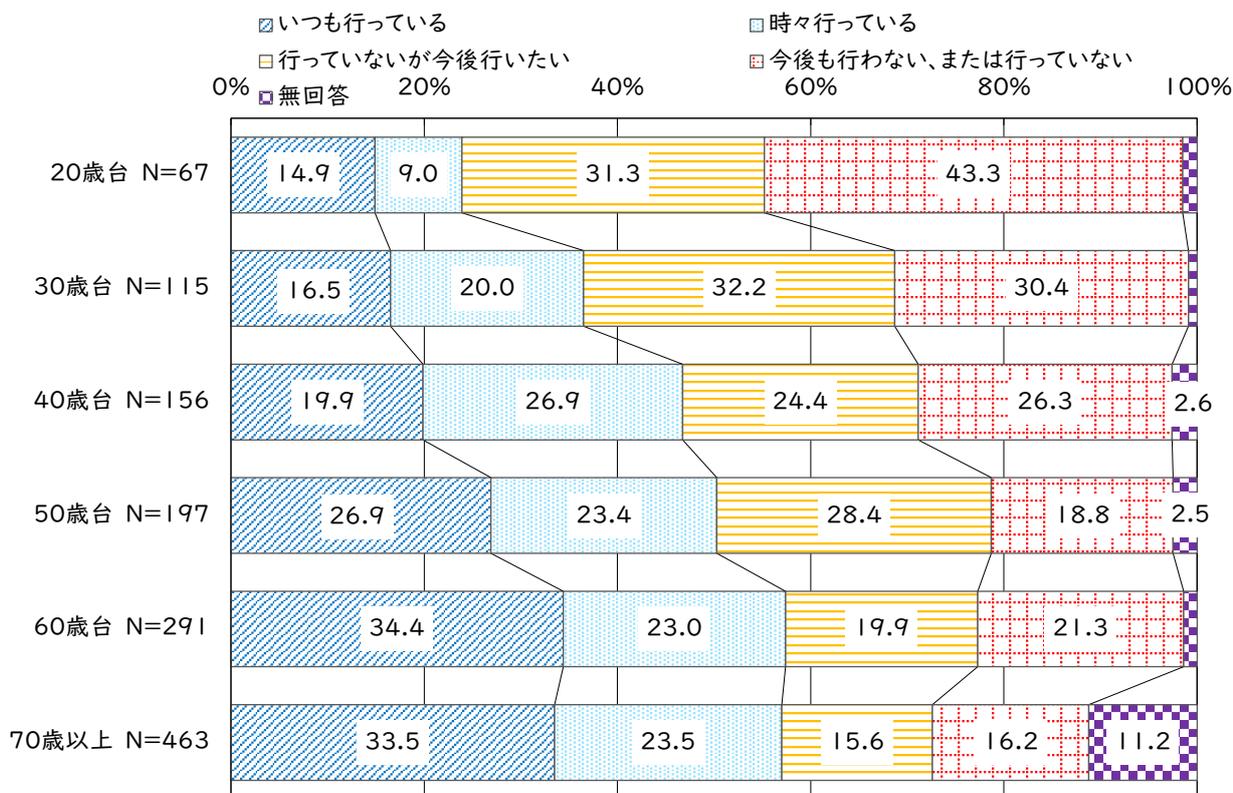


※「該当しない」を除外している

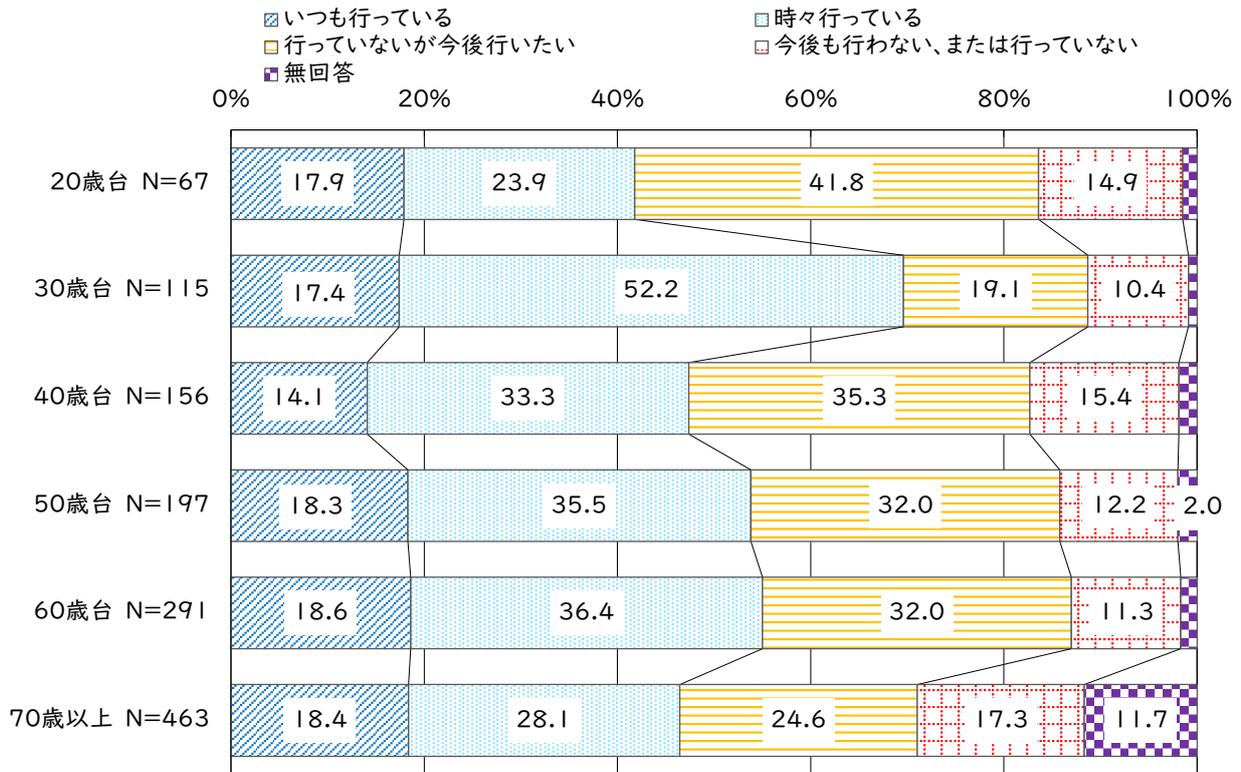
《なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている》



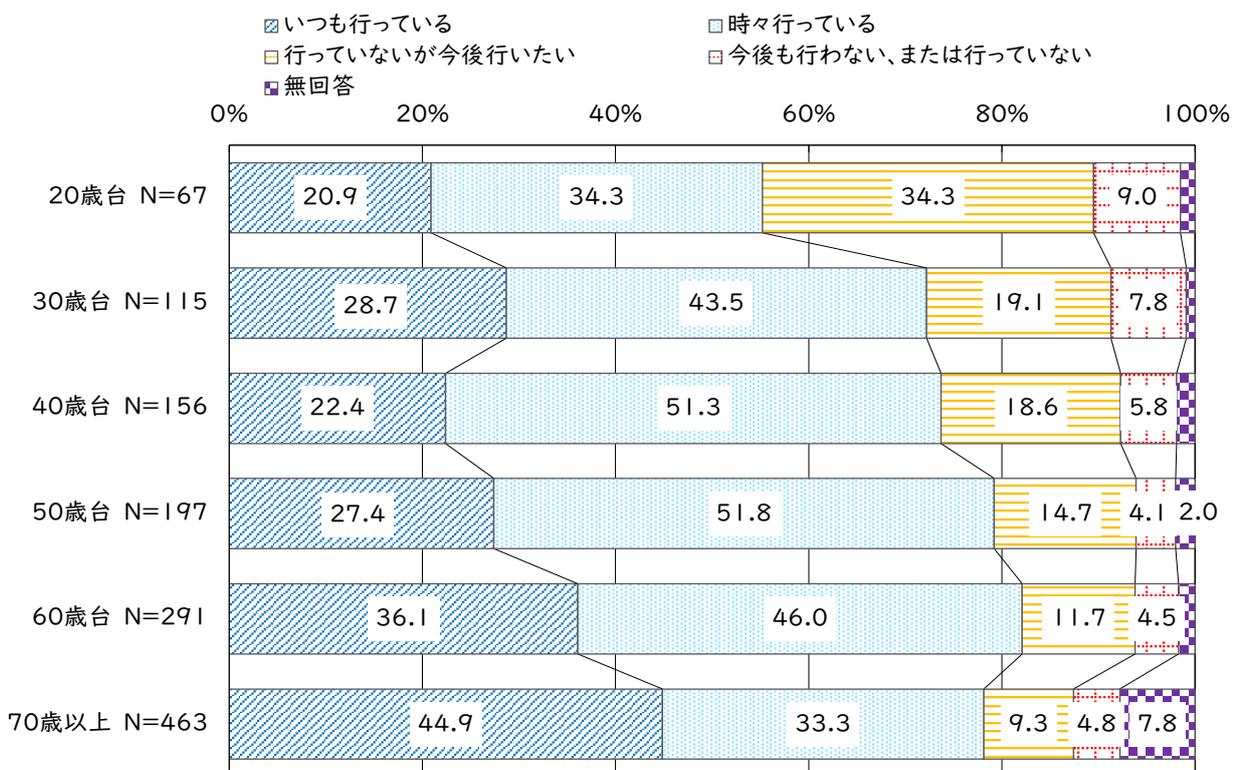
《地域における環境保全活動に参加している（地域の清掃、資源集団回収など）》



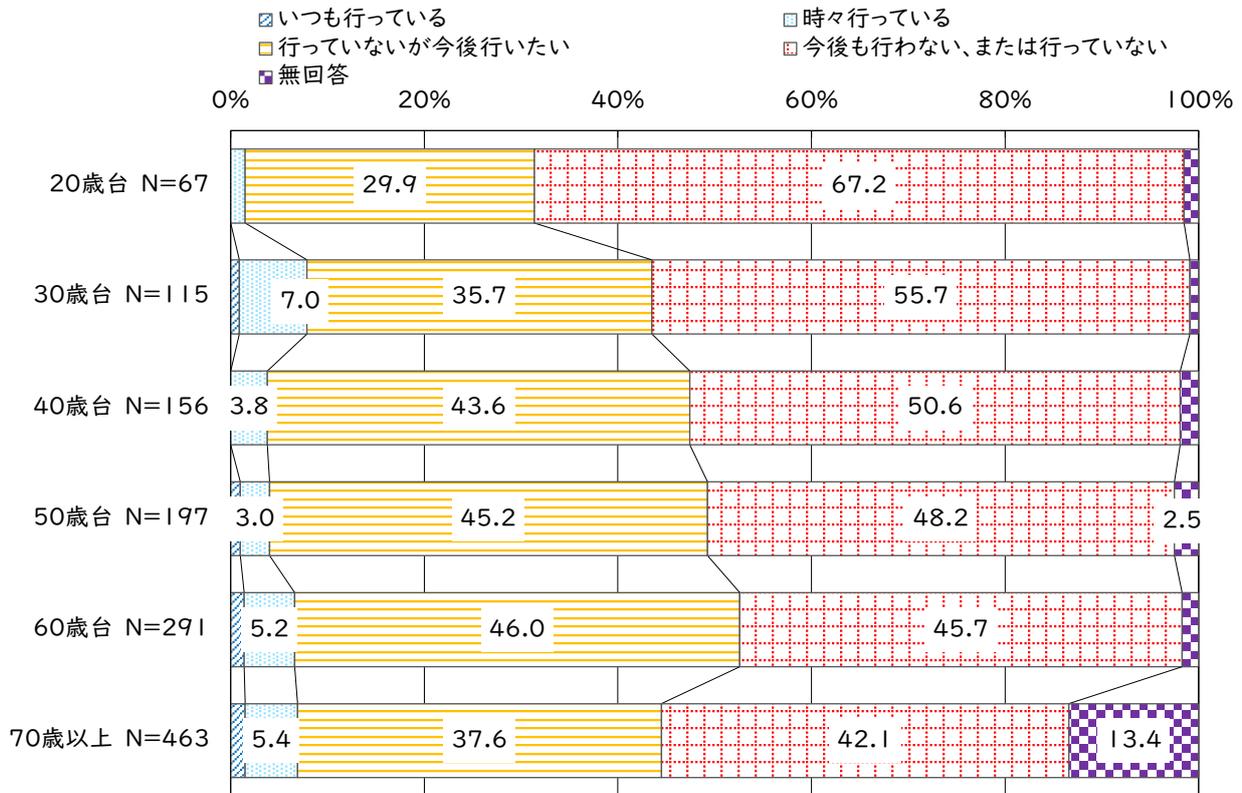
《山や海などの自然にふれあう機会を持っている》



《食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている》



《環境保全に関するイベントや講座などに参加している》



《問3 自由記入欄 ～その他の取り組み～》

■ 環境美化

- ハイター等あまり使用しないで済むように日頃から規定にするように心がけている。スプレー類も使用しない様になっている。
- ペットが散歩時糞、尿をしたら水を掛けられるようにペットボトルに水を入れて持って行きます

■ ごみの減量・資源化

- 食材は必要以外買わない
- 食品を捨てる事の無いようにコントロールしています
- 廃油で石けん作りをして近所に配ったりして廃油を捨てないとか冷凍できる食品はできるだけ早めに冷凍していることなどです。
- 生ごみ処理機で乾燥させたものを肥料として使用している。
- 市内での資源物分別作業している
- 金属類がついている物は金属と布類等をハサミで切って分別する様に心がけている。
- 缶等の飲料水及び調味料等の容器は必ず洗浄乾燥して処理
- 洋服はなるべく購入しない様になっている。物を大事に使い、捨てる時が来ても何かに代用できないか考えてる。

■ 地球温暖化の対策

- 雨水をためて草花の水やりの使っています。
- 電気を使わない様に早寝早起き
- テレビやゲームなどつけっぱなしになるがちな子供に運動を推進、指導してる
- お風呂の残り湯は洗濯やトイレの流しに使う

■ その他

- 地産地消の地を佐世保だけ長崎県だけにしないで九州にしていますよ

問4 問3にあるような環境保全の取り組みを実施するために、あなたが障害に感じていることは何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。

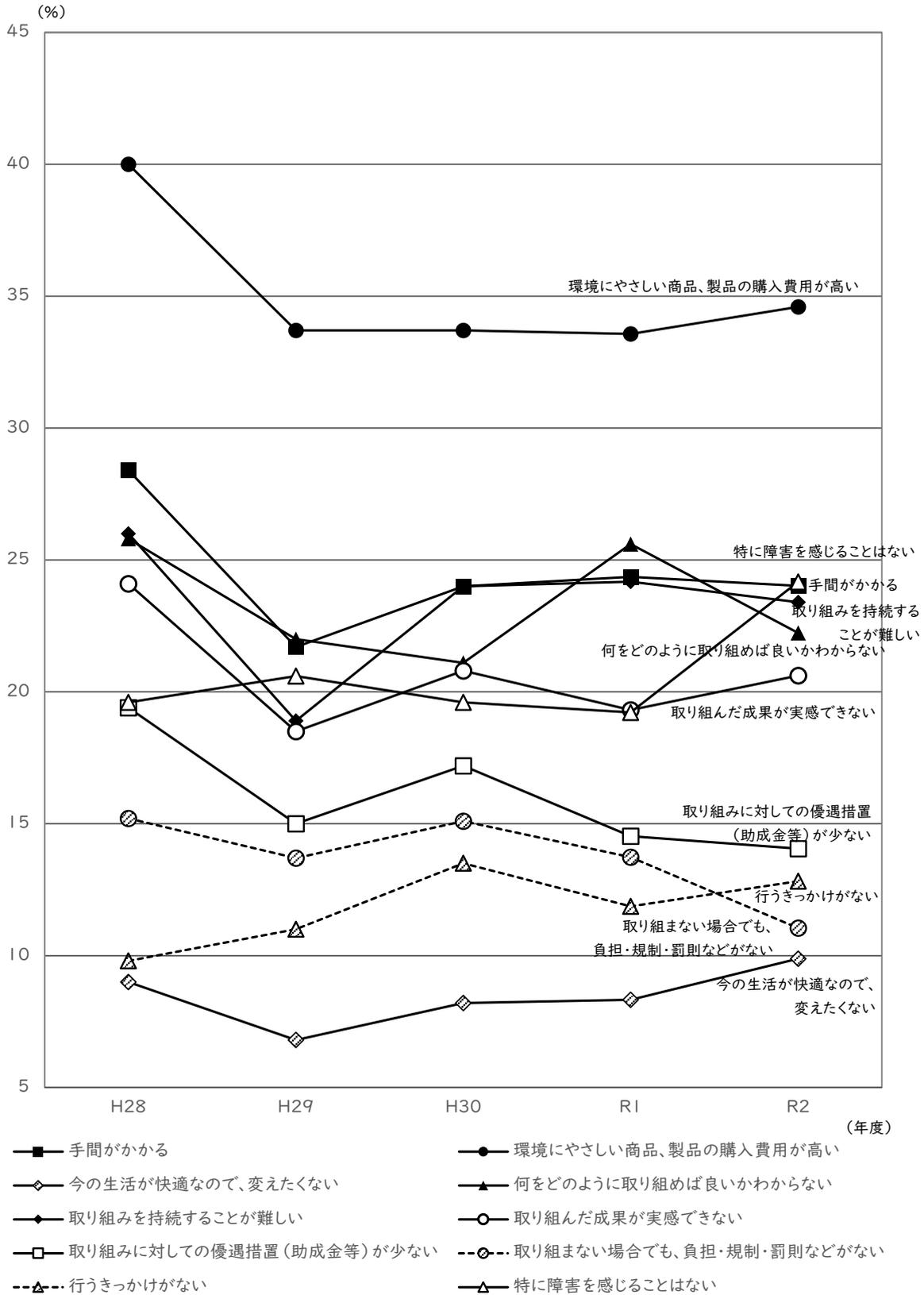
(障害と感じている割合が高い順)

項目	回答数	割合	前年度比	前年度
環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	448	34.6%	1.0	33.6%
特に障害を感じることはない	313	24.2%	4.9	19.2%
手間がかかる	311	24.0%	△ 0.3	24.4%
取り組みを持続することが難しい	303	23.4%	△ 0.8	24.2%
何をどのように取り組めば良いのかわからない	294	22.7%	0.5	22.2%
取り組んだ成果が実感できない	267	20.6%	1.3	19.3%
取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	182	14.1%	△ 0.5	14.5%
行うきっかけがない	166	12.8%	0.9	11.9%
無回答	156	12.0%	△ 1.0	13.0%
取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	143	11.0%	△ 2.7	13.7%
今の生活が快適なので、変えたくない	128	9.9%	1.6	8.3%
その他	59	4.6%	0.7	3.8%
合計	2,770			

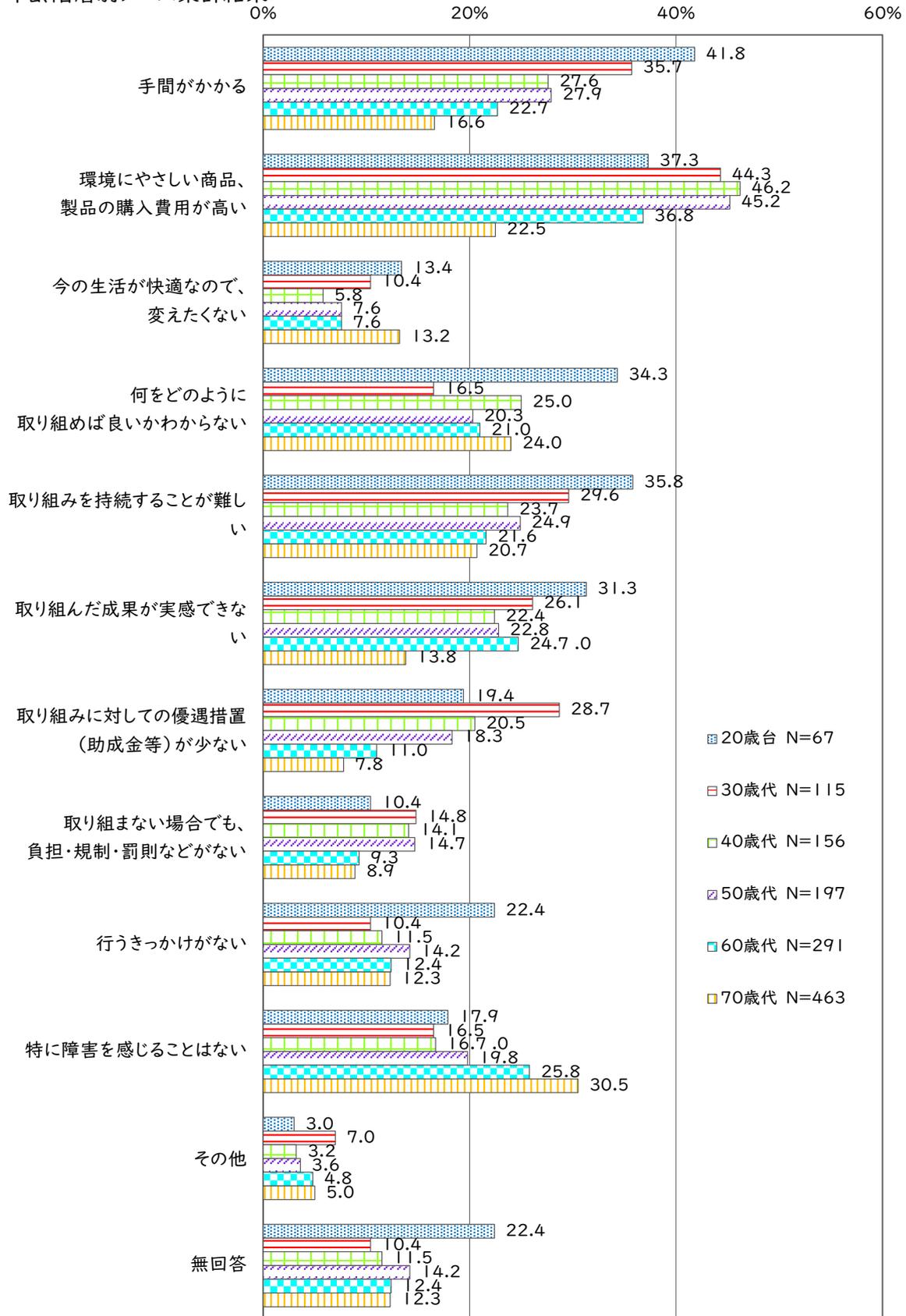
※ 有効回答数(N): 1,295名

- 障害と感じている人が最も多かった項目は、前年度と同様に「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

《調査結果の経年比較》



《年齢階層別クロス集計結果》



《問4 自由記入欄 ～その他で障害と感じていること～》

※主な意見を抜粋

- 環境保全と言いながら国や地方がどんどん便利さを求めて、自然を壊していっているような気がする。
- 行政が推進しているのであれば、もっと発信力（市民へ）不足。環境にやさしい佐世保市政とはあんまり耳に入らない。
- 環境保全の大切さを1人1人が意識を持つ事

- 参加しづらい、付き合いが苦手
- 高齢者で参加が不能

- 公共機関が充実してない
- 交通手段等が不便である。イベント等近くで行ってはいない。

- エコ商品にかえたが地区や条件があり高価なものを買ってもメリットを感じなかった。

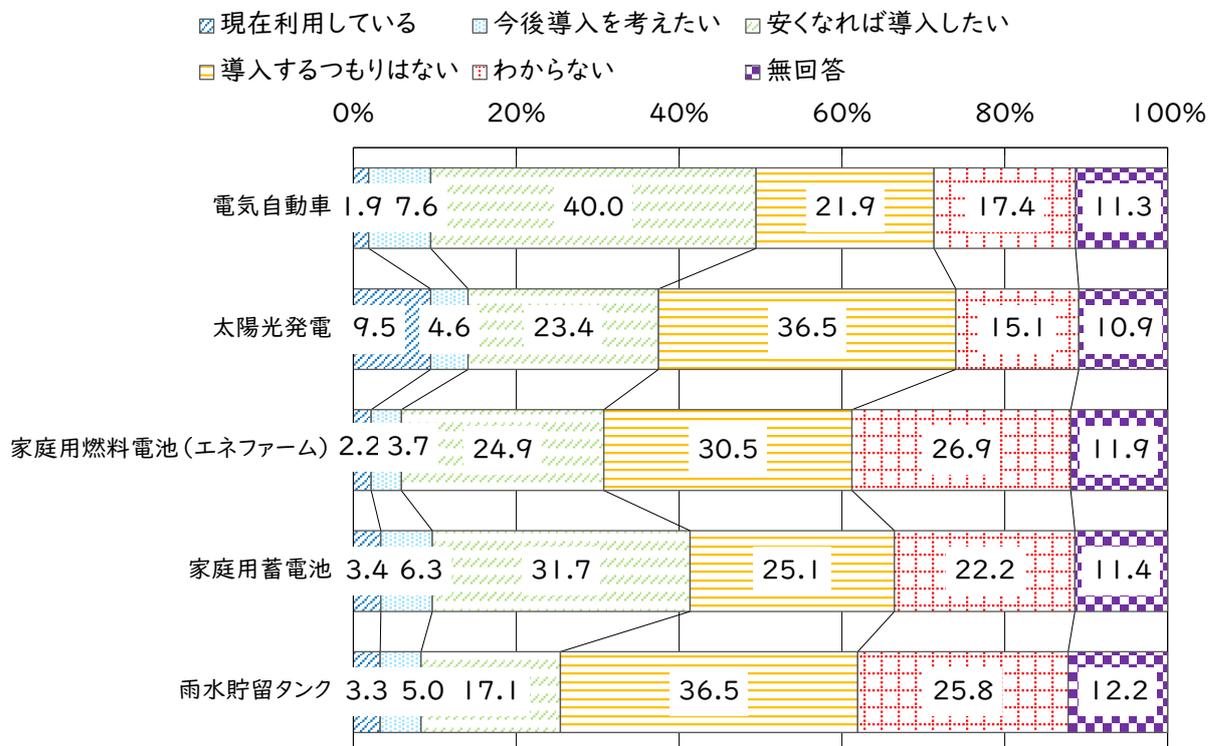
- 食品を購入するとき無駄にトレー使用の物が多すぎる。トレーに乗せて、店頭に並べても、購入する時はビニール袋で充分。
- 散歩中ポイ捨てゴミを拾い持ち帰りしても良いがこのゴミを集積する施設が無い（有料ゴミ袋は自己負担となる）
- 紙の量が多く感じる新聞広告もいらぬチラシももったいないと感じる
- 生ごみ処理機があれば大幅にゴミの量が減らせるが助成金なし
- 掃除してもすぐにタバコの吸殻を捨てる
- ごみ袋が高い
- ごみの分別でどれに当てはまるか分からないのが多い

- 現在ITにかえたいが資金が無い。
- 時間的に余裕がない
- 働いてると情報が得にくい
- 周りに相談相手がいない

問5 あなたの家では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置・利用や取り組みのお考えはありますか？それぞれの項目に最も近いものの数字に○をつけてください。

質問事項 ()内の数値は、「現在利用している」「今後導入を考えたい」「安くなれば導入したい」と回答した割合の合計	現在利用している	今後導入を考えたい	安くなれば導入したい	導入するつもりはない	わからない	無回答	合計
電気自動車 (49.5%)	24 1.9%	99 7.6%	518 40.0%	283 21.9%	225 17.4%	146 11.3%	1,295 100%
太陽光発電 (37.5%)	123 9.5%	60 4.6%	303 23.4%	473 36.5%	195 15.1%	141 10.9%	1,295 100%
家庭用燃料電池(エネファーム) (30.7%)	28 2.2%	48 3.7%	322 24.9%	395 30.5%	348 26.9%	154 11.9%	1,295 100%
家庭用蓄電池 (41.3%)	44 3.4%	81 6.3%	410 31.7%	325 25.1%	288 22.2%	147 11.4%	1,295 100%
雨水貯留タンク (25.5%)	43 3.3%	65 5.0%	222 17.1%	473 36.5%	334 25.8%	158 12.2%	1,295 100%

※有効回答者数(N):1,295人



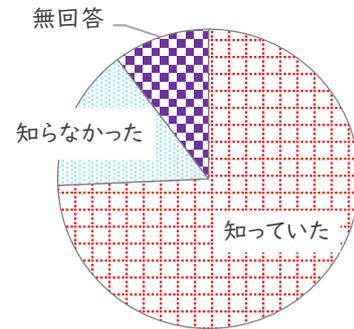
《食品ロスについて》

日本国内の年間の食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2,550万トンで、このうち、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約612万トン(2017年度)とされています。日本人1人当たりで換算すると、「お茶碗約1杯分(約140g)の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。

日本の食料自給率は現在38%(令和元年度)で、大半を輸入に頼っていますが、一方で食べられる食料を大量に捨てており、その半数は家庭から出されています。

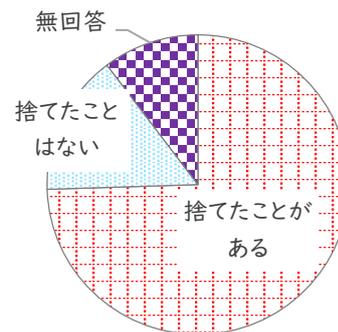
問6 上記のような日本の「食品ロス」の状況について、ご存知でしたか。

項目	回答数	割合
知っていた	962	74.3%
知らなかった	199	15.4%
無回答	134	10.3%
合計	1,295	



問7 これまでに、食品を食べることができずに、捨てたことはありますか。

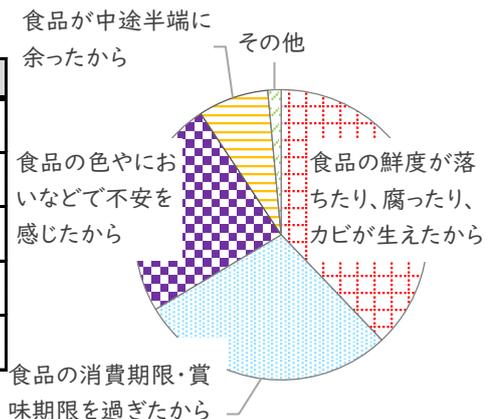
項目	回答数	割合
捨てたことがある	965	74.5%
捨てたことはない	197	15.2%
無回答	133	10.3%
合計	1,295	



問8 問7で「捨てたことがある」と答えた方のみお答えください。食品を捨てた理由はなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

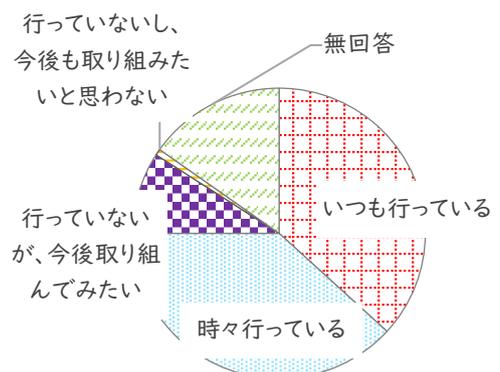
項目	回答数	割合
食品の鮮度が落ちたり、腐ったり、カビが生えたから	750	77.7%
食品の消費期限・賞味期限を過ぎたから	564	58.4%
食品の色やにおいなどで不安を感じたから	481	49.8%
食品が中途半端に余ったから	154	16.0%
その他	29	3.0%
合計	1,978	

有効回答数(N)=965人



問9 食品ロスをなくす取り組みをしていますか。

項目	回答数	割合
いつも行っている	476	36.8%
時々行っている	495	38.2%
行っていないが、今後取り組んでみたい	118	9.1%
行っていないし、今後取り組むまいと思わない	9	0.7%
無回答	197	15.2%
合計	1,295	



《問8 自由記入欄 ～その他、食品を捨てた理由～》

※主な意見を抜粋

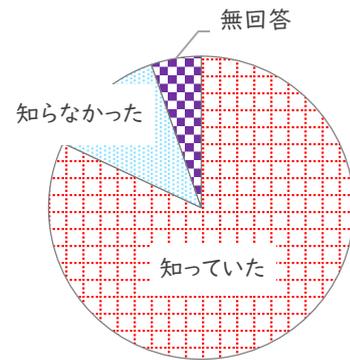
- 贈答品等の頂き物が食べれないもので結果賞味期限を過ぎてしまった。
- 箸を付けたが食べきれなかった。
- 子供の食べ残しを捨てたりする
- 高齢で味が合わない
- 1人暮らしなので
- 介護が必要な親の食べ残し。もったいないと思うが、すべてを食べる事はできない。
- アレルギーが出たため

《古紙類の資源化について》

全国的には、燃やせるごみのうち約3割が資源化できる古紙類であると言われています。

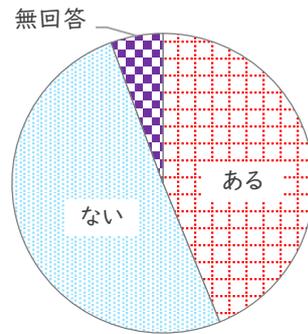
問10 新聞紙、雑誌、飲料用紙パック、段ボールなどは資源物（古紙類）になりますが、臭いや汚れのついた紙、また加工された紙は「燃やせるごみ」になることをご存じでしたか。

項目	回答数	割合
知っていた	1,062	82.0%
知らなかった	165	12.7%
無回答	68	5.3%
合計	1,295	



問11 資源になる「古紙類」を燃やせるごみに出したことがありますか？

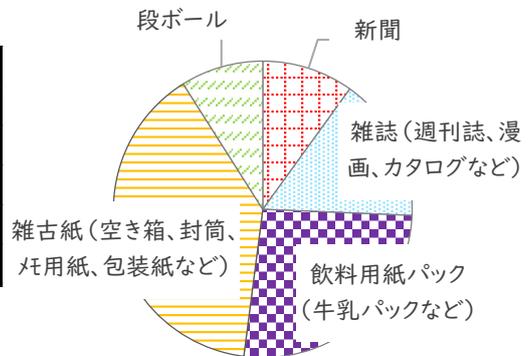
項目	回答数	割合
ある	568	43.9%
ない	655	50.6%
無回答	72	5.6%
合計	1,295	



問12 問11で「ある」と答えた方のみお答えください。
どのような古紙を燃やせるごみに出しましたか？

項目	回答数	割合
新聞	111	19.5%
雑誌（週刊誌、漫画、カタログなど）	176	31.0%
飲料用紙パック（牛乳パックなど）	295	51.9%
雑古紙（空き箱、封筒、F用紙、包装紙など）	436	76.8%
段ボール	100	17.6%
合計	1,118	

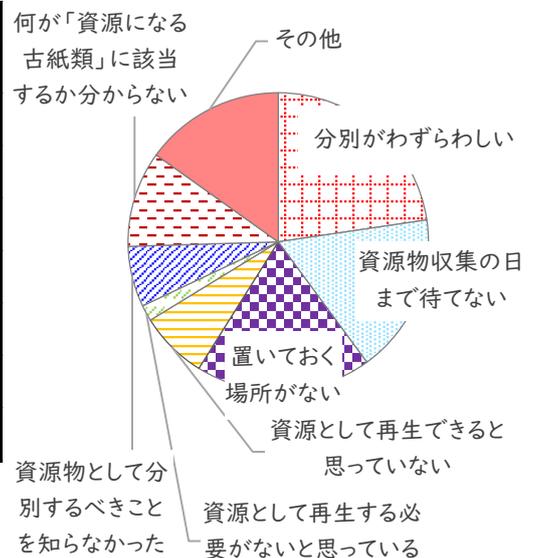
有効回答数(N)=568人



問13 古紙を燃やせるごみに出した理由は何ですか？

項目	回答数	割合
分別がわずらわしい	186	32.7%
資源物収集の日まで待てない	142	25.0%
置いておく場所がない	155	27.3%
資源として再生できると思っていない	60	10.6%
資源として再生する必要があると思っていない	14	2.5%
資源物として分別すべきことを知らなかった	54	9.5%
何が「資源になる古紙類」に該当するか分からない	85	15.0%
その他	124	21.8%
合計	820	

有効回答数(N)=568人



見開きページ
調整用の余白です



佐世保市環境部のキャラクター
「ダストンくん」

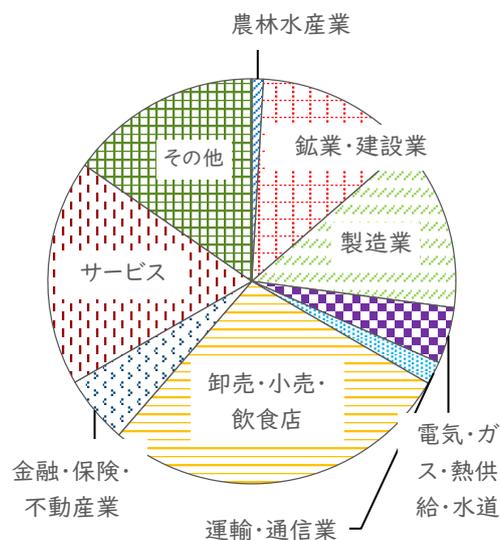
第3章 調査結果（事業所）

■ 回答者の属性

貴事業所についてお聞きします。該当するものを選んでください。

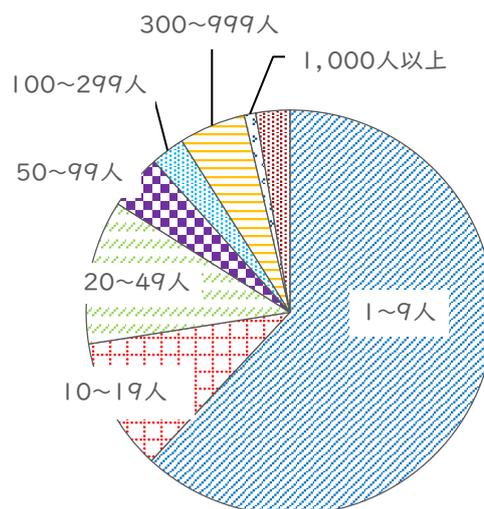
① 業種

業種	回答数	割合
農林水産業	1	0.9%
鉱業・建設業	14	12.4%
製造業	15	13.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	5	4.4%
運輸・通信業	2	1.8%
卸売・小売・飲食店	31	27.4%
金融・保険・不動産業	6	5.3%
サービス業	20	17.7%
その他	17	15.0%
無回答	2	1.8%
合 計	113	100.0%



② 従業員数

人数	回答数	割合
1~9人	70	61.9%
10~19人	12	10.6%
20~49人	13	11.5%
50~99人	5	4.4%
100~299人	3	2.7%
300~999人	6	5.3%
1,000人以上	1	0.9%
無回答	3	2.7%
合 計	113	100.0%



■ 環境に対する考え方について

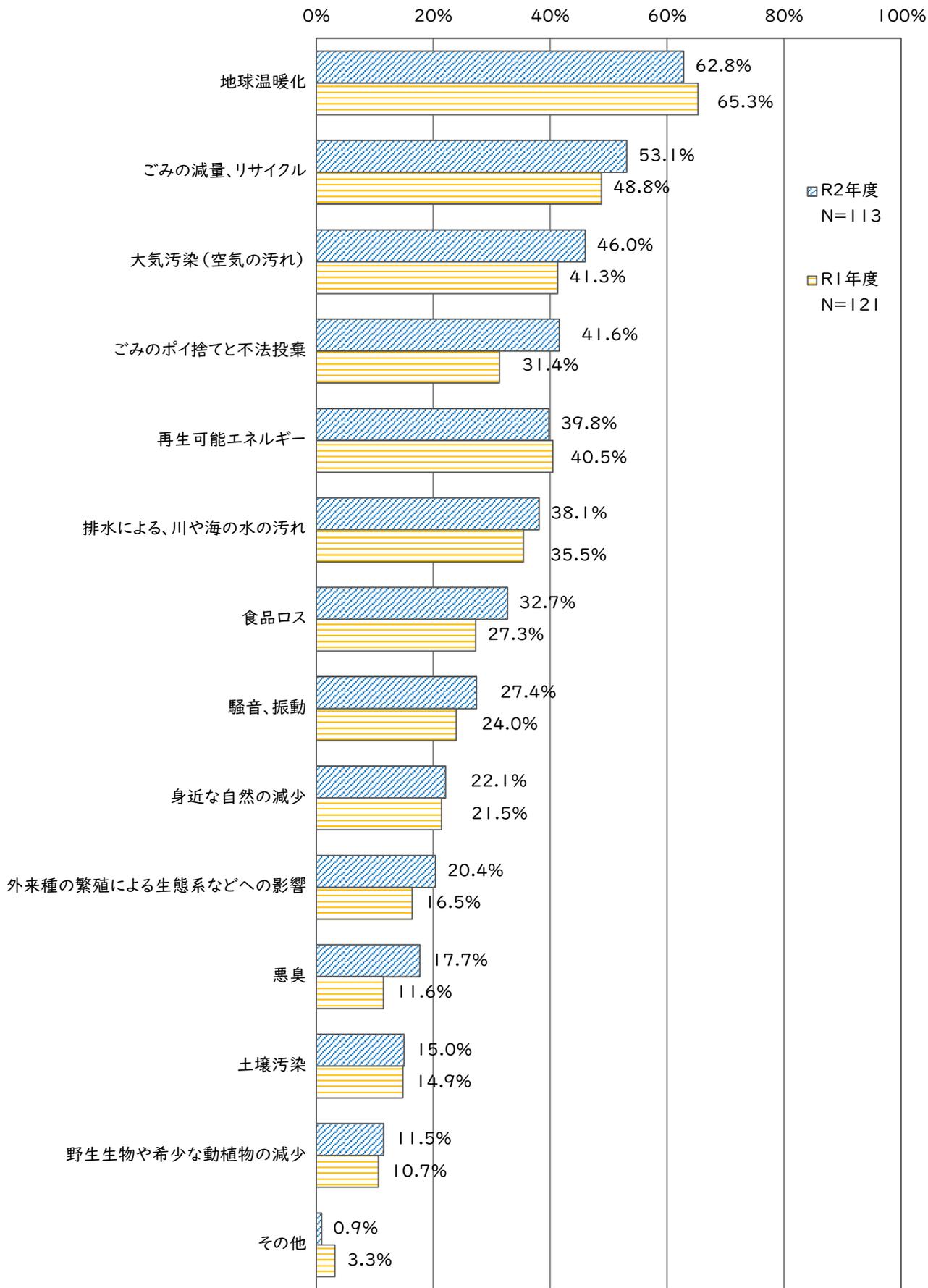
問1 貴事業所が関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。
(関心が高い順)

項目	回答数	割合	前年度比	前年度
地球温暖化	71	62.8%	△ 2.5%	65.3%
ごみの減量、リサイクル	60	53.1%	4.3%	48.8%
大気汚染(空気の汚れ)	52	46.0%	4.7%	41.3%
ごみのポイ捨てと不法投棄	47	41.6%	10.2%	31.4%
再生可能エネルギー	45	39.8%	△ 0.7%	40.5%
排水による、川や海の水の汚れ	43	38.1%	2.6%	35.5%
食品ロス	37	32.7%	5.4%	27.3%
騒音、振動	31	27.4%	3.4%	24.0%
身近な自然の減少	25	22.1%	0.6%	21.5%
外来種の繁殖による生態系などへの影響	23	20.4%	3.9%	16.5%
悪臭	20	17.7%	6.1%	11.6%
土壌汚染	17	15.0%	0.1%	14.9%
野生生物や希少な動植物の減少	13	11.5%	0.8%	10.7%
無回答	3	2.7%	△ 0.6%	3.3%
その他	1	0.9%	△ 2.4%	3.3%
合計	488			

※ 有効回答者数(N):113事業所

● 最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」であった。

《前年度調査結果との比較》



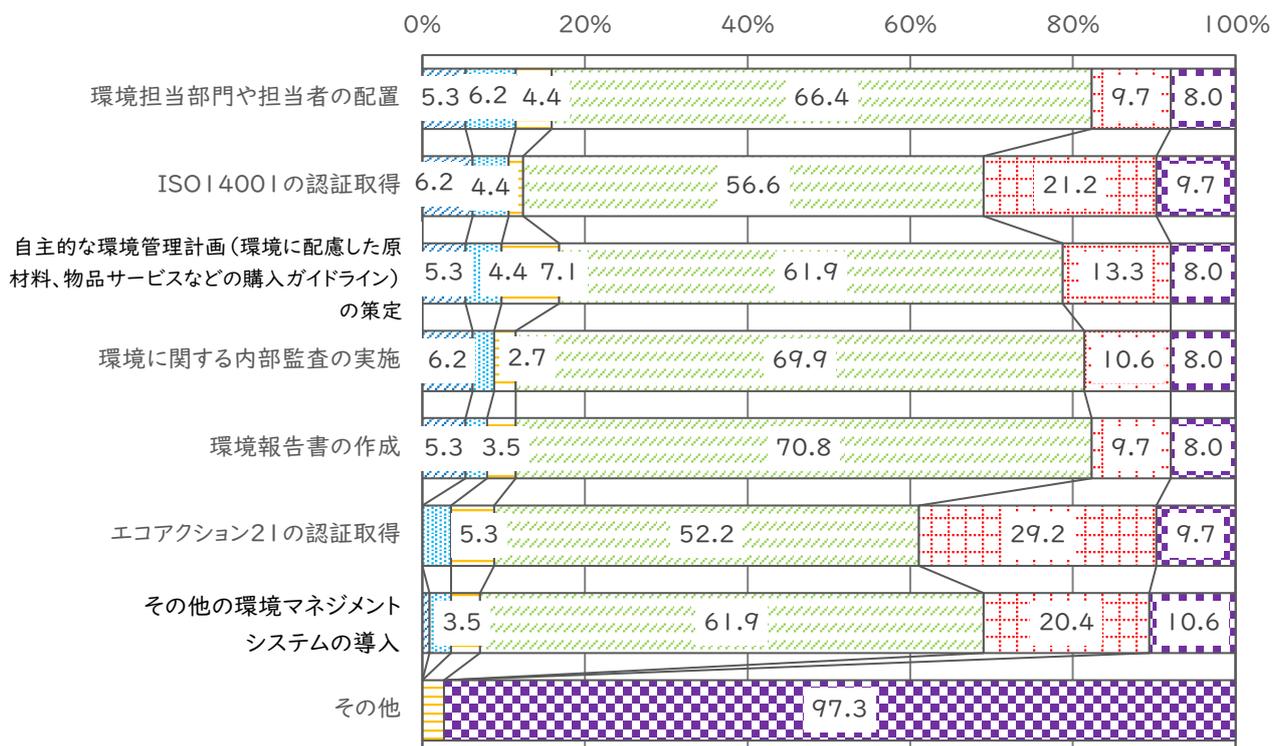
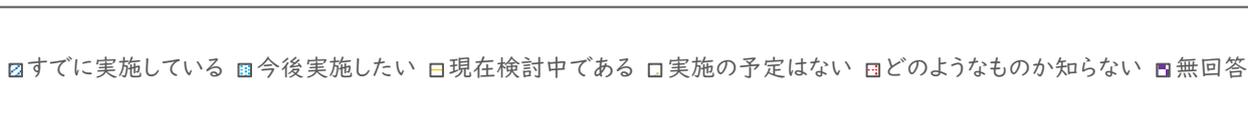
問2 貴事業所では、環境に関する経営方針や管理手法を導入していますか。次のそれぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

(「すでに実施している」「今後実施したい」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「実施している」「今後実施したい」と回答した人の割合の合計、[]は前年の割合	すでに実施している	今後実施したい	現在検討中である	実施の予定はない	どのようなものか知らない	無回答	合計
環境担当部門や担当者の配置 (11.5%[7.4%])	6 5.3%	7 6.2%	5 4.4%	75 66.4%	11 9.7%	9 8.0%	113 100%
ISO14001の認証取得 (10.6%[5.0%])	7 6.2%	5 4.4%	2 1.8%	64 56.6%	24 21.2%	11 9.7%	113 100%
自主的な環境管理計画(環境に配慮した原材料、物品、サービスなどの購入ガイドライン)の策定 (9.7%[9.9%])	6 5.3%	5 4.4%	8 7.1%	70 61.9%	15 13.3%	9 8.0%	113 100%
環境に関する内部監査の実施 (8.6%[5.0%])	7 6.2%	3 2.7%	3 2.7%	79 69.9%	12 10.6%	9 8.0%	113 100%
環境報告書の作成 (8.0%[6.6%])	6 5.3%	3 2.7%	4 3.5%	80 70.8%	11 9.7%	9 8.0%	113 100%
エコアクション21の認証取得 (3.5%[3.3%])	0 -	4 3.5%	6 5.3%	59 52.2%	33 29.2%	11 9.7%	113 100%
その他の環境マネジメントシステムの導入 (3.5%[1.7%])	1 0.9%	3 2.7%	4 3.5%	70 61.9%	23 20.4%	12 10.6%	113 100%
その他 (-%[-%])	0 -	0 -	3 2.7%	0 -	0 -	110 97.3%	113 100%

※有効回答数(N):113事業所

《導入状況の割合》



見開きページ
調整用の余白です



佐世保市環境部のキャラクター
「ダストンくん」

問3 貴事業所が日頃行っている環境保全の取組についてお聞きします。以下の1～20のそれぞれの取組について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

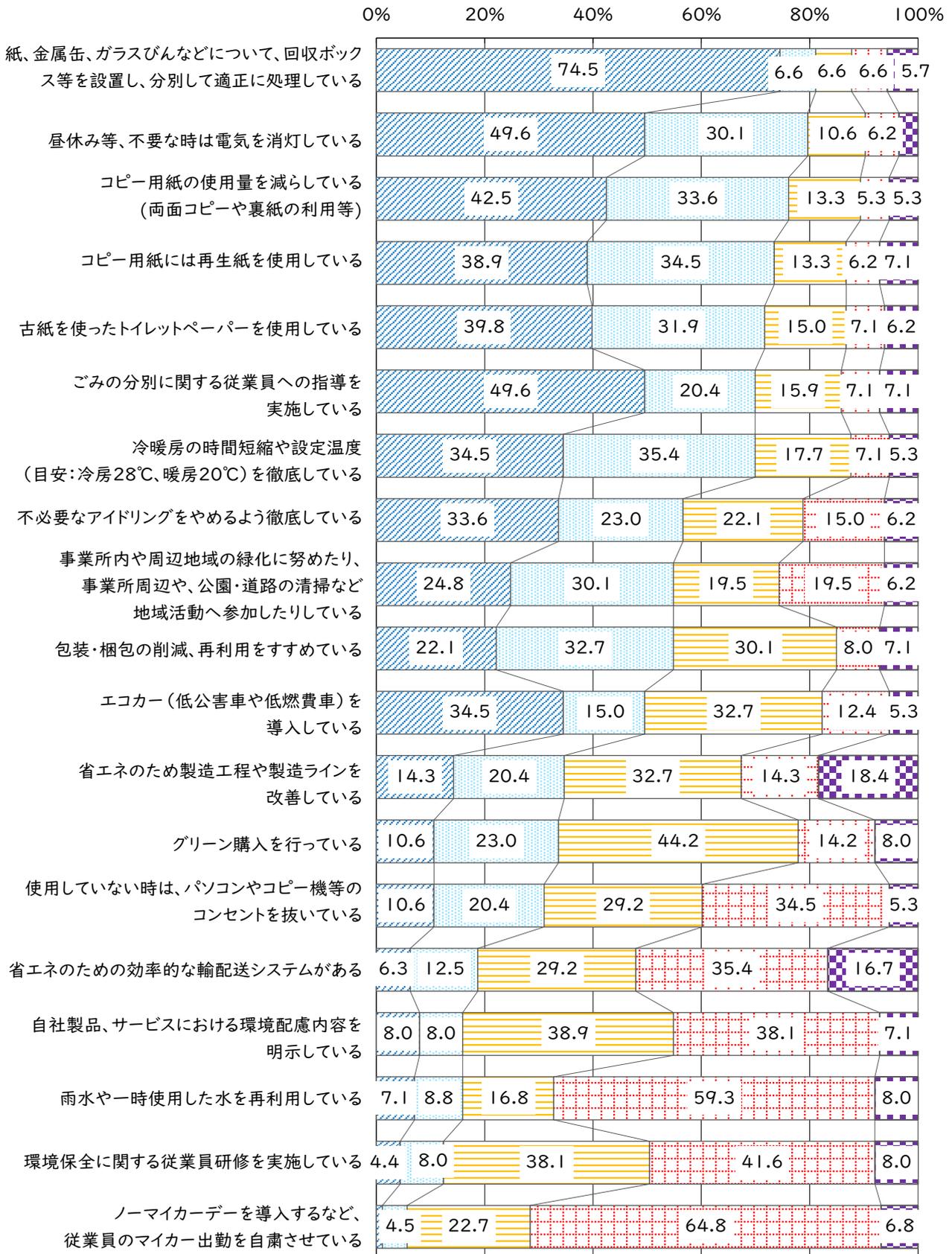
(「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「いつも行っている」、 「時々行っている」と回答した事業所の割合の 合計、[]内は前年度の割合※	いつも 行っ てい る	時々 行っ てい る	行っ てい ない が今 後行 いた い	今後 も行 わな い、 又は 行っ てい ない	該 当し ない	無 回 答	合 計
紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している (81.1%[93.3%])	79 74.5%	7 6.6%	7 6.6%	7 6.6%	7 -	6 5.7%	106 100%
昼休み等、不要な時は電気を消灯している (79.6%[76.0%])	56 49.6%	34 30.1%	12 10.6%	7 6.2%	- -	4 3.5%	113 100%
コピー用紙の使用量を減らしている (両面コピーや裏紙の利用等) (76.1%[81.0%])	48 42.5%	38 33.6%	15 13.3%	6 5.3%	- -	6 5.3%	113 100%
コピー用紙には再生紙を使用している (73.5%[67.8%])	44 38.9%	39 34.5%	15 13.3%	7 6.2%	- -	8 7.1%	113 100%
古紙を使ったトイレトペーパーを使用している (71.7%[63.6%])	45 39.8%	36 31.9%	17 15.0%	8 7.1%	- -	7 6.2%	113 100%
ごみの分別に関する従業員への指導を実施している (69.9%[74.4%])	56 49.6%	23 20.4%	18 15.9%	8 7.1%	- -	8 7.1%	113 100%
冷暖房の時間短縮や設定温度(目安:冷房28℃、 暖房20℃)を徹底している (69.9%[74.4%])	39 34.5%	40 35.4%	20 17.7%	8 7.1%	- -	6 5.3%	113 100%
不必要なアイドルングをやめるよう徹底している (56.6%[61.2%])	38 33.6%	26 23.0%	25 22.1%	17 15.0%	- -	7 6.2%	113 100%
事業所内や周辺地域の緑化に努めたり、事業所周辺や、公園・道路 の清掃など地域活動へ参加したりしている (54.9%[52.9%])	28 24.8%	34 30.1%	22 19.5%	22 19.5%	- -	7 6.2%	113 100%
包装・梱包の削減、再利用をすすめている (54.9%[70.2%])	25 22.1%	37 32.7%	34 30.1%	9 8.0%	- -	8 7.1%	113 100%
エコカー(低公害車や低燃費車)を導入している (49.6%[53.7%])	39 34.5%	17 15.0%	37 32.7%	14 12.4%	- -	6 5.3%	113 100%
省エネのため製造工程や製造ラインを改善して いる (34.7%[27.7%])	7 14.3%	10 20.4%	16 32.7%	7 14.3%	64 -	9 18.4%	49 100%
グリーン購入を行っている (33.6%[38.0%])	12 10.6%	26 23.0%	50 44.2%	16 14.2%	- -	9 8.0%	113 100%
使用していない時は、パソコンやコピー機等のコン セントを抜いている (31.0%[33.1%])	12 10.6%	23 20.4%	33 29.2%	39 34.5%	- -	6 5.3%	113 100%
省エネのための効率的な輸配送システムがある (18.8%[24.2%])	3 6.3%	6 12.5%	14 29.2%	17 35.4%	65 -	8 16.7%	48 100%
自社製品、サービスにおける環境配慮内容を明示 している (15.9%[13.2%])	9 8.0%	9 8.0%	44 38.9%	43 38.1%	- -	8 7.1%	113 100%
雨水や一時使用した水を再利用している (15.9%[17.4%])	8 7.1%	10 8.8%	19 16.8%	67 59.3%	- -	9 8.0%	113 100%
環境保全に関する従業員研修を実施している (12.4%[14.9%])	5 4.4%	9 8.0%	43 38.1%	47 41.6%	- -	9 8.0%	113 100%
ノーマイカーデーを導入するなど、従業員のマイ カー出勤を自粛させている (5.7%[3.9%])	1 1.1%	4 4.5%	20 22.7%	57 64.8%	25 -	6 6.8%	88 100%

※「該当しない」を除いた割合で計算。

- 「いつも行っている」又は「時々行っている」と回答した事業所が最も多かった項目は、前年度と同様に「紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している」であった。

いつも行っている
 時々行っている
 行っていないが今後行いたい
 今後も行わない、または行っていない
 無回答



問4 問3にあるような環境保全の取組みを実施するために、貴事業所が障害に感じていることはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(障害と感じている割合が高い順)

項目	回答数	割合	前年比	前年
環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	41	36.3%	△ 5.9	42.1%
手間がかかる	40	35.4%	7.3	28.1%
何をどのように取り組めば良いのかわからない	36	31.9%	1.3	30.6%
取り組んだ成果が実感できない	23	20.4%	12.1	8.3%
取組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	23	20.4%	4.7	15.7%
特に障害を感じることはない	23	20.4%	△ 0.3	20.7%
取組みを持続することが難しい	17	15.0%	△ 2.3	17.4%
行うきっかけがない	16	14.2%	△ 2.4	16.5%
取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などが無い	15	13.3%	0.1	13.2%
無回答	12	10.6%	0.7	9.9%
自社だけ取り組んでも仕方がないと思う	5	4.4%	△ 2.2	6.6%
表彰、認証制度がない	3	2.7%	△ 1.5	4.1%
その他	2	1.8%	△ 0.7	2.5%
合 計	256			

※有効回答数(N):113事業所

- 障害と感じている人が最も多かった項目は、前年度と同様に「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

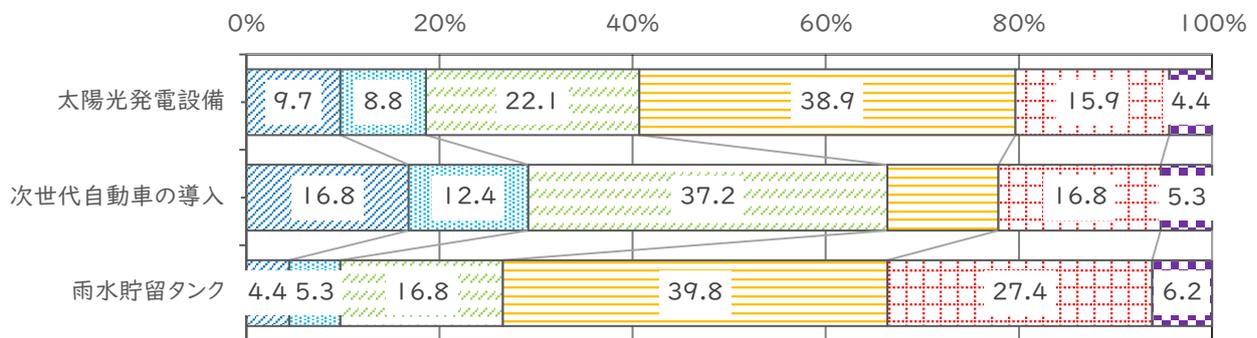
問5 貴事業所では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置、利用や取り組みのお考えはありますか？ それぞれの項目に最も近い者の数字に○をつけてください。

項目 ()内の数値は、「現在利用している」、「今後導入を考えたい」、「安くなれば導入したい」と回答した事業所の割合の合計	現在利用している	今後導入を考えたい	安くなれば導入したい	導入するつもりはない	わからない	無回答	合計
太陽光発電設備 (40.7%)	11 9.7%	10 8.8%	25 22.1%	44 38.9%	18 15.9%	5 4.4%	113 100%
次世代自動車の導入 (66.4%)	19 16.8%	14 12.4%	42 37.2%	13 11.5%	19 16.8%	6 5.3%	113 100%
雨水貯留タンク (26.5%)	5 4.4%	6 5.3%	19 16.8%	45 39.8%	31 27.4%	7 6.2%	113 100%

※有効回答数(N):113事業所

《導入状況の割合》

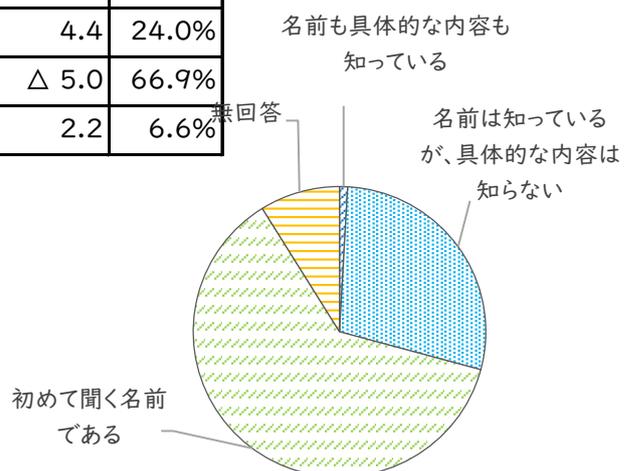
■現在利用している ■今後導入を考えたい □安くなれば導入したい ■導入するつもりはない ■わからない ■無回答



問6 佐世保市では「エコ資金」として、中小企業を対象に環境に配慮した設備の導入に資金を融資しています。「エコ資金」という名前、具体的な内容の認識について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

質問事項	回答数	割合	前年度比	前年度
名前も具体的な内容も知っている	1	0.9%	△ 1.6	2.5%
名前は知っているが、具体的な内容は知らない	32	28.3%	4.4	24.0%
初めて聞く名前である	70	61.9%	△ 5.0	66.9%
無回答	10	8.8%	2.2	6.6%
合計	113			

※有効回答数(N):113事業所



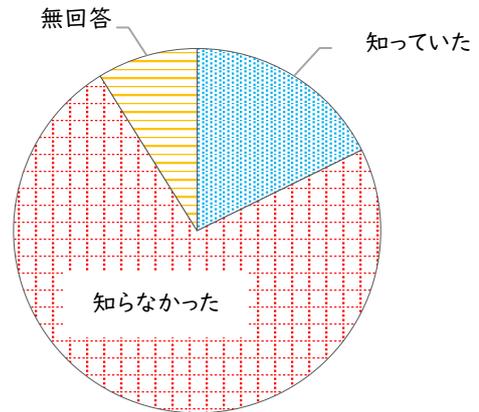
《3010(サンマルイチマル)運動について》

3010(サンマルイチマル)運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、「乾杯後30分間」は席を立たずに料理を楽しみましょう、「お開き10分前」になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう、と呼びかけて、宴会を楽しみながら、食品ロスを削減するものです。

問7 「3010運動」について、ご存知でしたか。

項目	回答数	割合
知っていた	20	17.7%
知らなかった	83	73.5%
無回答	10	8.8%
合計	113	100%

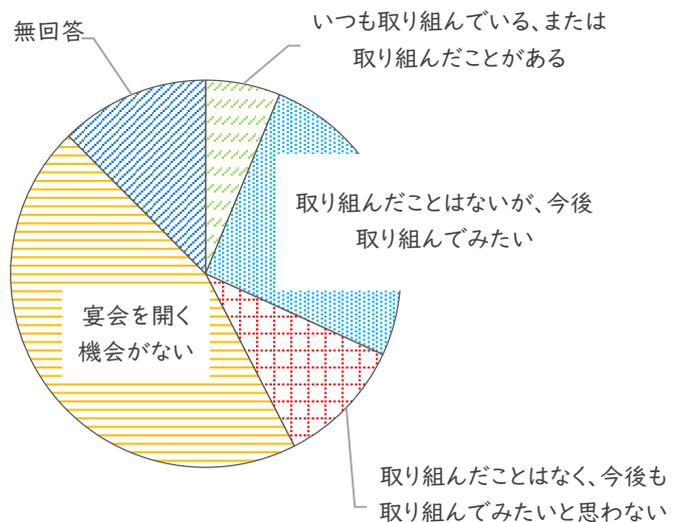
※有効回答数(N):113事業所



問8 貴事業所で、「3010運動」に取り組んだことがありますか。

項目	回答数	割合
いつも取り組んでいる、または取り組んだことがある	7	6.2%
取り組んだことはないが、今後取り組んでみたい	29	25.7%
取り組んだことはなく、今後も取り組んでみたいと思わない	12	10.6%
宴会を開く機会がない	51	45.1%
無回答	14	12.4%

※有効回答数(N):113事業所



見開きページ
調整用の余白です



佐世保市環境部のキャラクター
「ダストンくん」

問2 お住まいの周辺環境について、あなたの満足度と重要度をお聞きします。
以下の1～16のそれぞれの環境の状態について、あなたの考えや意見に近いものの番号一つに○をつけてください。

項 目	現状の『満足度』					将来の『重要度』				
	満足	やや満足	どちらでもない （ええでもない）	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない （ええでもない）	あまり重要でない	重要でない
【例】 ○○○○○○○○○○○	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1. 海、山、川、里山などの自然環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 自然とふれあう機会 （水辺、農地や土、生きものなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 地産地消の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 自然の景観の美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. まちの清潔さ・きれいさ （ごみの散乱・ペットのふんなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 空気のきれいさ （車の排気ガス、空気のかすみなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 水のきれいさ （河川・水路・池沼・海など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. まちの静けさ （騒音や振動など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. ごみが決められたルールどおりに出されるようにするための取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 再生可能エネルギー*の推進 （*太陽光、風力、水力発電などの、枯渇しないエネルギー）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 省エネルギーの取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 公共交通機関の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 環境に関する市からの情報提供 （広報紙、テレビ、ホームページなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 環境に関する講座や観察会などのイベント	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 自治会や NPO 団体などの環境保全活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問3 あなたが(または、あなたのご家庭で)日頃行っている環境保全の取り組みについてお聞きします。
以下の1～20のそれぞれの取り組みについて、あてはまる番号一つに○をつけてください。

取組項目	取組状況				該当しない
	いつも行っている	時々行っている	行っていないが 今後行いたい	今後も行わない、 または行っていない	
1. 環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっているかチェックしている ※毎年配布している、ごみ収集カレンダーに掲載しています	1	2	3	4	/
2. 冷暖房を使うときの室温は、冷房 28℃・暖房 20℃を目安としている	1	2	3	4	/
3. テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている	1	2	3	4	/
4. シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている(※日頃シャワーを使用しない場合は「5」を選んでください)	1	2	3	4	5
5. 血洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている	1	2	3	4	/
6. 歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常生活で節水に努めている	1	2	3	4	/
7. 買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている	1	2	3	4	/
8. 食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている	1	2	3	4	/
9. 生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり、生ごみの減量に取り組んでいる	1	2	3	4	/
10. 詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している	1	2	3	4	/
11. 物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている	1	2	3	4	/
12. ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている	1	2	3	4	/
13. 油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている	1	2	3	4	/
14. 車を使用する時は、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしていないようにしてエコドライブを行っている(※日頃ご家庭で運転をする人がいない場合は「5」を選んでください)	1	2	3	4	5
15. なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている	1	2	3	4	/
16. 地域における環境保全活動に参加している(地域の清掃、資源集団回収など)	1	2	3	4	/
17. 山や海などの自然にふれあう機会を持っている	1	2	3	4	/
18. 食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている	1	2	3	4	/
19. 環境保全に関するイベントや講座などに参加している(させほエコプラザ・九十九島ビジターセンターなど)	1	2	3	4	/
20. 上記以外に取り組まれていることがありましたら、ご記入をお願いします					

裏面もご記入ください

問4 問3にあるような環境保全の取り組みを実施するために、あなたが障害に感じていることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 手間がかかる
2. 環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い
3. 今の生活が快適なので、変えたくない
4. 何をどのように取り組めば良いのかわからない
5. 取り組みを持続することが難しい
6. 取り組んだ成果が実感できない
7. 取り組みに対しての優遇措置（助成金等）が少ない
8. 取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない
9. 行うきっかけがない
10. 特に障害を感じることはない
11. その他（具体的に： _____）

問5 あなたの家では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置・利用や取り組みのお考えはありますか？ それぞれの項目に最も近いものの数字に○をつけてください。

項目	意 向				
	現在 利用している	今後導入を 考えたい	安くなれば 導入したい	導入する つもりはない	わからない
1. 電気自動車	1	2	3	4	5
2. 太陽光発電	1	2	3	4	5
3. 家庭用燃料電池（エネファーム） ^{※1)}	1	2	3	4	5
4. 家庭用蓄電池 ^{※2)}	1	2	3	4	5
5. 雨水貯留タンク	1	2	3	4	5

※1) **家庭用燃料電池（エネファーム）**

都市ガス・LPガス・灯油などを使って発電する家庭用の機器。発電時に出る熱は給湯に利用される。火力発電による電気とガス給湯器を組み合わせる場合よりも、二酸化炭素排出量が減るとされている。

※2) **家庭用蓄電池**

家庭で使う電気をためておく電池。安い夜間電力をためて昼間に使ったり、太陽光発電で昼間に余った電気をためて夜に使ったりすることで、電気代を節約できる。

■ アンケート調査票（事業者）

令和2年度 事業者アンケート調査票

■ 貴事業所について

貴事業所についてお聞きます。あてはまる番号に○をつけてください。

① 業種

- | | | |
|------------------|-----------|--------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 鉱業・建設業 | 3. 製造業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5. 運輸・通信業 | 6. 卸売・小売・飲食店 |
| 7. 金融・保険・不動産業 | 8. サービス業 | |
| 9. その他（ ） | | |

※ 複数の事業を実施されている場合は、主な業種一つに○をつけてください。

② 従業員数

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 1～9人 | 2. 10～19人 | 3. 20～49人 | 4. 50～99人 |
| 5. 100～299人 | 6. 300～999人 | 7. 1,000人以上 | |

■ 環境に対する考え方について

問1 貴事業所が関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|--------------------|----------------|
| 1. 地球温暖化 | 2. 再生可能エネルギー | 3. 大気汚染（空気の汚れ） |
| 4. 排水による、川や海の水の汚れ | 5. 悪臭 | 6. 騒音、振動 |
| 7. 土壌汚染 | 8. ごみの減量、リサイクル | |
| 9. ごみのポイ捨てと不法投棄 | 10. 食品ロス | |
| 11. 身近な自然の減少 | 12. 野生生物や希少な動植物の減少 | |
| 13. 外来種の繁殖による生態系などへの影響 | | |
| 14. その他（具体的に： ） | | |

問2 貴事業所では、環境に関する経営方針や管理手法を導入していますか。次のそれぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

項目	意向	既 に 実 施 し て い る	今 後 、 実 施 し た い	現 在 、 検 討 中 で あ る	実 施 の 予 定 は な い	な ら ば ど の よ う な も の か 知 ら な い
例 ○○○○の取組		①	2	3	4	5
1. ISO14001の認証取得		1	2	3	4	5
2. エコアクション21の認証取得		1	2	3	4	5
3. その他の環境マネジメントシステムの導入		1	2	3	4	5
4. 自主的な環境管理計画（環境に配慮した原材料、物品、サービスなどの購入ガイドライン）の策定		1	2	3	4	5
5. 環境担当部門や担当者の配置		1	2	3	4	5
6. 環境報告書の作成		1	2	3	4	5
7. 環境に関する内部監査の実施		1	2	3	4	5
8. その他（ ）		1	2	3		

裏面もご記入ください

問3 貴事業所が日頃行っている環境保全の取り組みについてお聞きします。

以下の1～20のそれぞれの取組について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

取組項目	取組状況				該当する 数
	1 全くしていません	2 時々している	3 今後はもう少し 行いたいですが 今後はいい	4 今後はいい 取り組みは ほとんどして います	
1. コピー用紙には再生紙を使用している	1	2	3	4	
2. 古紙を使ったトイレトーパーを使用している	1	2	3	4	
3. エコカー（低公害車や低燃費車）を導入している	1	2	3	4	
4. 昼休み等、不要な時は電気を消灯している	1	2	3	4	
5. 冷暖房の時間短縮や設定温度（目安：冷房 28℃、暖房 20℃）を徹底している	1	2	3	4	
6. 使用していない時は、パソコンやコピー機等のコンセントを抜いている	1	2	3	4	
7. 省エネのため製造工程や製造ラインを改善している	1	2	3	4	5
8. 雨水や一時使用した水を再利用している	1	2	3	4	
9. コピー用紙の使用量を減らしている(両面コピーや裏紙の利用等)	1	2	3	4	
10. グリーン購入を行っている ※グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際、環境を考慮して必要性をよく考え、 環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。	1	2	3	4	
11. 包装・梱包の削減、再利用をすすめている	1	2	3	4	
12. 紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、 分別して適正に処理している	1	2	3	4	5
13. ノーマイカーデーを導入するなど、従業員のマイカー出勤を自粛 させている	1	2	3	4	5
14. 不必要なアイドルリングをやめるよう徹底している	1	2	3	4	
15. 省エネのための効率的な輸配送システムがある	1	2	3	4	5
16. 事業所内や周辺地域の緑化に努めたり、事業所周辺や、公園・道路の清掃 など地域活動へ参加したりしている	1	2	3	4	
17. 環境保全に関する従業員研修を実施している	1	2	3	4	
18. ごみの分別に関する従業員への指導を実施している	1	2	3	4	
19. 自社製品、サービスにおける環境配慮内容を明示している	1	2	3	4	
20. 上記以外に取り組まれていることがありましたら、ご記入をお願いします。					

問4 問3にあるような環境保全の取り組みを実施するために、貴事業所が障害に感じていることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 手間がかかる
2. 環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い
3. 何をどのように取り組めば良いのかわからない
4. 自社だけ取り組んでも仕方がないと思う
5. 取り組みを持続することが難しい
6. 取り組んだ成果が実感できない
7. 取り組みに対しての優遇措置（助成金等）が少ない
8. 表彰、認証制度がない
9. 取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない
10. 行うきっかけがない
11. 特に障害を感じることはない
12. その他（具体的

問5 貴事業所では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置・利用や取り組みのお考えはありますか？
それぞれの項目に最も近いものの数字に○をつけてください。

項目 \ 意向	現在利用している	今後導入を考えた	安くねれば導入したい	導入するつもりはない	わからない
1. 太陽光発電設備	1	2	3	4	5
2. 次世代自動車の導入 ^(※1)	1	2	3	4	5
3. 雨水貯留タンク	1	2	3	4	5

※1) ここでは、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車を対象としてお尋ねします。

ハイブリッド自動車

エンジンと電気モーターなどの2つの動力を効率よく切り替えながら走る自動車。

プラグインハイブリッド自動車

コンセントから直接充電できるタイプのハイブリッド自動車で、ハイブリッド自動車に比べ電池を多く搭載している。

電気自動車

バッテリーに充電された電気でモーターを動かして走る自動車。

燃料電池自動車

燃料電池を搭載した自動車で、水素と酸素の化学反応で得られる電気エネルギーを利用して走る自動車。

クリーンディーゼル車

粒子状物質や窒素酸化物などの大気汚染物質の排出量が従来のディーゼル車よりも少なく、走行時のCO₂排出量がガソリン車よりも少ない。また、ガソリン車に比べて燃費が良いとされている自動車。

裏面もご記入ください

問6 佐世保市では「エコ資金」として、中小企業を対象に環境に配慮した設備の導入に資金を融資しています。「エコ資金」という名前、具体的な内容の認識について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 名前も具体的な内容も知っている。
2. 名前は知っているが、具体的な内容は知らない。
3. 初めて聞く名前である。

エコ資金とは…

環境に配慮した経営に取り組む市内中小企業者に対し、設備資金を融資するものです。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

ホーム > 事業者の方へ > 事業所運営 > 経営支援 > 佐世保市中小企業融資制度について

**「3010（サンマルイチマル）運動」
についてお尋ねします**

3010（サンマルイチマル）運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、

「乾杯後 30 分間」は席を立たずに料理を楽しみましょう、

「お開き 10 分前」になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう、と呼びかけて、宴会を楽しみながら、食品ロスを削減するものです。



問7 「3010運動」について、ご存じでしたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問8 貴事業所で、「3010運動」に取り組んだことがありますか。

1. いつも取り組んでいる、または取り組んだことがある
2. 取り組んだことはないが、今後、取り組んでみたい
3. 取り組んだことはなく、今後も取り組んでみたいとは思わない
4. 宴会を開く機会がない



環境省 3010 運動

宴会のテーブルに置くための三角柱 POP のデータがダウンロードできます！

問9 環境保全に関する取り組みを市全域で推進するにあたって、市への要望や施策に対するご意見やご提案等がございましたら、ご自由にお書きください。

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかもう一度お確かめの上、同封の返信用封筒にこの「事業者アンケート調査票」を入れ、**3月5日（金）**までにご投函くださいますようお願いいたします。

なお、回答結果は佐世保市ホームページで公開予定です。

令和2年度
佐世保市の環境問題に関するアンケート
集計結果（詳細版）



〒857-0851 佐世保市稲荷町1番8号
佐世保市環境部環境政策課
TEL (0956) 31-6520
FAX (0956) 34-4477
e-mail: kansei@city.sasebo.lg.jp